滿洲日報

きのふ盤山の南方で 遂に一大激戰を展開
交戰時餘にして賊軍潰走し 我先鋒隊盤山に入城

わが軍〇〇騎兵聯隊の先發隊は二十八日午後一時半盤山に入城した 我軍の先鋒部隊たる〇〇部隊は盤山を占據した【奉天電話】

盤山南方の匪賊の大集團は壍壕を構築堅固なる防備を施し我軍に對し一齊に攻撃し來つたので我軍も直に之に應戰し大石橋より飛來した飛行機は敵の射撃を避けつゝ巧に低空飛行を行つて敵集團を爆撃し歩兵隊は川村大佐の率ゆる野砲〇聯隊の掩護の下に猛烈なる攻撃を浴せ豆を煎る如き機關銃聲の中に殷々として爆彈砲彈轟き渡り玆に遼西匪賊討伐開始以來最大の激戰を展開した交戰時餘に亘り匪賊は敵せずと見るや算を亂して盤山に向つて退却を開始したが此の時若松騎兵挺身隊は大刀を振翳して逃げまどふ敵陣に躍り込み多大の損害を與へた、盤山城内に遁入した匪賊は城内各所で掠奪を開始したので我軍飛行機は更に之れに向つて爆撃し午後一時過ぎ完全に盤山を占領し我軍は更に東北方に向ひ敗走する敵を追撃中で右戰鬪に於ける我れの損害未だ不明である【營口電話】

盤山の東方でも激戰

盤山に集結せる匪賊義勇軍は益々その數を増し列車砲を備へ附けた敵裝甲列車には身動きも出來ぬ程の精鋭部隊を滿載し後方よりは尚ほ續々と軍用列車到着しつゝあり、偵察中の我〇〇機に向け一齊射撃を浴びせ義勇軍の一部隊は早くも双臺子河に到着せる我多門〇師團先發部隊を撃滅すべく行動を開始、盤山東方一里の地點でも目下激戰行はれ田庄臺には砲聲殷々として聞えてゐる【營口電話】

我軍の被害實數不明

二十九日午後盤山奪取の戰鬪は堅固なる敵陣地と有力なる裝甲列車の抵抗により我軍も決死の攻撃を行つたが彼我共に多數の被害ある見込みなるも連絡杜絶のため實數不明である、兵匪團の中には救國義勇軍と印せる腕章を帶びたるもの多く何れも錦州政府派遣の別働隊なること明かである【營口電話】

盤山奪取の戰鬪において我軍は機關銃〇〇挺を列車に備へ敵に銃火を浴せ敵は軍用車で我軍隊に對抗したが我軍はこの軍用列車を砲撃しこれを捕獲したこの戰鬪において歩兵第〇〇聯隊〇〇中隊高橋上等兵は下腹貫通銃創をうけ同隊の一軍曹は右大腿部の關節部に貫通銃創をうけたこの負傷者は衛生隊來着のためガソリンカーで營口醫院に送つた【營口電話】

壯烈を極めた盤山戰 負傷兵の齎らした實況

廿九日營口にて 森特派員發

二十九日盤山驛の奪取戰において劈頭肉彈戰を演じ逸早く盤山驛構内を占據して一番乘りの殊勳を樹てその身も敵彈を受けて名譽の負傷をした獨立守備隊第〇大隊第〇中隊歩兵一等兵高橋時雄君及び天野第〇〇旅團麾下の千葉鐵道部隊裝甲軌道車隊附片岡軍曹は二十九日午後六時戰場より送還され營口において療養中だが高橋一等兵は左腹部に貫通銃創を負ひ生命危篤で片岡軍曹は左足の膝頭に盲貫銃創を受けてゐる**兩勇士負傷の實況を聞けば當時の戰鬪が如何に壯烈を極めたかを知ることが出來る、**即ち天野〇〇旅團長の指揮により二十九日午前六時北寧線田庄臺驛を出發した鐵道聯隊第〇中隊の後藤中尉の指揮する裝甲軌道車隊は二輛聯結の軌道車及び裝甲モーターカー三輛を聯結して友軍の騎兵部隊と聯絡を執りつゝ北寧線兩側においてわが軍に攻撃する兵匪を掃蕩すべく進撃し**盤山驛を距る約二キロの地點まで進出した際敵の裝甲列車はわが軌道車を認めて備附けの列車砲及び盤山驛附近に陣地を占めてゐた野砲は俄然一齊に火蓋を切つて我に猛射を浴びせた、**わが裝甲軌道車隊は輕機關銃と小銃を以て果敢に應戰した、この時わが飛行機は盤山の上空を飛翔して敵軍を牽制した、之に力を得たわが裝甲軌道車隊は**逃げる敵の裝甲列車を追撃し勇敢にも輕機關銃を以て猛射を浴せつゝ遂に午後十二時半**雙臺子河鐵橋を渡つて**盤山驛構内に逃込んだ敵の裝甲列車に續いて驛に突入し**驛附近の線路兩側約三百米突の幅員に堅固な陣地を布いてわが軍に抵抗する敵の歩兵及び野砲隊に向つて裝甲軌道車の銃眼から一齊に猛射を浴せ之を沈默せしめ**午後一時完全に盤山驛を占據した、**敵は慌てふためき逃げながらも無茶苦茶に發砲し二十米突の近距離から發射した敵の一彈はわが裝甲軌道車の鐵壁を貫いて高橋一等兵の腹部を貫通し更に後方に立つてゐた片岡軍曹の左足膝頭に入つて止まつたのである、裝甲軌道車が盤山驛を占據せると同時に友軍の騎兵部隊が引續いて驛構内に入つた、かくて錦州政府軍の最前線として要害堅固を誇つた盤山はわが軍の勇戰に抗し得ず陥落し算を亂して溝帮子方面に遁却した

盤山危しとの報に 錦州軍進撃を開始 三ケ列車新民に迫る

錦州軍總指揮官榮臻は營口支線の盤山既に危しとの警報に接し**左翼及び中央部隊に進撃を命じた、**この結果**左翼打通線方面へは打虎山より武器彈藥を滿載した裝甲列車續々北上し**二十八日夜以來張學仁の手兵四千は鄭家屯裝甲列車の行動を開始し、わが軍は目下之を討伐中である**中央部隊も同じく打虎山より三ケ列車に滿載**の正規兵が裝甲列車を先鋒として白旗堡を經て**新民に向ひ進撃中である**【奉天電話】

密偵隊を放つ 錦州軍の榮臻

錦西縣家屯子より來奉した某支那人の語るところに依ると錦州軍參謀長榮臻は十二月二十四日天津より特別列車にて大凌河に來り雙羊甸第十九旅司令部に於て關外駐防各旅長を召集重要軍事會議を開いた結果第九、十二、二各旅より各五十名を選拔して密偵隊を組織し溝帮子、田庄臺間五十名、錦州奉天間五十名、打虎山、洮南間五十名を派遣し日本軍が錦州に向け進撃を開始せるものと見て日本軍の行動を探らしめることゝした【營口電話】

周龍光の報告

【天津二十八日發】天津市長周龍光は昨日南京政府に對し左の報告をなした
日本が今回大軍を天津に増派したのは錦州攻撃と相呼應して天津を占領せんとする意圖に外ならず、この點につき國民の注意を喚起すると共に世界の輿論に訴ふる必要あり、併せて聯盟理事會の注意を促がされたい

土肥原大佐 昨夜東京發歸任

【東京二十九日發】陸軍中央部と協議の打合せの爲め歸朝中の奉天特務機關長土肥原大佐は二十九日午後一時東京驛發歸任した

奉天省長臧氏より 匪賊の討伐を請願 省民の安寧幸福享受のため 剿撃を圖られたしと

二十九日奉天省長臧式毅氏は本庄軍司令官宛左の如く土匪討伐に關する請願文を呈出した
近來本省内に盜匪横行し、各地省民永久の苦を受けおる者多く、特に**遼西一帶を以てその災最も甚しき**もの有之候、**當政府は速にこれが積極的掃滅を期すると雖も保安の整理尚未だその緒に就かず、實力の不足に苦しみ居る次第**に御座候、地方治安に關しては貴軍部のつとに關念せらるゝ事は甚切なるものあるを深く諒察し添り候、貴軍部より**玆に救民の趣旨に基づき充分なる御援助を給りたく且つ機を見てこれが剿撃を圖られ速に省民をして安寧幸福を享受せしめられんことを切望**するところに御座候、尚外に當政府は本趣旨を以て各地省民に曉諭し各々その生業に安んぜしむることゝ致すべく特に玆に御申請申す【奉天電話】

錦州軍の匪賊援助の事實

錦州軍の匪賊援助の事實左の如し
去る二十五日通遼に銃器彈藥を滿載せる二列車は裝甲列車掩護下に到着し同附近兵匪に對し支給せられた、兵匪は鄭家屯に進撃の命を待ちつゝあると確なる筋よりの報告によれば廿六日北寧線東行列車は大凌河岸にて若干停車し皇姑屯着の時刻著るしく遲延せるが右は錦州より溝帮子方面に若干の部隊を増加せるによるものである、尚増加部隊は野砲隊なる由【奉天電話】

錦州軍の積極行動

錦州より歸來せる一支那人の報告によれば大凌河附近の支那軍は毫も撤退の模樣なくますます積極的行動を執りつゝあると【奉天電話】

死を決して 日本に當る

【上海二十九日發】學良は全體會議に對し左の電報を寄せ對日積極方針を表明した
日軍は連日錦州目がけて猛攻撃を加へ通遼附近では鐵道の大爆發をなせり、余は死を誓つて錦州固守の覺悟なり、中央の積極的援助を求むるや切なり

學生義勇軍 一千名逃亡

【北平二十九日發】平津其の他より錦州に赴いた學生義勇軍は二千五百名に上ぼつて居るが昨今の極寒と形勢險惡化に震へ上り約一千名は逃亡した

副將軍學良 轉落を急ぐ 迫る崩滅の悲運

【北平二十九日發】第一次中央全體會議において中央委員並に國府委員の選に洩れた張學良は今や單なる綏靖公署主任と云ふのみで一時皇帝を夢みた蔣介石の唯一の協力者として宛然副將軍の如く勢威を擅にしてゐた彼も今や全く勢内的に轉落の道を急ぎつゝあり、馮玉祥は濟南において韓復榘、石友三その他舊反張派の要人連と何事か協議しつゝあり閻錫山と共に再び國府委員に睨らんとしてゐるもの、如く早くも閻、馮の平津乘出しを豫想して種々の政治的活動が開始され學良に對して避くべからざる崩滅の悲運は刻々切迫しつゝあるもの、如くだ

盤山の酷寒

二十八日來盤山方面の寒氣は零下二十度を突破してゐるがわが軍の士氣は益々旺盛である【奉天電話】

空と陸で壯烈な戰鬪 盤山に進撃するわが軍

廿八日戴家舖にて 藤井、神藏兩特派員發

二十八日田庄臺を發したわが第〇師團は大行李數十車を續け先頭騎兵中隊を以て兵匪を掃蕩しつゝ進んだが午後二時北方より**敵裝甲列車白河堡に前進し來りわが軍に挑戰した、**わが軍は重砲を以て直に應戰わが飛行機三臺もこれに參加し、**空と陸より壯烈なる戰鬪を開始した、**午後二時大甸家攻において**敵裝甲列車を攻撃、顚覆せしめたが**敵列車はこれを引きずりながら北走した、この時大窪停車場において敵列車と交戰中の野砲第〇大隊第〇中隊長**成瀬薫大尉は敵彈破片により負傷**した、一方第〇〇聯隊の藤井少佐の率ゐる一部隊はわが裝甲列車で河北より敵列車と交戰擊退し線路を修理しつゝ前進したが二十八日夜は大窪驛に宿泊、一方本部隊は敵騎兵を撃退しつゝ同夜田庄臺より前進五里戴家舖村落に還した戴家舖附近の敵騎兵四五百名を擊退したが敵は死體五を遺棄遁走した、この死體を調べたところ彼等は**東北救國義勇軍第一軍第二團騎兵隊と記した黄色腕章を附してゐた**當日の戰鬪のわが損害は成瀬大尉負傷ほか騎兵軍馬二頭負傷した、**宿泊部落は僅かに十三戸しかなくそれに千三百人が分宿**し我等從軍記者一同は土間に高粱殼を布いて寝たが寒さは足下より骨にしみる、明日はまた前進！我等は敵の强固なる陣地を有する匪賊根據地たる盤山に向つて進撃する**我等は愈々敵主力の駐屯する戰鬪地帶に到つた**【鳩便】

營口に後送 負傷兵二名

本日盤山に於ける激戰で名譽の下腹部に貫通銃創を受けた獨立守備隊〇大隊高橋時雄一等兵(宮城縣出身)及右膝に盲貫銃創を受けた千葉裝甲軌道車隊片岡秀雄伍長(福島縣飯坂町)は午後七時二十分北寧支線で後送され營口第三埠頭に到着直に滿鐵醫院で手術を受けた高橋一等兵は重態であるが、片岡伍長は負傷兵とも見えぬ元氣さで「二、三日したら又戰線に出掛けます」と前提左の如く語る
盤山で敵と遭遇したのは正午過ぎで敵はなかなか頑強に抵抗しました、騎兵が下馬して散兵してゐる時私達の軌道車隊は猛進又猛進敵を驛構内に追ひ詰めた時飛來した一彈は軌道車の鐵板を打貫き前に居た高橋一等兵の下腹部を貫通し私の右膝に命中したものです、匪賊の一彈で二人も負傷するなんて殘念でたまりません、激戰一時間の末盤山驛頭高く日章旗が飜つた時痛さを忘れて萬歳を絶叫しました【營口電話】

學良の功賞規定 陣地を保持した旅に 一萬五千元を與ふ

北平來電によれば張學良は左の如き功賞規定を錦州政府をして作らしめ極力部下の士氣を鼓舞してゐる
一、寡を以つて衆に當り晝夜を通じ陣地を保持した旅團には一萬五千元、大隊には千五百元を與ふ
二、敵軍の砲兵を鹵獲したものには數に應じ五百元乃至一萬元を與ふ
三、日本軍の小銃五挺以上及び日本軍の武裝解除したものは數に應じ二千元乃至五千元を與ふ
四、日本軍の間諜を逮捕したものには一人につき百元を與ふ【奉天電話】

多門師團主力

盤山南方約六里葉家舖附近において宿營してゐたわが多門師團の主力は廿九日午前八時宿營地を出發し盤山南方約五粁の八里舖に向つた【奉天電話】

師團司令部 盤山に移す

多門師團長は盤山占據後直に同地に司令部を移した【營口電話】

盤山南方で 我軍の反撃

盤山南方三里半大甸家攻、范家屯一帶の敵は正規兵を交へた約三千の兵力を有し二十九日午前十一時半またく我れに猛烈なる逆襲を行つたので同方面のわが軍は直にこれに應戰し反擊に反擊を重ね敵を北方に潰走せしめた【奉天電話】

旅順待機中の艦隊 昨夜某方面に出動 市内は俄に戰時氣分

旅順に待機中であつた巡洋艦八雲、第十三驅逐隊の吳竹、若竹、第十六驅逐隊の朝顔、刈萱及二十九日午後六時入港した特務艦能登呂は二十九日夜急遽出動の命令を受け喇叭を吹鳴らして上陸兵隊の緊急呼集を行ひ各艦の放照する探照燈と共に市内は俄に戰時氣分横溢し各艦は八時より九時十分に至る間に勇躍某方面に出動した、なほ某方面に向ひ陸戰隊五十名を乘せて待機中であつた蠣崎丸は第十三驅逐隊早蕨に護衛され三十日正午出動する筈

我飛行隊活躍

盤山方面の敵狀視察をなすべく重大使命を帶び我〇〇機〇〇は今朝九時〇〇〇を出發同十時半歸來したが其の報告に依れば我多門〇師團先發部隊は鐵道線路に沿ひ長蛇の列をなして前進敵軍の猛射を浴びながら之れと交戰しつゝ掩護飛行の我が〇〇機に日章旗を打ち振りつ、爆音に應へ午後一時雙臺子河南岸に到着した【大石橋電話】

二十八日彼我の損害

【二十九日後黃家店にて森特派員發】第〇師團司令部發表＝廿八日の戰鬪における彼我の損害左の如し
わが軍負傷者海城野砲〇聯隊第〇中隊成瀬薫大尉、死亡軍馬二頭敵の死亡三名(何れも馬隊)裝甲列車一輛わが砲彈に破壞さる

廿八日戰況

二十八日多門師團の田庄臺北方地區の戰況左の如し
同日同師團前衛騎兵は田庄臺北一里の地點にて敵騎兵約二百と遭遇戰鬪を起しこれを擊退し續いて北方に前進した、同時刻營口支線方面において敵は急激なる速度を以て裝甲列車を進め來りわが縱隊を盛に砲擊した、これに對しわが裝甲列車は砲兵と協力して猛烈なる攻擊を加へたこの砲戰においてわが野砲兵聯隊の成瀬薫大尉は敵砲彈のため輕傷を負ひ馬二頭死傷した、敵は裝甲列車附近に死體五を殘して北方に退却した、敵死體を檢査の結果東北救國騎兵第一路なることと判明した【奉天電話】

中島支隊 新民に到着 けふ某方面へ

吉村旅團の中島支隊は二十九日午後新民に到着したが驛には我領事以下在留官民多數の出迎へがあつた、兇暴の限りを盡し跳梁せる匪賊の徹底的討伐を行ふべく卅日未明〇〇方面に出動の筈【奉天電話】

河村旅團出動

河村〇〇旅團の〇〇隊は某日某方面に出動し司令部も某日某方面に出動する事となつた【奉天電話】

賓縣政府に 積極的行動

吉林省主席熈洽氏は大吉林主義の下に目下政治、經濟、交通の各機關の積極的計畫を進めつゝあるが過日最後通牒を發した在ハルピン張作相系賓縣政府に對し近く之が解消の積極的行動に出づる筈でこれと同時に過日來懸案たりし張景惠氏のチチハル入り實現し玆に吉林、黑龍江兩省政府の基礎更に堅實を加へるものと觀なされてゐる因に問題の馬占山は黑河に引籠ることに決定した【奉天電話】

前藏相弗賣 後始末問題 與黨は糺彈

【東京二十九日發】政友會は二十九日午後納めの幹部會を開き久原幹事長より井上前藏相の弗賣の後始末問題につき昨日犬養首相、高橋藏相を訪問した顛末を報告し、これに基き意見交換をなしたが結局井上前藏相は日銀を壓迫し正金を誘發し三當局共謀の上條例を無視して弗賣の惡惑を敢行したるものにして三當局連帶の重大責任問題であり背任罪をも構成すべくよつて前内閣の罪惡を糺彈すると共に速かに日銀正金當局を更迭せしむべしとの强硬論に意見一致し本問題の取扱ひを久原、大口、金光、小暮の四名に一任する事に決定

民政脫黨組 クラブ組織 對策を協議

【東京二十九日發】安達前内相の復黨は解散前には困難視さるゝに至つたが此の情勢を察知した脫黨派の中野、杉浦、風見、田中、三浦、由谷、簡牛、岡野の八氏は二十八日虎の門東方會事務所に會合し今後の對策につき意見交換の結果復黨困難の場合は新春十五日頃クラブ組織として聲明書を發表し選擧に臨む旗印を樹て、進む事に一致し二十九日安達富田兩氏に會見し其の意見を徴する筈である

復黨問題協議

【東京二十九日發】安達前内相の復黨問題に關し民政黨の熊本、鹿兒島、宮崎、佐賀、沖繩の五縣選出代議士は廿八日午後六時から赤坂錢水に會合協議を遂げたが總選擧を前にしてどうしても安達氏を迎へ選擧長に据ゑて必勝を期したい然し黨内に之れが爲め對立狀勢をつくる事も本意でないから表面的の運動を避け時機を待つて更に復黨を要求する事とし左の如き意味慎重の簡單な申合せをなした
本問題は考慮する

蔣駐日公使 辭表提出

【上海廿九日發】駐日公使蔣作賓氏は昨夜國府に對し辭表を提出した、理由は赴任の途中で滿洲事變が發生したが、事件の重大性に鑑み適任ならずと思ふと云ふに在る

佐藤軍縮全權 昨夜東京驛發

【東京二十九日發】歸朝中だつた軍縮全權委員たる駐白大使佐藤尚武氏は吉田事務官を從へ軍縮會議に對する政府の訓令案を攜へ二十九日午後九時四十五分東京驛發シベリヤ線經由歐洲に向つた

大藏男引揚ぐ 卅一日發東京へ

大藏公望男は今夏滿鐵理事選任以來悠々星ケ浦に自適してゐたがいよく十餘年の滿洲生活を打上げ卅一日出帆の香港丸で離連東京に轉住することゝなつた、なほ東京の住居は世々木富ケ谷一五〇四番地である

馮玉祥南京着

【上海二十九日發】馮玉祥は今朝九時南京着直に第一次中央全體會議に臨んだ

年末年始發行の本紙

年末年始の本紙は左の如く發行します

	朝刊	夕刊
三十日	有	無
三十一日	有	無
一日	有	無
二日	無	有(二日附)
三日	有	無
四日	無	有(四日附)
五日	有	無
六日	無	有(六日附)

七日より平常に復す

社説

樂土建設と失地回復
日支兩國土着民諸外國立場

失地回復の語は、今や支那側一般の輿論とならんとしつゝある。蔣介石、胡漢民、馮玉祥、張學良、閻錫山、孫科、張發奎、張繼の諸氏、廣東派、南京派の國民黨、軍閥、國家主義者乃至學生團の何れを問はず、苟も政權に發言權を持たんと欲する程のものは、敵も味方も一致して失地回復を題目として居る。中には失地の責任を追窮して、敵派を排撃せんとするもの、此の主張を以て新に輿望を博せんとする者等、裏面に魂膽を有するものも多いが、兎も角も失地回復の聲は今や支那全國を風靡しつゝある。これ注意す可きである。

◇

之れに對する日本の輿論は、滿蒙樂土の新建設である。滿蒙の舊政權が破壞せられたのは、舊政權自身の秕政と、日本の權益に對する不當の直接行動とに原因するのである、破壞を餘儀なくせしめられたのは我日本である。其の後を善くし、秩序を維持するのは、日本の責任である。從つて日本は自ら其の責任を引受けて、現に樂土建設に向つて進みつゝある。之れが日本の決心で、今や朝野全民の輿論となつてゐる。日支兩國に於ける此二種の主張は固より互に兩立しない。而して目下世界の問題になつて居る匪徒討伐に對する我國の態度に對する批評の如きも、凡て此の對立する二種の主張を廻つて行はるゝものである。

◇

更に肝腎の地元に於ける土着民は如何に考ふるかと見るに、夙に各地に起つた新政權は、何れも舊政權の暴虐を排斥するものであつて、失地回復の實現は卽ち舊政權の回復を意味するものである事を知つて居る。而して積極的には、彼等はすべて、王道主義の政治を主張し、同時に自治を高唱して居る。而して漸次樂土建設の方針に進んで來る。之に反して諸外國の態度は寧ろ失地回復の方が好評のやうに見ゆる。之れは遼西匪賊に對する、日本の行動に對して彼等が不滿の意を表する事によりても察せられる。但し此れには滿洲の過去現在に對する認識十分ならずして、滿洲を普通國家の普通領土の如くに思惟すると同時に、日本の眞意に疑ひを挾むからである。而して更に各國の利害より打算する私心が多分に含まれて居る。

◇

凡そ主張には、公理と私心とが、互に錯綜して織り込まれるが常である。公理に關するものは理論によりて爭ふ可く、私心に關するものは終に腕力で爭ふに至る。而して公理を明白にし之れを徹底せしめる事によりて腕力の爭ひが少なくなり、理を以て慾を制する事が出來る。此の失地回復と樂土建設との二論を解決す可き理論的根據は、一は滿洲に於ける領土權の性質に係る。此點に關しては吾人既に屢々論述して置いた。舊政權は私權力の行使であつて、公權力の行使ではなかつた。滿洲住民の意思と利益とに基礎を置いたものではなかつた。それが南京政權に吸收せられた。南京政權は國民黨に基礎を置くもので、國民黨の勢力の及ばざる地方には、其の政權も及ばない。滿洲には從來黨の實際勢力は少しも及んでゐなかつた。故に舊政權が驅逐せらるゝと同時に、南京政府の滿洲政權も無くなつたのは當然である。元來滿洲に政權を持たなかつた國民黨が、今更失地回復を唱へる資格はない。滿洲住民が獨立せんとする場合には、民族主義の本則から見て寧ろ之を歡迎すべきである。若し無理に統一せんとするならばそれは專制の見地から來るもので、私利私慾に屬する問題である。公理の問題ではない。若し漢民族の統制を其理論の根據とするならば、自ら其統制能力を發揮してから、滿蒙住民の獨立思想と爭ふ可きである。

◇

諸外國は只平和を欲し、公理を支持す可きである。故に失地回復論の根據薄弱なるを知れば決して之を支援すべきでない。日本が領土權を建設し、其處に獨占的權力を張つて、機會均等、門戸開放を破壞する意圖を有するのでないかとの疑を有して居る。之れは屢次の米國政府の警戒的通牒や、國際聯盟に於ける議論に徵しても明かである。今度の遼西方面の匪賊討伐に對しても、此疑念から來る。然るに日本の主張する樂土建設は、固より領土權を主張するものでなく、機會均等、門戸開放の主義に少しも抵觸するものではない。……無用である。然るにも拘らず彼等の尚不滿らしく見えるのは、此の日本の意思が十分に徹底しないからである。況んや土着の住民が、自ら自由の新天地を開……樂土建設との二論の爭となるであらう。何れが勝つかは、滿蒙の特殊地域たる意義と、樂土建設の意味が、各方面に徹底するや否やによつて決する。

滿蒙問題の根本解決が不祥事再發を防ぐ所以
きのふ奉天で日支官民を招待 南大將意圖を披瀝

目下在奉中の軍事參議官南大將は二十九日夜ヤマトホテルに日支官民代表三十餘名を招待し時局柄意義ある盛宴を催し左の如き日本帝國の滿蒙に對する意圖を披瀝した中島交渉課長これを支那語に譯しこれに對し奉天省長臧式毅氏曹日本課長の通譯にて南大將の御説御尤もでわれ等はこれを一轉機として從前口頭だけに終つた日支提携の實をあげ東洋平和と滿蒙發展のため日支一致協力最善を盡し度い、奉天省政府成立日尚淺く成績見るべきものなきも南閣下初め本日御列席の日本官民各位の努力御指導によつて成果をあげたいと思ふと答辭を述べ互に乾杯し和氣靄々裡に八時散會した、尚當日の主なる出席者は

日本側本庄司令官は微恙、三宅參謀長は令夫人母堂の訃により共に缺席、高柳中將、三宅少將村井少將、森島領事、宇佐美奉天事務所長、立川警察署長、藤田商議會頭、野口民會長、石田地方委員會議長、支那側は臧奉天省首席、于沖漢、袁金凱、趙欣伯、齊恩銘等各機關代表三十餘名である、

南大將の挨拶左の如し

今回の事變以來軍部並に在滿各機關の眞劍なる御盡力と在滿同胞各位の熱誠なる協力援助と眞面目なる國論の支持とにより事態が今日の如く極めて順調に進展したことは邦家のため同慶に堪へない次第であります、而して本事變は我等陸軍當局として在職中に起つたことでありますが故に機會あらば一度御當地に參りまして陸軍の慰問旁々實情を視察し將來の對策に資し諸君の奮闘努力と陸軍の行動に對する援助について謝意を表し度いと思つて居りました處今回其の機を得、親しく日支各位に接して目的を達する事を得たのは私の最も幸福とする處であります、今夕は聊か感謝の微意を表するため粗宴を設け御招待致しました處御多忙中且つ極寒の折柄斯く多數御賁臨下されたことは私のもつとも光榮とする處であります

◇

抑々滿蒙は帝國の生命であるが故に曾ては國運を賭し十萬の生血と十數億の國帑を費し敢然として強露と戰つた次第であります、我帝國が萬難を排して滿蒙の地位を擁護すると同時に所謂門戸解放、機會均等主義によつて滿蒙の富源を開發し平和の樂土と化せしめ以て三千萬民衆の福利增進に努めることは東洋平和の使命を有するわれわれ東洋人の當然の義務であることを確信して居るのであります

◇

然るに十數年來奉天舊政權の態度は常軌を逸し常に排日的態度に出で日本の立場に對して一點の理解なく一片の誠意なく只管滿蒙における日本の條約上の當然の權益を無視しその地位を反覆せんとして居たのであります、その結果不幸にして今回の事變發生を起すに至つたことは諸君の親しく目撃された處で今更私の喋々を要せざる處であります

◇

事變發生以來皇軍の行動は常に公明正大にして自衞權發動の範圍を逸せることは曾てありません、この公明正大なる態度は實に治安維持の信念に外ならぬものでありまして中外の均しく認むるところと信ずるのであります、故に事變發生以來の經過は極めて順調であつて軍事行動も近く將に一段落を告げんとするに至つたことは諸君と共に欣快を禁ぜざる所で滿蒙三千萬民衆の幸福であると思ふ、しかし軍事行動一段落に達するとは言へ之を以て安心は斷じて許されぬ、何となれば滿蒙の地は三千萬民衆の安住地であり樂土であるためには將來の治安維持、經濟上の發達、交通の整備、産業の發展を圖らねばならぬがこれ等の事業はこれからであります、今回事變の如き不祥事を再び發生せしめざる爲には滿蒙問題の根本的解決を必要とするのであります、而してその解決は支那自身におけるる今後の平和的施設においてあるのである

◇

吾人はわが國の立場をよく諒解する在滿中國人同志と共に徹底的提携を要するは勿論滿蒙問題の根本的解決は日支兩國人の直接交渉卽ち相互の完全なる諒解と心からなる提携に依つて實現すると確信致します、本日御列席の支那側各位も世界平和就中東洋平和のため且在滿各國人のため新政權に依つて善政が布かれ滿蒙を樂土たらしむる御奮闘あらんことを切に期するものであります、若しそれが正當なる軍事行動に對し何れ無き第三國の容喙の如きは、吾人は斷じて一蹴しなければならぬ、吾人は鐵道並に在留民の爲に最善を盡さなければならぬ、而して滿蒙を平和の樂土たらしむるの決心鐵の如く……以上私の所懷を述べまして後に日支官民一致協力して三千萬民衆の幸福を基礎付けるやうに御努力あらんことを切望する次第であります【奉天電話】

米政府再抗議か
わが軍の對錦州策を依然重大視す米當局

債權回收不能をフ米大使强調す
我政府の注意を喚起

消費組合撤廢問題

七年度植民地豫算
關東廳は一千八百餘萬圓

歳入不足は公債金で

奉天省における各縣の分野
新政權統制下二十縣

奉天新政府愈よ司法機關を改善
委員會を設けて調査

外交團錦州へ

蔣、張の狡猾な責任轉嫁策
裏面では依然實權を掌握

北平にて　坂本楨

友交恢復が急務
記念週で居正の演説

國難會議開催

支那代表部露骨な宣傳

圓爲替慘落

上京代表努力を繼續

江口副總裁二十九日赴奉

米艦隊の大演習
華府消息通談

奉天出張所設置目的
三浦内務局長談

米消息通の談

御正月の御用意は
電話三四七七番へ　三河屋

例年の通り　重詰鉢盛　仕候　江戸勝

新最 大連市案内圖
大連唯一地番入地圖　再版出來市内書店一齊に發賣！

久しく待機中の天平俄然出陣　一月二日を期して
大阪天寅支店　天平　大連市浪速町

匪賊の跳梁愈よ激しく 滿洲各地の脅威昂る
草河口、撫順等の襲擊をも企圖 到る處で掠奪を擅に

軍司令部發表＝各地匪賊跳梁狀況左の如し

一、捕虜の自白によれば二十六日鳳凰城、高麗門を襲擊せし敵兵匪は二十八日高麗門東方約十五支里地點附近に集合しその兵力四百名で、うち二百名は五龍背附近を通過し安東方面に移動した

二、草河口東方十五支里馬河口に集合の兵匪約二百名は廿七日夜草河口驛襲擊を企圖してゐたが、これを中止し近く決行すると豪語してゐると

三、撫順南方興京、本溪湖中間地區滿河城、双嶺附近には鏞子新の率ゐる數百の匪賊集團してゐて近く撫順を襲擊せんとする兆がある

四、懷德、無家城子方面に待避せし平東洋等の匪賊約二千名は漸次東南方小城子方面に移動しつゝある

五、長春北方萬寶山に最近數百の匪賊頻々として現はれ掠奪せり

六、沙河驛西方黑林臺の西方地區には最近三勝配下の匪賊數百名橫行し屢次掠奪を行つてゐる

七、二十八日午後鞍山東方九粁の櫻桃園に數十名またその東方四粁の附近部落に約二、三十の匪賊現はれ掠奪せるを以て鞍山警察官及び同地自警團はこれが討伐に向つた

八、去る二十六日午後十一時吳家荒西南方鮮人部落に十五名の匪賊來襲し自警團と交戰中との報により吳家荒よりわが警官三名出動した【奉天電話】

日本の軍事行動は經濟學上の法則だ
我立場に就て輿論を喚起すべく來連したク博士語る

經濟學及植民政策の權威者として世界的令名ある上智大學教授ヨハネス・ベ・クラウス博士は今回滿鐵の招聘に應じ事變後の滿洲の實情を視察し國際外交の舞臺において常に宣傳上手の支那に一步を先んじられてゐる日本の立場について專門的見地から國際的輿論を喚起すべく廿九日入港うらる丸にて來連、ヤマトホテルに投じたが同博士は

今後 約一ケ月に亘り拓大助教授石井靜人氏、東亞經濟調査局雪竹榮氏等と共に滿蒙各地を視察する筈であつてこの視察の結果は明春博士が執筆することゝなつてゐる獨逸ゲルン大學の經濟學叢書及び米國のマクミラン、ファーイースタン、レヴユー誌上等においてそれ〴〵我國の公正なる立場につき世界に呼びかけることゝなつてゐるがホテルに博士を訪へば「日本はもつと聲を大にして國際的輿論を喚發すべく叫ぶ必要がある」と冒頭して左の如く語つた

事變以來やゝもすると歐米各國の日本をみる眼は帝國主義的侵略とかなんとか猜疑と誤解に

終始 してゐるやうであるが、これは日本が從來對滿蒙政策について明確に意圖を世界に公開してゐなかつたことが主要な原因であると思ふ、自分は持論として日本の今回の滿蒙における軍事行動は國家の生存、生活標準維持のための全く自然法則の發現に基く正義の主張であつて、これを今日の國際法の精神乃至倫理的、道德的標準から解するも第三者は日本の要求及行動が正當であることを認めざるを得ぬと思ふ、これは單に條約上の既得權益の確保又は滿洲の歷史的事情といふやうな見地からのみでなく、嚴正な學問的方法に

立脚 して證明される經濟學上の法則なのである、これから約一ケ月に亘つて各地を視察するが來月十日頃奉天で歸途は大連に立寄つて講演會を開くことになつてゐる

滿鐵本線の破壞を計畫
張學良の命で馬賊團

海城省公署委員孫文武氏より大石橋憲兵分隊への情報によると馬賊頭目同北武、蔡小棋、九省の三名は張學良よりの密命によりこの程より蠅首協議の上配下をして滿鐵本線破壞を計畫し鞍山より海城までは同北武、海城より大石橋までは蔡小棋、大石橋以南は九省が擔任して兵一萬五千をもつて廿九日より五日以內に實行するといはれてゐる【大石橋電話】

御下賜の反物

皇后陛下より畏くも奉天赤十字病院入院中の施療患者に御下賜の裏地及び裁縫代付木綿反物十四反は二十九日本部より野田奉天赤十字病院長へ傳達された

歳末點描

きのふ信濃町市場前にて

わが警官隊賊團と交戰

海城勤務警察官部補は二十七日午前零時四十分頃署員五名自警團七名を隨へ海城附屬地境界牛莊街道附近を警戒中附屬地に接近せんとする十數名の舉動不審者を發見誰何せるに矢庭に所持拳銃を以て抵抗し來れるを以てこれに應戰發砲約二十分にして西方部落に擊退したが然るに賊團は俄にその數を增し

北滿地方の守備から上田大隊引き揚ぐ
きのふ元氣で鞍山に

時局以來寒氣凜烈なる北滿、四洮、洮昂線守備の任にありし鞍山守備隊第六大隊上田大隊長以下將兵約六百名は廿九日午前四時十分着臨時列車で鞍山に引揚げて來た、驛頭には殘留部隊、在鄉軍人分會、青年團、時局委員會、婦人會その他官民多數の出迎へを受けたが一同元氣頗る旺盛である、上田大隊長は驛頭において出迎への市民に對し

時局以來百日餘北滿、四洮、洮昂の警備に當つてゐたが一人の負傷者も出さず無事に歸隊せるは偏に市民各位の熱情こもる後援の賜と感謝に堪へず、今回歸隊せるは凱旋にあらず何時錦州方面に出動するやも計り知れず留守中は萬事よろしく

と謝辭を述べた、小野寺地方事務所長は市民を代表して益々邦家のため盡されたいと挨拶を述べた【鞍山電話】

明日安東を襲擊の計畫
鴨江上流の匪賊

鴨綠江下流龍王廟は過般匪賊の出沒にて安東守備隊と安東警察署員が出動、これを掃蕩、邦人、鮮人を安東に避難せしめたが同地附近には約二千名以上の匪賊集團し目下同地に滯在中で本月三十一日頃安東を襲擊する計畫中、安東では警戒を益々嚴重にしてゐる【安東電話】

部落より盛んに發砲せしため海城野砲隊に連絡の上砲二門を發射擊滅した【大石橋電話】

南臺方面險惡
在留邦人引揚ぐ

頭目老北風及海紅の率ゆる匪賊の大集團は去る二十三日配下の台流騎馬賊約百五十騎を先發として南臺西北方約二十五支里なる東四方臺に派遣し本隊は耿庄子北方一堵牆及周家屯方面に滯在中であつたが廿五日に至り復亦老北風の部下約二百名は前記東四方臺に到着し同村を圍繞する塹壕(明治三十一年義和團事件當時開鑿せるもの)の修繕を計畫し目下總動員を以て工事を急ぎつゝあり一方双臺子寶山子感家窩棚小王臺徐家臺方面には分發小部隊の出沒繁く且數名宛より成る便衣隊を滿鐵沿線附屬地に潛入せしめ我軍警の警備狀態偵察中にして愈々懸念せられたる錦州軍の作戰後方擾亂の舉に出でたるものとみらる萬一を慮り南臺居住邦人家族は引揚命令を發せられた南臺より緊急電話を受けたる猪苗代署長は即刻林警部補以下十數名の非番勤務員總出動の命を下し林警部補以下の署員は急遽南臺に向つた【大石橋電話】

遼陽城西に便衣隊現はる
一帶の通信線を切斷

遼陽城西三十支里大沙嶺に約五十名の便衣隊侵入し來り附近一帶の電信、電話線を切斷せられ通信不能のためその後の情況不明【遼陽電話】

滿鐵社員家族に隨時引揚の通知

滿鐵は兵匪の脅威特に甚だしき千山、首山、立山、大孤山、火連寨各地在勤社員の家族に對し隨時引揚げ避難して差支へなき旨二十八日それ〴〵通達した

匪賊討伐に出て今次事件を惹起
徐文海の人となり

安奉線鳳凰城附近は頻々として事件發生し全く不安にかられてゐるが同附近を荒し驛、派出所等を襲擊せる匪賊の一團は元鳳凰城公安隊長徐文海の一味で彼は頑強なる氣質を有してゐる記者は二十九日元鳳凰城の團長をなし目下安東公安局長たる姜氏を訪れ徐文海のことに就き尋ねたるに通譯を通じ自分は徐のゐる時は團長であり軍人であるから警察とは畑違ひであるが自分の知つてゐるだけは話しませうと冒頭しながら左の如く語つた

現在錦州第四旅團長となつてゐる黃某が事變前奉天督察署長時代徐はその部下であつたが今年三月鳳凰城公安隊長に來たもので生れは河南省と聞いてゐました、今年丁度三十六歲でせう、事變の際は奧地に匪賊討伐に向つてそのまゝ歸つて來ず奧地で部下を多数集め今回の如き事件を起したのも全部徐の命令だらうと思ひます、彼には妻があつたが事件と共に原籍に歸つたらしいです、なほ鄉鐵梅は元鳳凰

手輕な贈答品　ミカン　富有柿　廿世紀梨　ポンカン　西瓜　ザボン　葡萄　オレンチ　家庭の必需品　トキワ橋の　ミノルヤ果物店　電話3873番

滿蒙新國家の國旗
赤黃黑の三色旗とし一月一日から使用

滿蒙新國家の旗印は從來種々に傳へられてゐたが奉天省政府では來る正月元旦の祝賀並びに新國家建設のデモンストレーションに使用するためその制定を急いだ結果赤、黃、黑の三色旗と定め管內各縣を始め吉林、黑龍江兩政府へも二十九日その色彩と寸法を通達した【奉天電話】

時局寫眞展出品募集

期日　昭和七年一月十五日から三日間
場所　滿洲日報社三階講堂にて開催

一、展覽會場で希望者に限り出品寫眞の卽賣及引伸の豫約をなし出品者の紹介をする
一、寫眞の種類は滿洲事變後の時局寫眞、軍事寫眞、滿蒙新國家建設に關係あるもの一切
一、出品寫眞には定價を附すること
一、出品者の資格は寫眞業者及一般とし枚數を制限せず出品は無料で會終了と同時に返送す(住所氏名明記の事)
一、昭和七年一月六日限り本社事業部宛に送附すること
附記……優秀品、佳作と認めたるものには薄謝を呈す

滿洲日報社

城の公安局長をしたもので非常な排日家で漢學者です、目下は徐より鄧の方が勢力有力なやうである【安東電話】

本社を訪れて貧困者に同情の五十圓

廿九日午後二時、本社受付に紺サージの洋服に外套も着ず防寒帽を被つた四十前後の人品いやしからぬ紳士風の人が來り、これは働いて貯めた金ですが、どうか年の瀨でその日に窮し餅もつけない人々に與へて欲しいと金五十圓在中の封筒を差し出し受付が姓名を聞くと「私は忙しい、名前など出して貰つては困る」と帽子を手早に被つて立ち去つた、よつて本社は直にこの旨を書き添へこれを警察署に送つた

不況深刻な旅順
例年になき沈滯の歲末

打ちつゞく不況の深刻に加へ事變突發、金の再輸出禁止實施により旅順における一般市況は全く苦境のドン底に在りて軍隊を中心に動く旅順市としては一層その程度甚だしく例年に無き沈滯不活潑裡に越年せんとしてゐるが各方面の景氣は大要左の如くである

▲吳服商　方面は購買力減退と共に上物の賣行は全く停止せられ殊に洋裝方面が逐年旺盛なるに隨ひ下駄商と共に逐年苦境の度深刻化を示してゐる

▲洋服商　方面としては現在約十一軒存置されてゐるがいづれも大量仕入者尠なく從つて在庫品の値下に依る損失を蒙る者僅少にて上半期は例年と大差なきもその後の購買力は依然減衰問題ボーナス僅少說に禍され著しく減少された

▲和洋雜貨　に至つては一般に安價實用品の購買者多く隨つて實質的なるがため不活潑なるは必然的にて殊に時局柄と例年よりボーナスが少ないため贈答品なぞは豫想外の減少振りである

▲食料雜貨商　は卸商人として僅か五六軒に過ぎざると雖も華商のサーヴイス購買組合の擴張に加へ軍隊出動により例年の比にない苦境を嘗めてゐる

▲菓子商　方面は前年來よりの原料暴落により再三の値下を行ひたるも好況不況に關せず又需要者の多くは俸給生活者の關係上平穩であるが軍隊出動に依る納入品の減少は相當の痛手であらう

▲料理、飲食店　は言語に絕する苦境にて時局の遠慮に加へ一年中の書入れ時である忘年宴も全く中止されたことは一大打擊である

▲家具、荒物　方面にても主に格安物のみであるが年末だけ僅かの賣行きを見せつゝあるも家具類の如きは全然その姿を見せずホンノ新年に必要たる僅少に止まつてゐる

激勵に只管感謝
死を賭してつくす考へ 山本指揮官着奉語る

岡山縣が在滿邦人と東北三千萬民衆の待望を双肩に擔ひ朔風吹きまくる滿蒙の曠野に出動派遣を命ぜられ去る廿一日渡滿の途に就く際同指揮官山本少佐以下岡山縣津山商業學校五年生廿七名から揃つて血書の激勵文を受け出發し大連經由廿八日着奉宿泊したが同少佐を訪へば語る

內地を出發に際しては商業生の血書の激勵文を受けたばかりでなく岡山といはず宇品と云はずその他沿線各地で熱烈な送迎を受けた、血書を作つた商業生は軍事教育のためこの聯隊から教官が教練をなし丁度去る十一月津山市を中心に行はれた姬路師團の秋季演習に際し自分が津山商業生の指揮をなしたことと滿洲事變に關する講話をなしたその直後滿洲出動が命ぜられたので感激した事と思はれるがこの上は死を賭して祖國のため盡すのみである、岡山を出發する際は滿洲は大分寒氣が強いと聞き覺悟をなして來たが取り立てゝ云ふ程の寒さを覺えない、何にしてもこれまで全部揃つて唯一人の事故もなく奉天まで着くことが出來たのは何より喜ばしい、そして我隊が今後どう動くかサツパリ判らぬ、奉天着後も岡山縣その他町內會などの人々から色々手厚い歡迎を受け只管感謝してゐる次第である【奉天電話】

無料治療

特徵　透過光線療法は從來有りふれの物療法とは違ふ各國の稱贊する療法正氣體に苦痛なく骨肉を通し殺菌、治癒の二作用を起し慢性諸病肺、肋膜、脊髓、胃、腸炎、痔疾等の難病でも治る以て醫藥に效なき人は疑ず來驗下さい。眞否實驗の爲め二日づゝ無料治療す。尙引續き治療し効なきときは料金返還す　通療困難の人には無料宿泊の便宜あり

大連市大山通二ノ四二　林洋行橫入丸越染屋隣　滿生堂　透過光線科本院主　ジ、ヒ、エ、ル　荒川泰

修養團で慰問募集金を贈る

修養團大連聯盟が去る十三日より十六日まで市內各所で傷病兵慰問並に社線外派遣滿鐵社員慰問金の募集をなしたがその額は五百八十八圓八十五錢に達したのでその內百圓を滿鐵社員會の手を經て社線外派遣に贈りその他は旅順及び大連衞戍病院に傷病兵慰問と十五日內地還送四十三名及び二十九日內地還送百〇四名の傷病兵に贈つた

三宅參謀長夫人の母堂逝く

三宅關東軍參謀長夫人の母堂高山キク刀自は去る二十三日より病氣に罹り關東廳病院に入院療養中であつたが遂に二十八日午後九時半逝去した、享年六十七歲、告別式は三十一日午後二時自宅において執行される

安樂椅子

出動軍隊の送迎に對する大連市民の熱と意氣は眞に赤誠の現はれとして涙ぐましいものがあるが姬路旅團が上陸した廿六日、師走の街頭で拾つた美談二つ

……◇……

市內常盤橋附近の或る壽司屋の店先で三人の兵隊さんと壽司屋の主人とが大聲あげての口論、ハテ何事が起つたかとそつと事情を聞いて見ると兵隊達が壽司を三、四人前と鯛瓶十餘本とをペロリと平げ代金を拂ふとする時壽司屋の主人が飛出して「極寒の奧地へ戰爭にゆかれる兵隊からお金は戴けません、どうか遠慮なくお出下さい」といふに兵隊さん達も義理固く「わざわざ店へ入つて食つたのに支拂はぬといふ法はない」とお互が美しい心から讓歩せず、はたで見てゐると喧嘩のやうに見えたのだが結局兵隊さん達が五十錢出して解決したとは聞くも喜ばしい氣構である。

……◇……

もう一つは廿六日の夕方、同じ常盤橋附近で一指揮官が十數名の兵士を前に「これから民家に散宿するのであるが兵營と違ふから成るべく靜かに行動するがいい」と一條の訓辭を與へた、これを傍で聞いてゐた五十前後のお婆さんがズカ〳〵と指揮官の前に進み出で「これから命を的に働かれるのですもの、誰がなんかして居るとはありません、遠慮なくドン〳〵騷いで下さい」と涙ボロボロ、これを聞いた鬼のやうな指揮官を初め兵士達や通行人も涙ボロボロ、美はしいシーンであつた。

喪中に付年末年始の禮を缺く　臼井侃治

旅行中に付年賀缺禮仕候　滿日西部大連支局　川島富丸

喪中に付年末年始缺禮仕り候　杉元商店　杉元篤衛　大連市連鎖街

曙の鐘（154）

倉田潮
河野想多畫

決心（二）

よもぎはうろ／＼と部屋ぢうを歩き廻つたが、新聞は見つからなかつた。

たえ子は待ちきれなくなつて

「よもぎさん、口で」と息をはずませて云つた「口で、話して下さい」

「確にこの部屋に新聞がある譯なのだけど……」

とよもぎは殘念さうに呟いたが見つけるのを諦めて座についた。

「新聞に出てゐたのは、本當か何うか解らないですけど、春木さんがつひにつゝみ切れずに……」

「何ですッて」

「罪を自白したと云ふのよ」

「まあ」

と今度はたえ子が立ちあがつてフラ／＼と部屋を歩き出した。

「何うしたの。たえ子さん」

「私、これから、警察へ行つて來ようかと思ふのよ」

「警察へ行くのは勿論のことですが、まあ御坐んなさい。たえ子さん、よく考へてから行つても遲くはないわ。私、あなたとそのことも相談しようと思つてたのよ」

たえ子は落つかない顔付をしながらも、云はれるまゝに座に戻つた。そして彼女の知つてゐる總て木をたつ時に警察に出て大山家の秘密は勿論、あけみの云つた言葉のことをよもぎに話して、既に梁の末まで皆申し立てようと決心して來たことを話した。

よもぎは熱心にたえ子の言葉を聞いてゐたが、話が終ると膝をのり出して

「それは勿論警察に出て一さいの事情を話した方がいゝわ」

「その時に駒太郎さんの私達に對する親切や、マリアさんのことまで云はうと思ふが何うでせう」

「親切なぞと云はれると痛み入りますが、とにかくあなたの知つてゐることを總て正直に申し立てなさいな。正道を通つて行くのが、私、最も強いと思ふわ。駒太郎も知つてる限りのことを云つてやると云つて行きましたのよ」

と、よもぎはなほ今夜はもう遲いから、ゆつくり一と晩この小舍で體を休めて、明日行つた方がよいとすゝめた。そして、一度舞臺に出て來てから

「駒太郎は逃るべきところへはちやんと金を送つてしまつたし、殘りの金で借金をなして、小舍は今ひまだけど、當今は安心してやつて行けると思ふのよ。だが、私、樣子を覗ひがてら、マリアをよこしてくれと、大山さんへかけ合ひに行かうと思つてるの」

「マリアさんがゐないと實際困りますわねえ」

「えゝ、今までは駒太郎がわざとほつといたんですが、もう小舍へ戻つて貰ひ度いわ。マリアさへ歸れば、また「淺草のサンタ、マリア」だなぞと大入りをさせるのは決り切つたことですもの。ところがマリアて變な女だわね。先程も手紙をよこして、今少し大山家において貰ひ度い、あの事件があつてからます／＼大山家に引きつけられて來たと云つてよこしたの。人殺しのあつた家にひきつけられるなんて、毛色も違へば心も違つてゐるわね」

二人はその夜遲くなつてから床についたが、床の中でもなほいろ／＼なことを語り合つて容易に眠らなかつた。心の亢奮が眠りに入らせないことは、二人ともよく知つてゐたが、それは何ちらも云ふことを避けてゐた。話もつきて眼を閉ぢてから、たえ子はいよ／＼明日こそ運命のきまる時だと思つた。彼女の正直にばくろする眞實が、あけみの僞りのわなを打ち破るか。打ち破つたところに救ひがあるか斷頭臺があるか——總て明日一日にきまるのだと思つた。

しかし、それまで待つ必要はなかつた。夜中に巡査がよもぎの部屋に這入つて來て、家宅搜索を行つた後で、たえ子に同行を申し渡した。

けふの放送

大連 JQAK　十二月三十日

▲午後零時三十分ニュース
▲午後三時三十分ニュース
▲午後六時十分ニュース
（以下内地中繼六時三十分）
▲通俗財話　來年の生活へ、忘年譜紙命（大阪より）谷孫六
▲義太夫「染模樣妹脊の門松」淨瑠璃竹本綱龍、三味線豐澤綱助
▲落語「滑稽騎者」立花家花橘
▲浪花節「妻子迷ひの印籠」旭市子
▲俗曲　年の瀬都々逸、三下りさあやレ節、鴨緑江節、我が戀、唄力松、同こみ、同愛子、同力丸
▲落語「浮れ家の懸取」立花家圓太郎、笑福亭小枝鶴、立花家花橘、其の他
（以下大連放送局より）
▲天氣豫報
▲ニュース

中央公論新年號

政變で突如湧上つた年末景氣の中で新年の諸雜誌が色とりどりに讀者の購買慾を唆る中にも、一際ごつしりと充實した雄姿を見せてゐるのは何と云つても中央公論である。さすがに雜誌界の横綱だけの貫祿は他の雜誌のやうに別册附錄などを付けず、飽くまで自信に充ちた編輯技術で六百頁の大册を押切つてゐるのは壯觀と評していゝ。

政變と云へば敏感な編輯技術は逸早く之を捉へて茲暫く休養の形だつた政治批評界の第一人者馬場恒吾氏が「若槻内閣から犬養内閣へ」と題しいつもながら周到剴切な筆で縱横に今次政變の内面を解剖してゐる他、今度の當面の花形たる安達派の闘將中野正剛氏を引張り出したのは大成功だ。

さて卷頭論文「世界經濟の回顧と展望」は東大經濟學部進歩派教授の頭目にして同時に儼然論壇の總帥たるの觀ある大内兵衞教授の筆で、一九二九年世界恐慌勃發以後の世界經濟の動向を分析批判した大論文、教授の一般雜誌への執筆は三年振だからその期待も大きいと云はねばならぬ。「現代日本の再檢討」と「現代日本百人物」とは今度の二大特輯で、前者は日常生活に關係深いファシズム、金輸再禁止、税金、教育問題八項目を佐々、牧野杉森其他諸氏に解說批判せしめたもので、問題のヴィヴィッドな捉へ方に手際の鮮かさを見せ、後者は現代日本各方面の一線的人物百人の評論でその人選には苦心の跡歴然たるものがあり何方も數十頁を一息に讀み通させる充實そのものゝやうな編輯ぶり。

特種的論文としては此他、造兵學の權威青木保教授の「列國武裝の現勢」高良醫學博士の新研究「性格生物學」學制改革問題の基本的批判としての山本德治氏の「現代教育制度改革論」等があるし、吉野博士の「民族と階級と戰爭」は滿洲事變で熱狂してゐる國民への一大警鐘であり、正宗白鳥氏の「大衆文學論」は同氏近來の評論中出色の與へあるものである。

中間讀物では、故澁澤氏の青年時代を括へた木村毅氏の大衆小說「澁澤篤太夫」丸木砂土氏の「西洋艷笑文學」東郷青兒氏の巴里實話「オルタンス夫人の浴室」を第一に擧ぐべく、吉田謙吉氏の採集及編輯に成るグラビヤ「人だかりの採集」と佐野繁次郎氏畵の大東京十五景「新版東京双六」とは斷然見ごたへのするものである。

さて創作欄だが、島崎藤村氏の長編「夜明け前」は愈々第一篇完結し、正宗白鳥氏の久々の戲曲「悅しがらせる」里見弴氏の「都邑秘帖」等老大家一齊執筆に對し、横光利一氏の「舞踏場」は愈々一流作家の貫祿を示す傑作であり、久しく期待されながら病の爲出發の遲れた新人、梶井基次郎氏の力作「のんきな患者」を載せたのは異彩を放つ。

更に以上の諸家にも增して注目すべきは往くとして可ならざるなき鬼才高田保氏の處女作自傳小說「馬鹿」である。左翼運動に關心するインテリの苦悶をこの位赤裸々に力強く描寫したものは恐らく空前であらう。これと共に巨匠佐藤春夫氏の譯筆になる中華新興文壇の第一人者魯迅の名作「故鄕」も亦現代文壇への一大刺戟と云ふことが出來る。

觀來れば本欄創作欄共に多趣多彩文字通り絢爛たる出來榮えで、普通號通り八拾錢の定價は廉價の點でも新春諸雜誌を壓倒するものであらう。（發行所東京丸ビル五八八・中央公論社・郵税四錢）

滿洲日報

けふ、繞陽河を挾んで日支主力部隊衝突か
今曉已むなく斷乎潰滅を期し我軍盤山に向け進擊

【二十九日大窪にて鳩便藤井特派員】昨夜大窪を中心に夜營した多門〇師團長以下の各部隊將士は今曉を期し一齊に盤山の敵陣を目がけて進軍を續ける事になつた　大窪盤山間は約五支里　我軍主力が堅固な陣地に據る敵の主力部隊と繞陽河を挾んで激戰を開始するのは本日正午過ぎとなる模樣である

【二十八日大窪にて鳩便藤井特派員發】出動命令を受けた師團主力部隊は午前八時田庄臺から盤山に向け進擊を開始した、進路は太家堡大甸を經て盤山に迫るのは二十九日正午過ぎになる模樣だが　敵それまでに逃げればよし然らざれば先發した騎兵で退路を斷ち主力は盤山對岸に散開し我空軍と協力して斷乎潰滅を期し大攻擊開始の已むなきに至る筈である

師團司令部を大窪へ

【二十八日大窪にて鳩便藤井特派員發】田庄臺から大窪に至る約五支里の間の兵匪掃蕩を終つた多門〇師團は司令部を大窪に移し　此處に討伐第一夜を明かす事となつた、多門第〇師團司令部は昨夜大窪に入つた、先鋒隊たる〇〇部隊は本日中に盤山に達せん

裝甲列車を破壞

【二十八日大窪にて鳩便藤井特派員發】當地々方にあつた敵の裝甲列車は本日午後三時まで我〇〇編隊〇〇機の攻擊を受け遂に車體の大半は破壞され機關車の運行不能となつた結果敵の將校以下全部我部隊の捕虜となつた

學良軍全線に積極行動
新民府に危險迫る

【天津二十九日發】錦州の戰機切迫し關內軍は大擧錦州を中心に移動し津浦線の第八旅六百二十二、六百二十三の兩團は灤州を中心に移動中である

【天津二十八日發】學良は津浦、京漢兩線駐屯東北軍に對し錦州方面へ移動の命を發した　學良軍の裝甲列車と兵器、彈藥を滿載せる二ケ列車は二十五日打通線に依り通遼に到着し同地一帶の四千の兵匪にこれを配給した、戰備充實せるこれ等兵匪は鄭家屯方面に向ひ進擊の姿勢を取つて目下待機中であるが既に三百の兵匪は二十六日鄭通線大林驛に現はれ更に四洮線の鄭門窯、三林方面に向はんとし通遼の兵匪主力は鄭家屯を襲はんとしてゐる【四平街電話】

白旗堡の第四第五路義勇軍は今曉正規兵及び匪賊團と相呼應して一齊に新民府包圍攻擊の隊形を執り攻勢に出て來り新民府は危險に陷つた【奉天電話】

匪賊團を利用して我軍の後方を衝く
學良軍の別働隊活躍

田庄臺附近には今尚二、三千の匪賊あり同地は我軍の占據以來新谷上等兵以下三名の憲兵が孤立無援に等しい中に死を覺悟して公安隊を指揮し治安維持に當つてゐるが我軍北進後營口派遣地田庄臺間には便衣隊出沒し連絡を脅かし匪賊は密かに田庄臺を奪回し我軍の背面を衝かんとして居る事明かとなつたので本日翁內憲兵軍曹は四十名の公安隊員を率ゐて田庄臺に向つた、又今曉五時宿營した船津步兵隊よりも〇個小隊を田庄臺に派遣して附近の匪賊に備へた【營口電話】

【山海關二十八日發】張學良は錦州軍に戰時特別金を出し士氣を鼓舞する一方別編隊にもそれ〴〵武器彈藥及び現金を支給して我軍の後方擾亂をなさしむる等錦州死守のためあらゆる努力を拂つてゐるが二十八日第十九旅長孫德荃に密電を發し部下五千を有する馬賊首領九霞に小銃二千挺彈丸十萬發を與へ日本軍の後方を衝けと命令した

張學良の密令

【天津二十九日發】張學良は二十五日附を以て河北省各機關に左の密令を下した
一、日本人と交際するもの
一、日本人に糧食を賣るもの
一、軍用地圖類を日本軍に賣るもの
一、軍事情報を日本軍に報告するもの
一、日本軍民と聯絡し鐵道鐵橋を破壞し又は軍事行動を口外するもの
一、日本軍の道案內をなすもの
一、軍事施設の撮影を爲すもの
以上の者は之を銃殺に處す

長春の南大將　廿八日ヤマトホテルで記者團と會見

學良大言壯語

【北平廿八日發】學良は錦州軍に對し東北の將士一度怒つて立てば百萬の日本軍も鎧袖一觸のみ諸君の奮鬪を望むと大言壯語命令した

草河口に兵匪

二十八日安奉線草河口に約三百名の兵匪が襲來する形勢ありとの報に接しわが方は嚴重警備したが賊は之に恐れてか遂に姿を見せなかつた【草河口電話】

煙臺西方にも

煙臺驛西方約一千メートルの蒲草溝に二十九日午前三時騎馬匪賊約五十名手に〳〵松火を携へ襲來せるを發見、煙臺派出所員が砲擊を加へたるに賊は部落に放火の上逃走した、遼陽縣第二公安隊は迫擊砲を以て目下追擊中である【遼陽電話】

室師團長今朝着奉

【奉天二十九日發】關東軍の遼西匪賊討伐援助のため滿洲出動を命ぜられた室第〇〇師團長は今朝六時二十分幕僚を從へ奉天に到着した

室師團長談

第〇〇師團室師團長は森參謀長以下〇〇名を率ゐ、二十八日夜九時十三分、米澤領事、高山警察署長、多田地方事務所長その他多數官民有志の見送り裡に北行したが、停車時間中、驛樓上貴賓室において往訪の記者に語る
私の渡滿はこれで四回で、滿洲には縁故が深い、大正四年より七年まで旅順の要塞司令官を勤め、そのまへにも渡滿した、元且は無論戰地である、僕の行先かれ、もちろん錦州に行くことになるだらう、途中奉天に立寄り軍部といろ〳〵打合せをする筈だ【安東電話】

船津大隊歸奉

今朝五時營口に到着した船津大隊は奉天集結命令を受け午後零時半出發奉天に向つた【營口電話】

海軍警戒隊

旅順に待機中だつた海軍警戒隊五十名は廿九日午後一時帽島丸にて驅逐艦艦護衛の下に塘沽に出發した

— 田庄臺溝帮子附近略圖

南京政府主席以下きのふ正式に決定
政府主席には林森氏、政府委員選任　學良派は除外

【南京二十八日發】本日の全體會議は國民政府の顏觸れ及び國民黨中央執行委員會常務委員を左の如く正式に決定した

政府主席及各院長副院長

主席	林森
行政院長	孫科
同副院長	陳銘樞
立法院長	王寵惠
同副院長	覃振
司法院長	伍朝樞
同副院長	居正
考試院長	戴天仇
同副院長	劉蘆隱
監察院長	于右任
同副院長	丁惟汾

中央執行委員會常務委員
陳果夫、顧孟餘、胡漢民、孫科、葉楚傖、汪精衛、蔣介石、居正、于右任

【南京二十八日發】本日全體會議は國民政府委員として蔣介石、汪精衛、胡漢民、唐紹儀、張繼、張靜江、蔡元培、許崇智、李烈鈞、鄒魯、宋子文、程潛、方振武等三十三名を選任したが張學良一派は廣東派の反對で全部除外されてゐる

黨最高政治委員　汪、蔣、胡三氏擧げらる

【南京二十八日發】國民政府常務委員は汪精衛、蔣介石、胡漢民三氏となつたが更に三氏は國民黨最高政治會議委員に擧げられ今後國民政府及び黨部とも三氏の指導に依つて統制さるゝ事となつた

政府常務委員

【南京二十八日發】國民政府常務委員は汪精衛、蔣介石、胡漢民の三氏に決定した

南北政府消滅

【上海二十九日發】統一政府は來る一月一日を期して成立し南京、廣東兩政府は同時に消滅せしむることに決定した旨發表された

上海市長後任

【上海二十九日發】曩に辭表を提出した上海市長張群に對し中央部で極力慰留してゐたが張の辭意固く今回辭職を許可し後任の決定まで陳銘樞を兼任市長に任命した尚學生騷動で免職となつた上海公安局長の後任には前廣東保安處長王曜が擬せられてゐる

成立した新南京政府日支問題で宣言發表
全力を以て武力對抗

【南京二十八日發】本日正式に成立した新國民政府は日支問題につき大要左の如き宣言を發した
國民政府は滿洲問題當面の錦州事態に對し自衞のためあらゆる手段を講ずる支那政府は本より國際聯盟に對する當初からの輯政策を續け聯盟の精神により極東及び世界平和維持のため努力せんと欲するが日本軍の支那領土侵略に對しては全力を擧げ武力對抗をせざるを得ぬ新政府は最近の機會に人民會議を召集し民意と輿論に依り內外問題を決定し其の基礎方針に依り行動す

中央試驗所改制
理學試驗所を合併し所長は根橋次長兼任

滿鐵技術局は會內機關統制のため今回中央試驗所と理學試驗所を解體合併の上新たに中央試驗所を設置し新中央試驗所長には次長及び技術局次長根橋禎二氏に兼任を命じ各科長は課長待遇と爲すことゝなり差當り二十九日附を以て左の如く異動發表された

技術局次長 根橋禎二
中央試驗所長事務取扱兼務を命ず
元中央試驗所 技師 佐藤正典
中央試驗所有機化學科長兼燃料科長を命ず
元中央試驗所長 技師 世良正一
中央試驗所農産化學科長兼無機化學科長を命ず
元理學試驗所長 技師 渡邊猪之助
中央試驗所機、研究科長兼電氣研究科長を命ず
元理學試驗所 技師 高木小二郎
中央試驗所土木研究科長を命ず
總務部人事課 事務員 村岡 元市
中央試驗所勤務を命ず

滿鐵豫算認可遲る

滿鐵六年度更正豫算並に七年度豫算はさきに市川總理部長が攜帶東上して大藏、拓務兩省當局に對し說明をなし認可申請の手續中であつたが突如今回の政變により兩主務省の首腦者更迭したので豫定の如く年內に本年度更正豫算の認可を得ることは不可能となり市川次長は更に滯京し改めて關係各省當局の諒解を求め遲くも明春議會開會前迄に正式認可を得るやう努力することゝなつた從つて歸任期は來月末の豫定である

滿鐵の人材登用策

滿鐵においては專門學校卒業者は採用二、三年後雇員より事務員、技術員に登格するも所謂普通雇員の登格は多年中絕されてゐたが滿鐵當局は大學偏重主義を打破して廣く人材を登用する見地に基き今回普通雇員より事務員、技術員への登格の途を拓くことゝなり取敢ず五十名を登格せしむるに決し既にその一部は發表されたが殘りの鐵道部二十五名、奉天事務所一名鞍山製鐵所三名の登格も年內に發表を見ることゝなつた

新國家成立の盛大な祝賀

奉天省政府では二十八日午後より臧省長始め各機關首腦者參集、正月元旦には錦州政府解消するものと見做し盛大なる新年拜賀式擧行のほか官民各機關を網羅する新國家實現祝賀の一大デモンストレーション開催の議が協議されたと【奉天電話】

廣田大使暗殺計畫を否定

【ベルリン二十八日發】廣田大使暗殺陰謀の嫌疑で本國送還の途當地に着いたチエッコ駐露外交使節團書記官カル、ワネックは記者に對し左の如く語つた
廣田大使暗殺の風說は全く余等を陷れんとするもので余は斯る陰謀に何等の關係もない、今夜國次第直にその旨本國政府に報告して身の潔白を明かにする決心だ

人事

▲大倉喜七郎男　廿九日入港はるびん丸で來連
▲橫山信毅氏(大倉組理事)同上
▲奧田喜久司氏(海軍中佐)同上
▲大野孝雄氏(三井物産社員)同上
▲若木剛氏(東拓總務部長)同上
▲大森一聲氏(名古屋夕刊記者)同上
▲三浦延治氏(同上)同上
▲足立辛一氏(關東軍囑託)同上
▲師尾源藏氏(明大講師)同上
▲鈴木宗正氏(埼玉縣社會課長)同上

蛇角

滿鐵首腦部更迭に對する反對論は漸次各方面に高まつて來た。
◇
南京政府決定、ロボット主席に林森を推し、蔣汪胡の中央政務常務委員の政權となつた。
◇
さてこれからが問題、廣東派南京派の虛々實々の爭鬪戰が始まる蔣、汪、胡の個人勢力の爭ひとなつて、結局クーデターとなるのでないか。
◇
居正の演說、新日支親善論、兩國は禍を轉じて福と爲さねばならぬといふ、これこそ孫文の容共以前の綱領。
◇
居正は西山派の首領、嘗て國民黨の容共に反對し、終始一貫の反蔣派、蔣の爲めに久しく監禁されて居た人。
◇
此演說が、中央黨部記念週に於て爲された事が注意に値する。

ガンヂー歸國後の第一聲

【ボンベイ二十八日發】英印圓卓會議に滿足せず反英抗爭を決意せるガンヂー氏は本日當地に於て戰爭の用意なせよ戰鬪の際は生命を犧牲にせよ我等は我民族を救ふためには如何なる手段をも避けるものではないと歸京後の第一聲を擧げ萬餘の民衆は歡呼を以つてこれを迎へ氣勢を添へた

ボンベイに流血の慘事

【ボンベイ二十八日發】ガンヂー氏は今朝當地に到着したが英印圓卓會議不成功に終つたのに憤慨した約一千の賤民階級義勇隊は反ガンヂー示威運動を行はんとし國民會議派義勇隊と衝突流血の慘を見た

東亞の謎(163)
國枝史郎　挿畫　伊藤順三

黄帮の巣窟(二)

ごつちみち正面から乗り込んで行つては、危險であるやうに感ぜられた。

さうして眼の前に點在してゐる包に、武村がゐやうとは思はなかつた。

(林の向ふに何かあるらしい)

これは林を見た時から、伯に感じられてゐたことであつた。

(林の向ふへ行つて見てやらう)

で伯は後へ引き返し、包の集團から遠退いて、グルリと迂回して林へ近づき、驢を立樹へつないで置き、自分は林へ分け入つた。

林といつても沙漠の中の林で、內地にあるやうな奥行の深い、鬱々としげつたものではなく、十數間行くと林が切れ、行手に恰度城壁のやうな堅い砂丘が現れた。

それは昔は城壁であつたが、永い年月と風雨と嵐、さういふもののために腐蝕され、そこへ沙漠の砂がたかり、砂丘のやうなものとなつた——然ういつたやうな砂丘であつた。

一丈以上もあるのである。

伯は砂丘によぢ上つた。

頂から見下された內側の景色は伯の心を喜ばせた。

立つてゐる無數の石の柱、蟠居してゐる無數の石塊、ところどころに殘つてゐる礎、往來の跡らしい石を敷いた通り、まばらの人の歯でも見るやうな、あちこちに立つてゐる石造の小家、貯水池らしい物の跡——さういふ物が淡い月光に、或所は光り或所は黒み、その或所からは燈火が洩れ、寂然と靜まつてゐたからであつた。

包も諸所に立つて居り、包の周圍や廢墟のあちこちに、人や犬や家畜のやうなものが、歩き、佇み、うろついてゐた。

さういふ廢墟の俯瞰して、林と砂丘とが大圓をなして、城壁のやうに聳えてゐた。

(昔の城砦の跡と見える)

伯はすぐに然う思つた。

さうして武村と小夜子とが、その一劃の何處かにゐると、そんなやうに思はれた。

で、伯は砂丘を下りた。

下り切つて十數間進んだ時、足に巻き付いたものがあつた。

(やられた!)

と伯は瞬間に思つた。

と、伯は引倒された。

倒れた伯は倒れたまゝで、手にピストルを握つてゐた。

何處から現れて來たものか、五人の蒙古人が伯の周圍を、グルリと取り巻いて立つてゐた。

伯は穩しくした方がいゝ、連れて行かれるところへ連れて行かれやう——こんなやうに決心して、窃つとピストルを內ポケットに隱した。

蒙古人達は彼等の言葉で、せはしく話し合つたが、一人の男が白布を出して、それで伯の眼を結はへ、鞄細な伯の足から取つた。

かうして伯は引つ立てられた。

(いやはや他愛なくやられて了つたぞ)

伯は恐怖を感じるよりも、寧ろ可笑しさを感じて來た。

(松下君、君は寂いれえ)

自分で自分へこんなやうに云つた。

併し伯はこの一事で——此處の巣窟の連中が、自分を捕へたといふこの事で、武村が此處にゐるといふことを、ハツキリ信じることが出來た。

(武村が命じて捕へさせたのさ。單なる侵入者を捕へるにしては、あまり手際がいゝからな)——伯

感激渦卷く驛頭に士氣溢る勇士

けさ大連驛發征途へ

大連に滿洲第一夜を明かした裏中國の勇士松江部隊○○○名は二十九日午前七時發臨時軍用列車で○○方面に向つて壯途に就いた、この日暁またき愛國の熱情と興奮とに燃えた市民は續々とつめかけて第一第二フォームを埋める、勇士は暁の霜を踏んで午前六時驛前に到着輸送指揮官北關輜重兵少佐の命令で乘車を終り時の來るを待つ、萬歳、萬歳の連呼が「こゝは御國の何百里」の軍歌のどよめきに交つて師走の朝空に歡送の二重奏を奏でる、車窓より乘出す兵士の額には「支那匪賊、何事かあらん」と士氣溢れ定刻七時出發を報ずる警鈴が鳴り響くや、ドッと擧がる萬歳の聲は天地を揺がせ、熱狂と喚聲の渦卷の裡に○○方面に向ふ我等の勇士を乘せた列車は靜かにフォームを離れた（寫眞は大連驛出發の光景）

名譽の傷病兵歸る

萬歳を絶叫しながら思ひ出は滿洲に

けふ百四名廣島へ

傷ついた片手を打振り乍ら萬歳を絶叫しつゝ、「又治つたらくるぜ」と元氣に怒鳴り乍ら大興江橋、昂々溪方面での名譽の戰傷兵が勇ましく懷しい思ひ出の數々をのこし御用船平仁丸で滿洲から離れて行つた、廿九日午前御用船の出帆前既に甲埠頭廣場は見送りの各學校生徒、各種團體、一般市民の群が熱烈な人垣を作る、その間を大連婦人團聯合會員や大連陸軍病院の人達に護られ或は擔架に運ばれ松葉杖をつき兩手を繃帶でグルグル卷にした戰傷兵、凍傷兵が痛ましい姿を艦中に運ぶ、輸送指揮の任に當る太田幸衛一等軍醫が小竹一等軍醫外一同と共にテキパキした處置をつけてゐる、滿鐵正副總裁を代表して山西理事、市民側より辛島民政署長をはじめ各種方面の代表者が次々に挨拶と見舞に集る、同艦今回の送還戰傷者數は合計百四名（將校一名、下士四名、兵九十九名）その内譯は凍傷者六十名戰傷者三十三名その他十一名であ

る、定刻十一時いよいよお別れの時だ、銅鑼が鳴る、汽笛が寒風に千切れて飛ぶ、何時の間にか甲板にずらりと戰傷者が顏を出して見送りの市民との間にテープが交錯する「おーお孃さんそのテープをしつかり握つてくれ」一本のテープに三四人の傷病者が繃帶に包まれた手ですがりついてゐる、最後に辛島民政署長は立つて感謝と感激に滿ちた別れの挨拶をなし、これに對し戰傷者を代表して太田軍醫はこれに應へ「たとへ身は不具となつても支那を握るに代つた方面を見出して報國盡忠の道に邁進するつもりである」と結び、何處からわいたか萬歳聲裡岸壁から平仁丸は離れ一路宇品に向つた【寫眞はけふ埠頭で】

勇士の心境は同情に堪ぬ

太田一等軍醫語る

戰傷兵輸送の大任を荷なつた太田幸衛一等軍醫は市民の熱誠なる見送りに感激して語る

自分は事變以來二度目の患者輸送の重任を荷ひました頗る光榮だと思ひます、時局は正に最高潮に達せんとする際傷ついて内地に送還される勇士等の心情を思ふと同情に堪へません船中看護並びにその他治療に關しては責任を負ひ皆樣のこの盛んな見送に應へたいと存じます、凍傷者の多い部隊は歩兵第四聯隊の三十名、第廿九聯隊十名、野砲兵第二聯隊十三名など多い方で戰傷者では歩兵第十六聯隊の十一名、獨立守備隊の七名、歩兵第廿九聯隊の五名など多いと思ひます、何れも今迄各地の衛戍病院で手當を加へてゐたもので中には大分よくなりつゝある者もある位です、大連聯合婦人會の人達や常に自動車を借して下さる滿電大タク友愛　の人達その他色々な意味で感謝します

海務協會で慰問金募集

大連海務協會では酷寒烈風の中に勇戰奮鬪して名譽の戰死を遂げ或は病歿した帝國軍人に敬弔の意を表すると共に出動部隊の多くが東北師團の練兵で、同地方は三十五年來の悲慘なる飢饉地帶と聞いて滿洲事變戰死病歿者の遺族慰問金募集を海事關係者並に海員から左記の如くすることになつた

一、金額は（個人又は團體）一口五十錢以上
一、期限は昭和七年一月廿日まで
一、應募金は大連海務協會庶務係で取扱ふ
一、金品の分配は軍部當局に一任
一、應募金額氏名は海友に掲載す

知人を騙る

住所不定佐藤武之助（三四）は廿八日午後七時ごろ徒て面識の市内二葉町百番地綱本榮之助方を訪れ「消費組合へ二百圓の集金に來たが釣錢がないから四圓九十錢借して異れ」と巧に持ちかけ綱本方で十圓を詐欺逃走したので二十九日大連署へ告訴を提出した

佐藤は洋雜貨商不倒子を馘首されて以來、諸所を浮浪しさきに滿鐵記者倶樂部で高橋俊夫氏かに二圓餘を詐取したのを始め同樣手段で知人を片端しから荒し廻つてゐる事實あり大連署で嚴探中

中年の戀まで背負ひ哀れな未亡人縊死

殘された三名の孤兒

貧と病苦、それに中年の戀に身を焦しつゝ愛兒三名を道連れに母子瓦斯心中を企てた當時春日町大日ビル二階六號室の元長崎高商及び日露協會教授玉水千市氏の未亡人玉水モト（四三）は瓦斯中毒と持病の肺侵潤のため聖愛病院に入院中であつたが二十九日午前二時十五分つひに内科七號室で縊死を遂げた發見者は母の看護のため附添ふてゐた長女照子（一五）で便所へ行く午前二時三十分ごろ目をさと母親は室内窓の止金に紐をかけて哀れ縊死してゐるのを發見「お母さん、お母さん」と取り縋つて泣き騒ぐのに人々が驅けつけ引下し醫師の應急手當を施したが死後三時間餘を經てなり甦らなかつた。届け出により藤本警部補が檢視したが枕の上にはチリ紙に鉛筆で走り書きした誰に宛てたともなき遺書があつた、それには

病苦に堪へず、結局死んだ方が幸福です、皆樣に申譯なし、子供のことが氣掛りです

とあり數日前愛兒三人を死出の旅路に連れてゆかんとしたが今度は思ひ止まり身の行末を案じつゝ死んで行つた母親の心情が現はれてゐて居合す人々の涙を誘ふたが急を聞いて驅つけた三人の子供は母の死體にすがつて泣いてゐたのも一入哀れであつた

モトの死因の裏面には痴情に絡む風聞あり種々取沙汰されてゐるが探聞するに夫の友人で某會社に勤める某氏が夫亡き後何くれとなく世話するうち同情が戀に變り一昨年夏から同棲子供までも儲ける身となつたが其後男の態度はだんだん冷かとなり最近突然他の女と結婚して終つたので中年の戀に身を燒くモトにとつては堪へられぬ苦痛であつた、それに持病の肺侵潤はますます惡化するばかりで遂に身の行末をはかなみ再度の自殺を企てたものである、なほ三名の遺兒は市内松林町四六番地永井軍治氏の同情で發團保護會に引き取られてゐる【寫眞は殘された次女と長男】

新義州守備兵安東に增援

室師團長に官民陳情

安奉線鳳凰城附近に匪賊跳梁事件頻々と惹起し安東に於ても人心不安の爲室師團長の通過を機とし加藤安東派兵分隊長、高山安東警察署長、多田地方事務所長らは最近の事件を述べ朝鮮より派遣分隊を安奉線附近に配置方を陳情したが師團長は新義州守備隊兵を安東に增援各方面の警備にあてることとなり新義州守備隊長三輪中佐に内命せる模樣で增援隊は廿八日夜より守備につく筈である【安東電話】

東活の男女優大擧し來滿

在滿軍隊の慰問と『大和櫻』のロケーション

駐滿軍隊慰問と映畫「大和櫻」のロケーションのため東活では總務部長若木剛氏を御大として、南光明、東郷久義、石川秀道、大井正夫、藤田林太郎らの顏ぶれと岡田靜江、川島奈津子、宮城直枝、大内純子らの美しいところをズラリと揃へ一行二十八名が二十九日入港香港丸で賑々しく來連した、花束の様に集つた女優連のおしやべりを聞くと

妾たち滿洲に來た以上撮影なんかより慰問が第一の目的にしますわ、寒いには寒いけど兵隊さんの事考へると文句は云へないと思ふわ

いづれも極寒のもと北滿の野に馳驅する軍隊の話で持ち切りだ若木總務は語る

目的は軍隊慰問で、また滿洲を土臺にした滿洲の人岡田猛馬氏の原作の大和櫻のロケーションをするつもりです、派遣軍のお邪魔にならない程度各方面を撮しその上比較的勤務に差支へのない方面には軍部の意詔を伺つた上レヴユウでもお見せしますロケーションの方は井手君が采配を振り一同馬力を掛けて一日も早く映畫を完成したいと思ひます、歸りは二月に入るかも知れません

南東洋慰問なんて大きな身體の男優連が甲板にづらりと揃つて寒いくの連發だ【寫眞は東活の一行】

王子御降誕

李王妃殿下御慶事

【東京二十八日發】宮内省發表＝李王妃殿下は廿九日午前八時二十二分御分娩王男子殿下御降誕あらせらる

戰況を鳩便に託し盤山第一線から速報

田庄臺以北に於ける皇軍今回の匪賊大討伐に就き本社は目下藤井、織藏、森、東の四記者及び山口寫眞班員を特派して其速報に努めしめつゝあるが而も交通、通信共に頗る不便な各戰地特派員と營口支局並に本社編輯局との連絡方法については多大の腐心を要するものあり種々攻究の結果、鳩便を使用することになり、既に藤井特派員發の鳩便による第一報は昨紙既報一面所報の通り多大の成功を收めて營口支局に到着し時を移さず電話を以て本社に通信された、非常な氣と特派員の取扱ひ不馴れ等の關係上果して引續き如上の大成功を收め得るや否やは疑問なるも戰鬪第一線に起つ各特派員の活躍と相俟つて今後鳩便利用の通信は續々紙面を飾り讀者に見える事であらう、物凄い砲煙彈雨の中にあつてこの小さき平和の使徒等の活躍する可憐なる姿を想像し讀者は微笑を以てそれ等の通信を迎へられ度い

今曉撫順目拔の場所に怪强盜二名押入る

主人を脅迫し約一千圓を强奪悠々と兇暴な犯行

二十九日午前三時半市内西六條輪田〻場商撫順有數の資産家威司東洋行角德一郎氏方に二名組の怪强盜侵入し豫じめ電話線を切斷し外部との連絡を絶ち一名は見張り一名は裏側洗面所の小窓を破壞侵入炊事場より刺身庖丁を持ち出し先づ十疊の間に寢て居た角氏夫妻を懷中電燈で照らし金品物色中を妻女が眼を醒ましたので賊は聲をたてるとこれだぞと兇器を示し麻繩で角氏夫妻の兩手足をがんじ搦めに縛りあげ柱にくくりつけ次で女中上野ミサチ（一九）を縛し二階に至り撫順高女四年で一年以來常に首席を占めて居る同家長女蓉子（一七）をもめつたやたらに縛りあげ階下に降りて角氏に對し金庫番號を教へろと迫つたが角氏は番號は話しても判らぬといふや縛した角氏の足だけを解き事務所の金庫前に連行約金一千圓を强奪しその上悠々何事かをなした後夜明けを待ち六時二十分引揚げた、本件の如き撫順屈指の邦人紳商の襲はれたことは約十年來前例のないことで撫順署は非常な緊張裡に目下大搜査中である【撫順電話】

鳳凰城を襲擊した匪賊使用の技術隊旗

無許可の漁業は嚴重取締り處罰

……漁業者にして無許可無鑑札または期間滿了した無效の許可證若くは鑑札のまゝ漁業に從事する者いまなほ絶えないので關東廳當局はこれが取締に手を燒いてゐるがこれ等は關東州漁業規則第三條、第九條および第十七條の規定に違反する行爲であり規則第三十一條および第三十三條により二百圓以下又は五十圓以下の罰金または科料に處せられる事になつてゐるからこの際進んで正規の手續をなし許可證或は鑑札を受ける樣にまた禁漁期および禁漁に關してもまた採捕禁止時期および採捕禁止の魚介類を採捕する者ありこれ等も魚介類繁殖保護上面白くないのみならず規則第三十一條の犯則者として處罰される事になつてゐるから大いに注意して貰ひたいと

鄉軍遊說班大成功

けふ二班歸る

在滿帝國在鄉軍人時局同志會では先きに六班の内地報告遊說員を各方面に送つたが二十九日入港香丸にて九州班古賀元氏並に關西班足立幸一氏渡邊男氏が打つれて來連した、いづれも行く先々で頗る感動を與へた青年團學生等を熱狂せしめたものであるが福知山においては足立氏等の演說に感激した福知山病院長森田峰太郎氏の如きは藝州吉井清則團の愛春作の古刀を贈るところありその行を盛にしたと、なほ奈良、姬路、京都、大阪等出動部隊に關係のある箇所はいたるところ議識をなしその數は七十回九州班も古賀氏等の熱誠で各地とも沸く樣な盛大ぶりを見せ成功を納めて歸つた

軍縮會議の材料集め

奥田中佐來滿

明春二月ジュネーヴにおいて開催される軍縮會議海軍全權隨員海軍中佐奥田喜久司氏は全權一行と離れシベリヤ經由ジュネーヴへ向ふ途中廿九日入港香港丸で來連サロンに刺を通じこう語る

こちらに來たのは恐らく軍縮會議では又も滿洲問題が論議に上ると思つてこれが說明の材料さりと陸軍の方々の勞をれぎらふ意で一人でこちらに廻つて來たのだ、自分はまたこの種の會議になんか出た事のない全くのガムシャラな男だが又このガムシャラが役に立つ樣な事があるかも知れん、賠償會議なぞが濟んで軍縮會議は二月二日の豫定になつてゐるが何だか遲れる樣な報道があつたれ、英國が延期說　述べてゐるが日本は絶對にそれには反對だよ今日は旅順に戰蹟を訪ひすぐ北上する

關東學生射擊聯盟から慰問

關東學生射擊聯盟では駐滿軍隊慰問のため聯盟理事師尾源藏（明大講師）並に熊谷幹事長、楠見、小林兩評議幹事が打連れて慰問使として廿九日入港香港丸にて來滿した

右中師尾氏は語る

日本の射擊聯盟三千の會員を代表して軍隊慰問に來ました、聯盟のものはいづれも何時からでも第一線に飛出して働く覺悟はついてゐます、今度も　道巡察でも斥候でも何でも輸護して行つて將士の實情を知らせたいと思つてゐる、私は往年シベリヤ戰爭に從軍した事があるがそれだけに一層將兵の勞苦が思ひやられる

泉州蜜柑の進出目覺し

三菱商事の手で

滿洲一圓にて消費される内地蜜柑につき從來大部分を占めてゐた紀州の柑橘組合がその他の産地を糾合し、一面從來大連中央卸賣市場において、その指定商人たりしものが脱退して場外取引を行ふに至つたことは既報の如く、而して從來の實勢に鑑み市場取引は閑散を極むるものと一般に觀測されてゐたが、最近出廻り期に入つて、この豫想は全然裏切られた、即ち三菱商事が泉州蜜柑に手をつけ滿洲に大量輸入を試み中央市場に上場したるところ、品質、價格の點において進出物凄く、その取扱ひ高において目下のところ場外取引部ち前記日本蜜柑中國輸出組合と互角の勢力を張るに至つた、茲において右組合の坊野理事は對策講究のため急遽内地に赴いた有樣にてその成行きは注目されてゐる

暴行酌婦留置

市内逢坂町遊廓貸座敷水香方抱酌婦若葉こと小野マスエ（二二）は去る廿一日午前三時ごろ客のことから仲居射場カメ（四二）と口論し、醉ッ拂つて帳場にゆきカメを毆る蹴るの揚句拇指に咬みつき全治十日間の傷害を與へたが翌日無斷家出、市内播磨町救世軍婦人ホームに駈込み自廢を計畫中仲居カメの傷害罪告訴により廿八日午後六時頃大連署に留置された

●池田桂仙畫伯逝去

【東京二十九日發】日本南畫界の重鎭京都の池田桂仙氏は二十七日夜白邸で逝去した享年六十九

天氣豫報

三十日　北西の風　晴時々曇

各地溫度

	廿九日午前十一時	廿八日最低
大連	零下七、〇	零下八、四
旅順	同四、三	同七、四
營口	同九、七	同一二、四
奉天	同一二、七	同一五、五
長春	同一二、三	同二〇、〇

けふの小洋相場（正午）金百圓に一五三圓四〇錢

長男克巳儀病氣ノ爲豫て東京帝大病院に入院加療中の處養生不相叶本月二十七日午後七時死去致し候に付此段辱知各位に訃告仕り候

追て葬儀は郷里三重縣飯南郡西黑部村高須に於て執行可致候

昭和六年十二月二十九日

父　山口十助
親戚總代　山口賢吉
　　　　　保田文雄
友人總代　酒井清兵衛

武門血笑記 (11)

下村悦夫作　布施長春挿畫

女妖(二)

囚人！それは、痛みつゞけてゐる肩の傷を、槍の先で小突き廻すやうな怨しい屈辱感を、源之丞の胸に與へたのであった。

「殺せッ一思ひに殺せッ、でなければ、云へ！何故に、何故に、拙者を、斯樣に……」

源之丞は、傷の痛みさへ忘れたかのやうに鋭い口調で。云つた。

「靜かにおしってば！生かさうと殺さうと此方の勝手だつて、云つてゐるぢやありませんか」

「では、何故、拙者をこゝへ連れて來たのだ？」

「妾、お前さんに、訊き度い事があつたからさ、それさへ訊かせてお呉れだつたよ、釋して上げてもいゝんだが――」

さ、此時、隣室から。

「いけねえ！姐御、お前さん、滅多なこさ云ふんぢやありませんぜ」

鋭い男の聲が、お蘭の言葉を遮つた。

「大丈夫だよ、あたしがいゝやうにするからさ」

お蘭は隣の部屋の聲に、こう答へるさ、また、すぐ源之丞の方を振向いて。

「お前さん、訊かせてお呉れだらうねえ、厭だつて云ふ繩付きだね、なあに、大したこさを訊く譯ぢやありませんさ、唯、あれ、獄門首を繪に描くなんて、どんな理由からなのか、訊れて見たいさ思つてね」

「……」

「まあ、そんなに嫌な顔をおしでないよ、だつて、酔興にしちや餘んまり變ぢやないか、わざ〳〵眞夜中時に、あんな處へ獄門首を寫しに行くなんて――」

かう云はれて、今更のやうに、源之丞の頭に浮んで來たのは、堀下外れの掛け茶屋で、自分を待つてゐるであらう牧野織馬さ白井作樂。並びに、師匠太郎左衛門の娘お利花――この一連の環が持つ處の、今宵の不思議な使命であつたさうして、その結果、自分だけ、こんな惨めな運命の許に置いた、この怜しい謎に艶かな、女に對す る解き難い疑問の渦に卷込まれて行く自分を感じた。

「いや、拙者が訊かう、貴樣達は一體、何用あつてあの仕置場へ行つたのだ、先づそれから云へ」

「ほ、ほ、ほ、えらい權幕だ事あたし達は黒兵衛の獄門首を盗みに――いゝえ、取返しに行つたのさ」

「む、するさ貴樣は――」

「今になつて漸つさ判つたのかいあたしはね、黒兵衛の女房のおれんさ云ふものさ、女房が亭主のお葬ひにやつて來たのさ」

「では、白鷺の……」

「世間ぢや、勝手に、そんな名で呼んでゐるのさ。さあ、お前さんの返事をする番だ」

お蘭は、かう云ふさ、その冬空の月のやうに冴えた顔を、凝乎つさ源之丞の方へ向けた。

白鷺とは、よく云つた名だつたお蘭の美しさは、白鷺の持つ凄いばかりの美しさであつた。それは磨いて、磨いて、病的にまで磨き上げた美であつた。そして、それは――源之丞には、今迄見た事もない美しさだつた。藩中一の美人さ謳はれてゐるお梨花の美が、暖かい春の月のやうな美であるさすれば、このおれんの美は、氷のやうに冷たい、冬の月のやうな美であつた。

源之丞は、思はず、我を忘れて、彼女の、鐘めたやうな漆黒の瞳をば凝乎さ、見上げた。

さ、突然、玄關口の方で、慌たゞしい物音がして、次の部屋から

「姐御、米次が戻つて來やしたぜ幸作兄いの死骸を擔いでゐやすよッ」

さ、子分の聲がした。

「えッ、何うおしださえッ？」

おれんは、すつくさ立ち上つた

キネマと演藝

大江美智子舞踊挨拶　中央映畫館

沿線各地衞戍病院の傷病兵慰問のため二十八日北行した石太プロの大江美智子一行は三十日夜、或は三十一日朝歸連し、元旦から中央映畫館の新春興行に出演し、和洋合奏にて長唄舞踊「鶴龜」及び新舞踊「唐人お吉」を上演、更に舞臺挨拶をなしてファンに御目見得するが、大江美智子は寶塚少女歌劇の出身で山村流の舞踊名手さして知られてゐるから今回の舞踊實演は大いに期待されてゐる

大連舞研生總督官邸で舞踊

朝鮮部隊傷病兵慰問のため遙々京城に赴いた大連舞踊研究所生は二十六日午後六時からJODKから滿洲唱歌を放送し、二十六、七日の兩夜京城日報社及び滿日京城支局後援の下に公會堂にて慰問金募集義捐舞踊會を開き廿六日夜は九時半から總督官邸に招待を受け約三十分間舞踊を演じ櫛木氏は宇垣總督より懇親な研究生指導上の注意を受けた、また一行は廿七日午後二時から龍山衞戍病院に傷病兵を見舞ひ舞踊慰問をなしたが、二十九日仁川發第廿六共同丸で卅一日歸連の豫定である

時評

今年ほど映畫界に次から次へと問題の起つた歳は珍しかつた▲振返つて見ると各映畫館の上映々畫が全部一變して全く更新した一九三二年を迎へるやうになつた▲而もまた未解決の問題が相當に來年へ持ち越されるが、すべて圓滿解決して邦人映畫業者が結束すべき秋であるまいか▲徒らに樂屋落ちの爭ひを避けて行く時は飛んでもない結果を招來するだらう▲さて來年はどうなるか、映畫の事は蓋をあけて見ないと判らぬところに面白味があつて矢張り賑やかな事だらう▲その賑やかな新春興行も内地式にどうやら大晦日から蓋をあける館もあるらしく正月は眼の前にぶら下つてゐるが、儲かるものやら損するものやら、千支で緣起の祝へぬ歲が來る

日活映畫仇討選手

◇日活時代劇の名コムビとして久しくファンから絶讃を浴びて來た大河内傳次郎と伊藤大輔を切離し、現代劇の内田吐夢を配し更らにカメラの唐澤弘光に代つて小林正を加へ、こゝに新なトリオをつくつて製作された一篇であり、時代劇の新傾向映畫の一つとして注目される作品である、そしてその結果は映畫的にも大河内物の新局面を打開した歡喜を持ち、ファンには至極面白く且つ痛快な作品となつて、再び大河内萬歲の拍手が約束されてゐる

◇先づ何より成功したのは小林正の原作脚色で、殿樣の御機嫌を取結ぶために職人を仇討選手に仕立てゝ成功させ、最後に武士となつた職人を自覺させるといつたストオリイの狙ひ處が、輕妙な脚色によつて俄然活氣を帶び前半の笑ひを後半に引締めたところに、この一篇の成功がある

◇内田吐夢の監督も洒脱味の豐かなスピードを以て終始してゐるそれに大河内傳次郎が「彌次喜多」時代の借りものゝ感じからスッカリ今度は板についた良さに好感が持てる、タイトルの次に必ずぶつかる大河内の上眼睨みから救はれただけでもファンは一息つぐことが出來よう、そしてフンダンに笑はされ、溜飲を下げていゝ氣持になれるさつぱりとした映畫である、助演者では山田五十鈴が更らに良くなつた事と佐久間妙子が不思議と美しく見えるのが目立つてゐる【帝國館新春第一週上映】

モンブランの嵐

獨乙アファ社の山のトーキーでアーノルド・ファンク博士原作脚色レニ・フエンシュタール嬢冒險飛行家エルンスト・ウデット氏共演【常盤座初春第一週上映】

本社特選 新棋戰 (其五)

平香交香落番　四段△建部和歌夫　三段▲加藤富久

△建部氏「持駒」歩歩

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
桂					金	銀	桂	香	一
飛					金	王			二
歩		歩	と	銀	歩		歩		三
		歩		歩		歩		歩	四
	歩			銀					五
		歩						歩	六
			歩	歩	歩	歩			七
		飛			銀	玉			八
		金		金		桂	香		九

▲加藤氏「持駒」角角桂歩

【圖は三一銀香迄の局面】

△五八金　▲七七角
△六五飛　▲七六角
△六九飛　▲五五角成
△四六歩　▲八六飛
△四二銀成　▲同金

【土居八段講評】△建部君の六九飛は策を誤つてゐる。目下の狀態では飛車の働きが比較的薄いから寧ろ四二銀、同金、六七金打、六五角、七七金と交換し角を手に持つてゐる方が指し易い▲加藤君は二枚角を利用して敵飛車壓迫の方針を立てたのは穩健な良策である。

【萩原六段解說】上手五八金は五四銀と上つても五二歩と打たれると敵飛の利きがあつて面白くないので五八金と自玉の備へに上つたのである下手七七角と打つて攻防に備へたのは至當な指手である上手六五飛は六四飛では五五角と成られて面白くないので六五飛と指したのである。下手七六角と打つて極力敵飛を攻めその間先手を取つて五五角成の順に指したのは巧みである。上手の四六歩は敵同馬なら三六銀と引いて次に四七銀引の順を作る意味である。下手八六飛は敵の飛車先を五五馬や七六角の力を以ていつでも留めることが出來る故に攻勢に用ひたのである。

大連港を中心とする 昭和六年の海運界(下)

銀暴騰やボンド爲替の激變で 閑散裡に越年の遠洋市況

次に遠洋市況を見るに歐洲航路は客臘來引續き同方面向大豆出廻の順調と近來の特產市價低落から船腹の需要も相當に好勢裡に推移し殊に荷役困難に原因する浦潮積運賃昂騰等の諸材料を入れて市況は益々强調を唱へ、運賃も二十二、三志にて取極めをみた、二月に入り大型臨時船の濠洲、印度、南米方面集中の傾向益々濃厚となり、山下、大同兩社の取極め分を合すれば本邦就航船腹は約八十萬噸に達すと言はれ、大連歐洲定期船腹はこれがため、不足を告ぐる狀態にあり、これがため市況は益々强調を呈し、しかも船腹拂底の結果は運賃率の如何を問はず需要に應じ得ざるに至り船主側の態度は更に强硬となり二十四志と昂騰した三月になつても中旬迄は極めて順調に推移し、就中大豆運賃は從來船腹拂底を續け來つた三月積、四月積は二十七志を唱へて續々成約をみたが下旬に入り大豆に對する買氣一服のため貫率も幾分伸び惱み商狀を呈したが結局好調保合裡に推移した。

……◇……

然るに四月になると大豆輸出稅增徵問題擡頭し、その實施期如何が採算上相當重大なる關係を持つため先物の張合手控への模樣ありて中旬以後市況再び閑寂となり貫率も又幾分下廻り氣配を呈したが、一方に於て配船狀態が順調であつたので直積物は依然二十六七志、先物は二十五志所を唱へ綾保合のまゝ五月に入つた、しかも東洋方面に於て過剩船腹の殺到を招いた結果は運賃市況は更に下廻り商狀を續けた、尙一時氣遣はれた新輸出稅率が從來と何等變更なき旨發表されたに拘らず大豆に對する歐洲筋の買氣は一向に冴えず市場運賃率も漸落氣配を辿り新規の商談も實に寥々たるものがあり、愈々夏枯期近きを思はしむるに充分であつた、六月になつても依然軟弱の一途を辿り中旬末期近物は二十志見當、先物は二十二、三志を唱へたるも下旬に入り米國大統領の聲明たるモラトリアム提案により歐米各市場は一齊活況を呈したが同案の實現性未だ確立せざるため右活況は一時的に止まり間もなく氣迷ひ狀態に入り從つて同業も未だ海運界を潤す迄に至らず上半期を終つた。

……◇……

かくて七月前半までは稍平調を維持したが期待された賠償問題による影響みるべきもののないうちに早くも獨逸財界の危機暴露したるため一般に先行懸念濃厚となり、歐洲筋は自然買氣手控へとなり後半は船腹商談皆無の慘狀を呈した、八月となつても引續き商談皆無のため上旬迄に期近物に慘落をみせ安値は十五志見當を唱へたが間もなく人氣見直し中旬以後前月並の二十一志にて商談をみた、一方長江水害による對米小麥四十五萬噸の商談成立說にて遠洋船腹の先行き稍好望視されたが從來歐洲向定期船の約半船腹を充塡した長江流域輸出穀物類が今回の水害で全滅を豫想され、却て對歐海運市況に及ぼす影響は寧ろ悲觀說に傾いてゐる、九月に入り市況依然軟弱、徹底的商談を續けながらもやがて來るべき新穀出廻季に對する引合漸く開始されんとする折柄、滿洲事變の突發と英國金本位制の停止に財界は全く混亂狀態に陷り對歐商談は全部停止せられ爾後何等の轉回もなく越月した、これがため先物即ち十一月以降出廻期物に對する市場運賃率の如きも全く見込み立たず荷主、船主とも只成行を拱手傍觀するに過ぎない。

……◇……

越えて十月中旬頃まで折柄の端境期關係と時局並に歐洲財界の不安等のため取引は殆ど停止し月初入港船の如きは大豆十志の低率を以ても尙且商談不成立を見る慘狀を呈した、但し中旬より下旬にかけ漸次新穀の出廻增加をみるに至つたのと且歐洲財界の安定氣味等の好材料を入れ反動的に買氣擡頭し更に折柄の配船薄をも加へて市況は俄に硬化し貫率もまた二十三、四志を唱ふるに至つた、十一月となれば出廻り期に直面して漸く對歐取引も本格的となり市場運賃率も二十四、五志所を唱へたるため他方面に於て行詰れる社外大型船の歐洲向配船急激に增加し中旬頃迄に浦鹽及大連積大豆の活躍せられたるもの約二十萬噸に達したが月央以後は反動的に商狀を逆つて取引沈滯し貫率もそれ〴〵二、三志方の低落をみ、月末大連積二十志唱へとなつた、十二月に這入るとボンド相場の下落に伴ふ採算困難のため大型臨時積取船の浦鹽、大連廻航減少の結果、船腹調節せられたると出廻り期との關係上運賃市況は比較的平調保合つてゐたが內地政變、金輸出再禁止により俄然硬化し一志方の昂騰をみた、但し銀相場の暴騰やボンド爲替の變動激甚のため商談も手控へられ頗る閑散裡に越年しつゝある、今對歐大豆運賃を各月別に前年と比較すれば左の如くである(單位志)

大豆(一噸につき)	本年	昨年
一月	二二・五	一三・〇
二月	二四・〇	八・〇
三月	二七・〇	一〇・〇
四月	二六・〇	一四・〇
五月	二四・〇	一二・〇
六月	二二・〇	一一・〇
七月	二一・〇	一二・〇
八月	二〇・〇	一三・〇
九月	―	一五・〇
十月	二三・〇	一五・〇
十一月	二二・〇	一九・〇
十二月	二一・〇	二一・〇

滿洲產飼料 檢查改良の申出

東京の滿洲特產物協會から滿洲重要物產組合へ

日本內地における各種畜產事業なかんづく養鷄事業の進步發達は農林省當局の指導獎勵と滿鐵の大豆粕の飼料化普及によつて最近特に顯著なるものがあるが、輸入飼料のうち滿洲特產物中の高粱の如きは輸出檢查の制度なく極めて不統一なる所からその水分、容量、並に麻袋等の點に於て著るしく不利不便を感じ將來

販路 の增大を期することは困難を感ずる所から東京に於ける滿洲特產物協會から高粱、包米輸出檢查の件につき滿洲重要物產組合に對し此の程左の如き申出があつた

拜啓各位益々御隆昌奉賀候陳者輓近牧畜農業に對する農林省當局の指導獎勵及滿鐵當局による大豆粕の飼料化普及事業の效果とは各種畜產事業の勃興を促し就中養鷄事業の如き其進步發達は特に顯著なるもの有之候、從つて飼料の需要は逐年增大しつゝあるも

遺憾 なから其大部分は全く輸入に俟つの現況に有之候、然るに之等飼料の供給に對し世界の豐庫とも稱すべき南北滿洲に於ける特產物中高粱の如きは輸出檢查等の制度なきため全く不統一にして其水分、容量並びに麻袋等の點に於て茲に南洋、南米產に劣り輸入者及需要者の齊しく不便不利を感ずる次第にして其結果輸入量に於て內地需要の十分の一にも達せざる有樣に有之候、斯の如き現狀に有之候間之が改善を等閑に附する時は益々滿洲產飼料の聲價を失墜せしめ將來販路の增大を期すること到底困難と相成り吾人特產物商は勿論國家經濟の見地よりするも洵に遺憾の次第に有之候就ては產地當業者各位に於ても事情篤と御賢察の上右改善方に關し左記御考慮の上何分の御盡力相仰度此段得貴意候、追而過般當協會第七回通常總會に於て決議相成候包米の檢查制度實施に付ては既に十月廿九日付を以て滿鐵當局に於て御制定相成候間內地向飼料に對しては今後可成檢查合格品を以て御取引相成候樣御獎勵相煩度此段併而御依賴迄申上候

記

一、麻袋不良なるため缺斤問題續出し內地當業者の蒙る損害莫大なるを以て一定程度のものを使用すること

一、乾燥不充分のため生ずる危險は最も恐るべきものにして其損失も亦頗る甚大なるを以て水分は一五%以下になさしむること

一、麻袋及斤量一定せざるため取扱上甚だ不便なるを以て正味一四〇斤とし三五二袋一車に改められ度きこと

高粱、包米の取引で 檢查實行不可能

滿洲重要物產組合から回答

右に對し滿洲重要物產組合より二十九日附を以て左の回答を發した

拜啓貴會第七回通常總會に於て決議せられたる趣きにて高粱、包米の輸出檢查制度を設け水分容量、容器の改良方御來示拜誦仕候、御來示迄も無之當組合に於ては特產物の輸出進展、向上のためには絕えず注意を不怠改良を加ふることとの實行可能のものに對しては其都度之が實現に努め居候、例令ば昨年內地製油業者と協定し夾雜物檢查制度を滿鐵に依賴し實行致したるの外本春以來種々研究の上黃麥の夾雜物並に包米の水分檢查實施方を滿鐵會社に提唱し今日之れが實行を見たる如き着々取引上の向上を實現致居候、而して

包米 の取引に於て檢查合格品の取引を爲す樣獎勵方御來示に候得共滿鐵會社に於て實施する檢查制度は混合保管品を除き凡て檢查品其物に格付を爲すものに無之單に檢查の結果を證明付けるに不過候之れ卽ち滿洲に於ける雜穀種子類の取引の實情に則したるものに有之候、又高粱につき種々御來示に有之候處御承知の通り高粱は年產額約五百萬噸王として滿洲在住支那人の常食にして所謂地場の消費を主旨と致すものに有之其餘剩にして輸出せらるゝもの年二十五萬噸內外卽ち生產量の五%に不過、而かも日本に需要せらるゝもの目下僅に十萬噸內外に不過故に日本との取引にのみに當て水分を限定し華商より買付くる事不可能に有之勿論大連に於て乾燥手入れの設備は致され候得共原價の極めて低廉なる之れ等の商品に對し乾燥等に要する費用を負擔せしめ候ては賣値極めて割高と相成自然貴我取引の出合を失ふ結果と相成可申と存候

苦心 致し居候得共未だ名案を得ず遺憾に存候、尙亦袋詰斤量は一袋百四十斤とし數年前よりても之れが改良に努め實施致居り先年滿鐵會社は延建實施以來一車の袋數三百五十二袋とし爾後統一相成居候間之れは貴會員中高粱を取扱はるる會員は全部御承知の事と存候要するに高粱、包米の取引につき輸出檢查制度の如きは實行不可能に有之從つて御來示の條件は現下の實情より見て賣買當事者相互間に於て取引の都度特別に取極めらるるの外差當り他に實行の方法無之ものと認め候間右に御承引被下度此段拜答申上候

消費組合の改廢問題

過日奉天において輸入組合理事を中心とする關係方面にて消費組合改廢問題について協議を遂げた內容は申合せにより絕對秘密を嚴守されてゐるが、一般の認識によれば大體左の如きものと傳へられる卽ち三、四の各地案を愼重審議の結果、搗き合せて大體において一案を得たが、それは抽象的に大綱を定めたものである、而して本問題解決については大局高所より樹立さるべき新滿洲植民乃至經濟政策を根基として歸納的に案を樹つる必要あり、この意味において軍部方面の眞意を諒解しその援助を乞はねばならぬが、軍部では兵馬倥偬の間、未だ本問題に關し專念講究する閑暇を有しない、而して本問題については一面滿鐵關係方面とも緊密な連絡裡に遺漏なき研究を進め對策を樹てねばならぬといふことに大體意見一致した、そこで今回の協議會にて得たる右の一案は今後とも輸入組合聯合會の手において練り上げると共に、軍部と滿鐵の意向並に態度に應じて案の內容にある程度まで改變を加ふることもあるべく、ともかく善處することになつてゐる模樣である

全滿米穀商組合の檢查穀數

全滿米穀商組合の本年度檢查穀數は昨年に比し六百卅石餘の減少を來してゐるが十二月に入つては昨年十二月の八千九百卅六石餘に比し一萬一千二百四十九石約三割方の增加といふ記錄的檢查穀數を示してゐる、なほ一年を通じて六百卅石の減少を見たのは今回の事變で出廻りの不振と出遲れによるもので明春一、二月頃には殘穀の檢查數は相當多量に上る見込である【奉天電話】

獨逸賠償金 支拂停止 協議會開催

【ベルリン二十八日發】ドイツの賠償年金支拂停止協定に關する協議會は本日當地に開催されたが一月七、八日頃まで繼續される模樣である會議の前途は寧ろ樂觀され圓滿な進行を見るものと期待さる

日銀貸出 十億圓突破

【東京二十九日發】二十八日繰越された日銀の帳尻貸出九億圓は二十八日更に貸出され同日現在十億圓を突破金融界は緊張を呈してゐる

1931年の大連經濟界を顧る……(9)

多事多端だつた今年の株式市場 市場の好轉と前途觀 (下)

相場に高低起伏が多く、波瀾重疊を極めたのであるから、當地市場取引も定めし繁盛を示しただらうと想像されるが、事實は反對であつて、上半期は大體普通の成績であつたが、下半期には出來高減切り減退し、殊に定期取引は激減し纔に延取引の出來高によつてこれを補足して市場の體面を支持して來た、隨つて取引所の業績は極度に悲觀され當所株の慘落を見たが歲末に至つて

政變來 に際會し、金輸出再禁止に會ふて以來、形勢俄然一變して五品株式市場の出來高は頓に激增して一日一萬株に垂んとする盛況を呈し、尠くとも一日六千株を下らざる有樣にて、この情勢を以て推移するときは今期は相當の純益配當を期待し得べく、一時その前途を危惧されんとした五品市場も現實悲觀の憂ひを解脫して一陽來復の

春を迎 へんとするに至つたのである、左に本年一月以降十一月末に至る五品市場に於ける株式定期及現物並に延取引出來高を掲げて見やう(單位株)

月別	定期商內	現物及延
一月	一二、九七〇	一二、三三〇
二月	一三、三八〇	一二、三六〇
三月	二六、六一〇	二三、五〇〇
四月	二三、八一〇	一五、二五〇
五月	一五、七一〇	一〇、三〇〇
六月	一五、二五〇	一二、八四〇
七月	一四、七六〇	二五、六六〇
八月	[illegible]	[illegible]
九月	三、〇一〇	一六、五八〇
十月	二、二七〇	一六、一七〇
十一月	二、三六〇	二〇、八二〇

次ぎに最近四期間に於ける五品取引所に於ける株式取引の一日平均出來高を比較對照して示さば左表の如くである(單位株)

期別	定期	現物	總平均
二一期	八六	一、一九六	一、六九九
二二期	一一四	八六一	一、〇二四
二三期	九五	六二一	一、四〇二
二四期	二六五	五九七	九六一

延七二二

卽ち本年上半期は一日平均出來高千四百二株なるに對し下半期は九百八十一株に過ぎずして、下期の株式市場が如何に閑散不振狀態にあつたかは推測するに難くないであらう然るに本年下半期決算後最近に至つて情勢一變して出來高の激增を來し、一日出來高六千株を下らざる

賑盛振 りを示して居るから今期(昭和七年上半期)の一日

べく、昨今の如き狀況が一個月持續すれば裕に在來の一期分の手數料收入を擧げることが出來ると云ふすさまじさである、隨つて今期は配當可能となり、前途に光明を認め得るやうになつたから、自然五品株の騰勢は今後とも持續されるであらう、唯だ値段が値段だけに現株手持筋の賣り物が相當あるから、これを一巡消化した後でなければ

大爆發 は期待し難いが株式、商品兩市場の好轉と共に五品株の地位が漸次に高められつゝあることは何人も否定し難いところであらう、加之我國の金輸出禁止並に銀價暴騰の結果として有價證券及不動產の價格は著るしく騰貴し同社所有財產の評價價値がそれだけ向上したとは會社の內容充實を來し自然これも株價の上に好影響を齎らすものと見ることが出來

向上性 に富んで居るものと見て差支へないであらう、次ぎに新東株について見るに東株市場は最近の大變動によつて市場關係者に相當痛手を蒙つたものがあるからこれ等を救濟する意味からしても何等かの方策が講ぜられなければならない狀態に在る、その一つの現はれと見られて居るのが東株の增資說である、事情斯の如しとすれば東株の增資は早晚實現の可能性をもつて居るものと見ることが出來る、隨つてこの增資と對外爲替の變動、並に各種商品相場の奔騰等を材料として新東株は今後尙一段の

躍進振 りを示すものと期待することが出來るであらう、新年の株式市場は斯の新東株と當所株を中心として可成り大きな波瀾を描き、意外な變動を示現するものと期待されて居るのである(完)

皇軍の慰問に……

もうソロ〳〵景氣來か 大倉喜七郎男來連

歲末財界の多忙時を控へ突然滿洲行きを思ひ立つた大倉喜七郎男は廿九日入港の香港丸で大倉組理事橫山信毅、平木泰治、仁賀保成人の三氏と共に來連した、サロンに刺を通じると劈頭

雨霰聲譁歲欲窮。平生報國寸心忠。不知弗買非耶是。遠脫汗紛訪滿豪。

昭和六年十二月二十九日於大連港外 聽松 大倉喜七郎

と筆を走らせ

戰線に 立つ勇士等の慰問 まづこんな氣持ちで來ました、內地は弗買ひでやつきとなつてゐます、自分なぞそんな渦中に卷き込まれるより時局の動きの中心地滿洲にでも行つてみた方が餘程氣が利いてゐると思つてブラリと來ました、慰問の目的であると云ふ意外は全くの白紙です、邪魔にならない程度奧に入るつもりです、その日取りなんか判りません、財界はくたぶれたなりにつめるものをつめてしまつた形です、一寸一時的な景氣を見せた樣だが全般的にはまだ〳〵だ、でももうソロ〳〵景氣に向ふんぢやないだらうか、アメリカの金輸禁止が問題になつてゐる樣だが理論としては金が一とこころに集つて行くのが本當でそうなつたら信用が物を云ふ時代が來るでせうでもこいつは

理想だ 金輸の問題も今ではそれ自身よりむしろそれによつて來る副產物の方が主要視されて來た樣なわけだ、この不景氣は世界的なもので獨逸の店のもの、話なんかでも「日本はまだ好いんですよ」といつてゐる位です

更に75圓臺に跳ねあがる

大納會の錢鈔市場

大連錢鈔市場は本朝前場を以て大納會としたが、昨年一月以來の新高値たる七十五圓五錢を現出した卽ち海外銀塊弱保合、上海標金小腳かりなれど、これらは無影響にて、神戶日米爲替は第一回、第二回とも三十七弗一度を入れ、昨日第一回に比べ二弗安、同第三回に比べ一弗安の續落にて米日爲替も三十七弗五十仙にて二弗五十仙安といふ激落振りを報じた、されば當市は昨後場において七十四圓五十錢に引けたる機先、今一段と上伸すべきところを大納會なるため利喰手仕舞氣分濃厚にて七十四圓丁度に寄りつき七十三圓五十錢まで押し、高値は七十五圓五錢まで伸びて七十四圓九十五錢に引けた而して氣配は一般に春高を見越してゐるが目先相場の綾については硬軟區々である

大納會の特產市場

本年掉尾の大納會たる二十九日前場の大連特產市場は銀相場は依然として七十四、五圓臺を往來したると大豆は昨場好勢の氣先買一巡で反動的に一段と下押し十二錢乃至十三錢方の暴落を演じ、他の三品も相伴れて軟化し、豆粕は三錢乃至四錢五厘安の低落、豆油は三十錢乃至五十五錢方の反落、高粱もまた五、六錢安の低落振りを示した、但し年末年首の休日控へで出來高は引續いて彈み大豆は四百二十八車、豆粕十三萬枚、豆油三萬四千箱、高粱九十二車の手合せあり頗る活況裡に納會した

十二月限の大豆高粱

大連特產市場に於ける十二月末日限大豆、高粱は二十八日前場を以てそれ〴〵納會を告げた、大豆賣買總出來高は八千七百五十五車、受渡高六百四十九車、受渡步合七分四厘弱、受渡標準値段四圓五十八錢にして前月末日限に比し賣買總出來高では二千七百二十九車の增加を示したが、受渡高では却て四十九車の[illegible]値段では三十一錢方の安値であるなほ公定相場は最高六圓二十九錢最低四圓五十一錢でこの開き一圓七十八錢であつた、受渡の手口を示せば左の如し(單位車)

▲渡方

店名	車	店名	車
福和益	二	興隆東	三
永衡	一〇九	益發合	三
聚新昌	一七	三泰	七五
新正	八五	成發祥	三五五

▲受方

店名	車	店名	車
寶隆	二	東永茂	一三
同聚厚	一四	和泰	一六
和生祥	一五	乾聚和	一二
達昌	一	泰來	二二
雙聚福	一五	萬慶昌	一六
福順厚	一九	福順義	一八
福聚恒	一五	廣源泰	一七
恒昇	一六	義順生	五
裕昌源	三六	昇源	五
東記	一六	東昌源	五二
日清	四九	豐年	二〇一
瓜谷	二	三井	二九
三菱	八二		

次に高粱は賣買總出來高二千四車、受渡高五十九車、受渡標準二分九厘强、受渡標準値段二圓六十二錢で前月末日限に比し賣買總出來高では九百九十車の增加、受渡高では二十三車の減少を示し受渡標準値段は四錢方の安値であつた、尙公定相場は最高三圓九十七錢、最低二圓五十四錢でこの開き一圓四十三錢であつた、受渡の手口を示せば左の如し(單位車)

▲渡方

店名	車	店名	車
裕昌源	五六	東昌源	一
三菱	二		

▲受方

店名	車	店名	車
福順厚	五一	文盛裕	三
裕豐成	三	松田	二

市況(廿九日)

特產 買氣一服で 大豆暴落

今朝の定期は大豆は昨場好勢の機先買一巡で反動的に一段安を入れ豆粕、豆油、高粱も相伴れて一齊低落商狀を辿つた

◇定期前場(半前)

▲大豆(暴落)單位厘 [illegible]

出來高 四百二十八車

▲三等大豆(出來不申)

▲豆粕(低落)單位厘 [illegible]

出來高 十三萬枚

▲豆油(低落)單位錢 [illegible]

▲高粱(軟調)單位厘 [illegible]

出來高 三萬四千箱

豆

本年掉尾の大納會の日銀價は依然として[illegible]七十四、五圓臺を往來して[illegible]りなると▲大豆は昨場好調の氣先買一巡で反動的下押しをみ、十二、三錢安の暴落を辿り▲他の三品も相伴れて軟化し一齊に低落商狀を示し出來高も頗る多く活況裡に納會した▲大連油坊聯合會の書記長として十有二年の久しきに亘り斯業のため盡す所あつた赤澤宇之助氏が歲の瀨も迫つた二十八日突然、ホンに突然辭任を餘儀なくせられたのは如何なる理由あるにせよ惜みても餘りある

銀

爲替は依然としてわるい、米日は二弗五十仙も暴落し▲日米も昨日第三回に比べても一弗の續落振りだ▲そこで當市が七十五圓五錢の新高値に伸びたのは勿論だが▲流石に大納會にて利喰や手仕舞氣分濃厚にて上げ遊り勝であつた▲かくて昭和六年度の錢鈔界は異常の緊張裡に最後の幕を閉ぢたが▲波瀾極まりなき年を送るに相適はしい大納會であつた▲そして一般に春高を見越されるだけ明るい大納會だつた

黃塵

◇…銀相場は七十四、五圓臺に躍進し尙先高を豫想せらるゝに拘らず滿洲特產物の銀建相場はさして下落もせず寧ろ堅調を持してゐるのは一種の奇觀である。

◇…これを金圓に換算すれば約二三割方の暴騰であり、需要地唱値との間に逆鞘を甚だしくする

◇…かくて取引は停頓し輸出は困難となり二、三流の特產商は全く手も足も出ない。

◇…產地相場がかくも騰貴する理由は何か!事變による出廻り懸念がその一、南支筋は銀建で取引するから銀の昂騰が無關心なるのみならず金建運賃が割安となるのがその二、

◇…彼此相俟つて買氣ある所以であり現實の出廻り薄が市價を騰貴せしめる。

◇…故に市價を調節し輸出を順調ならしめるの途は兵匪馬賊を徹底的に掃蕩して南北滿洲の治安確保を圖る以外何ものもない。

◇…これ增兵の緊急なる所以であり、速かに滿蒙の經濟界を常態に導く捷徑である。

◇…黃塵子の說く所概ね黃塵の類に過ぎず、徒らに汗を偏ずるのみ、かくして昭和六年を送る、[illegible]を新にしてまた見えん哉。

錢鈔 昨年一月以來の新高値大納會

今朝日米は第一回第二回とも三十七弗丁度を入れ昨朝に比べ二弗安、昨午後に比べ一弗安にて米日爲替も二弗五十仙安の三十七弗五十仙を報じたが當市は大納會利喰のため上げ遊つた、それでも昨年一月以來の新高値である、海外銀塊弱保合、上海標金小腳り、滙申七十四兩四五、滙烟七十兩七五〇、大洋百二圓六十錢

◇定期前場(單位錢)

限月	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇現物前場(銀建)

	寄付	大引
混保(袋込四七八〇)		
大豆(裸物)	四七八〇	四六八〇
出來高	百五十車	
普通大豆(出來不申)		
豆粕	一六五〇	一六四〇
出來高	四萬枚	
豆油	一三〇〇	一二四〇
出來高	一萬三千箱	
高粱	二九〇〇	二九〇〇
出來高	六車	
包米	三〇〇〇	三〇〇〇
出來高	二十車	

▲包米(出來不申)

出來高 九十二車

◇定期喰合高(廿八日帳入)

		前日對比 △印減
大豆	五六九二車	二五六車
高粱	一〇五九車	△一七車
豆粕	四二一五千枚	七二千枚
豆油	四六四〇百箱	一一〇百箱

上海爲替情報

【上海二十九日發】[illegible]

上海標金

寄値	高値	安値	止値
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

海外市況

各地特產發送高

大連埠頭到着高

滿洲日報

北寧線上の形勢急迫 こゝ一兩日中衝突か
溝帮子に多數の貨車を集め 張學良軍新民に迫る

張學良は列國の手前錦州軍撤退を唱へながら對日抗爭の最後的決心を定めたるものゝ如く、既に二十八日溝帮子に三百八十輛の貨車を集め盤山、泰安、遼中に正規兵を增派するのみならず、北寧線の正面白旗堡に彰武から南下の騎兵と合せ增派し新民を衝かんとし各方面とも戰局愈々切迫し來つた、斯て北寧線上の衝突もこゝ一兩日中と觀られてゐる【奉天電話】

白旗堡附近にありし義勇軍第四路は廿七日白旗堡東南方大民屯西南方地區に移動しまた小黑山方面に主力を置き次第五路はその主力を以て白旗堡に進出した、尙系統不明な馬賊若干は新民西北方地區に來り右の各部隊と相協力して新民攻擊の機を狙つてゐる【奉天電話】

奉天新民攻擊を命令
錦州軍一萬二千に對して

錦州軍總指揮官榮臻は營口線盤山の死守もその效無きを察し北寧線白旗堡に待機中の黃顯聲、張廷樞の兵約一萬に對し新民攻擊命令を下した外、彰武からの騎兵二千に對して新民北方を迂回し奉天を衝くべく命じた、このため北寧線上日支兩軍の衝突は廿九日中と見られてゐる【奉天電話】

我先鋒隊盤山に入城

わが軍○○騎兵聯隊の先發隊は二十八日午後一時半盤山に入城した【奉天電話】

我軍の先鋒部隊たる○○部隊は盤山を占據した【營口電話】

空と陸で壯烈な戰闘
盤山に進擊するわが軍
藤井、神藏兩特派員發 廿八日載家舖にて

二十八日田庄臺を發したわが第○師團は大行李數十車を續け先頭騎兵中隊を以て兵匪を掃蕩しつゝ進んだが午後二時北方より**敵裝甲列車白河堡に前進し來りわが軍に挑戰した**、わが軍は重砲を以て直に應戰わが飛行機三機もこれに參加し、**空と陸より壯烈なる戰闘を開始した** 午後二時大甸家坟において**敵裝甲列車を攻擊、顚覆せしめた**が敵列車はこれを引きずりながら北走した、この時大窪停車場において敵列車と交戰中の野砲第○大隊第○中隊長**成瀨薰大尉は敵彈破片により負傷**した、一方第○○聯隊の藤井少佐の率ゐる一部隊はわが裝甲列車で河北より敵列車と交戰擊退し線路を修理しつゝ前進したが二十八日夜は大窪驛に宿泊、一方本部隊は敵騎兵を擊退しつゝ同夜田庄臺より前進五里載家舖村落に進出した載家舖附近の敵騎兵四五百名を擊退したが敵は死體五を遺棄逃走した、この死體を調べたところ彼等は**東北救國義勇軍第一軍第二團騎兵隊と記した黃色腕章を附してゐた**、當日の戰闘のわが損害は成瀨大尉負傷ほか騎兵軍馬二頭負傷した、**宿泊部落は僅かに十三戶しかなくそれに千三百人が分宿**し我等を收容するに足らず兵及び我等從軍記者一同は土間に高粱殼を布いて寢たが寒さは足下より背にしみる、明日はまた前進！我等は敵の强固なる陣地を有する匪賊根據地たる盤山に向つて進擊する **我等は愈々敵主力の駐屯する戰闘地帶に到つた**【鳩便】

空軍の華々しき活躍
敵の裝甲列車數輛を爆破

多門師團の總進擊と共に盤山方面の狀況偵察のため二十八日午後二時大石橋を出發した濱松○○飛行隊の石川大尉を編隊長とする輕爆擊機三機（第一機石川大尉、糸田少尉、第二機阪本曹長、戶田特務曹長、第三機足立軍曹、渡邊軍曹夫々搭乘）及び○機編隊の偵察機は北寧線の營口支線上に現はれ圓形を描きつゝ我地上部隊の針路を指し示しながら八方に眼をくばりつゝ行きつ戻りつ一絲亂れぬ飛行ぶりを示し盤山、大窪間の大甸家附近において**田庄臺方面へ向つて進行中の敵の列車を發見、直に爆彈を投下し先頭にあつた裝甲列車數輛を爆破し**線路をも爆破したので同列車は進退に窮し搭乘してゐた敵兵は四散した、尙わが飛行機は同列車が進行中のため危險を冒し十數回低空飛行を行ひ爆彈の命中に努めた

寒氣と降雪とに惱む

二十八日朝田庄臺を出發した前衞○○部隊はサイドカー、自動車などで前進を急いでゐるが、**寒氣と降雪に惱まされ行程捗らず** 騎兵○○部隊も同樣行軍に頗る困難を感じてゐる、それがため盤山到着は二十九日午前に至る模樣である、又第○師團**司令部は二十八日午後四時大窪東方に到着**したが、行軍頗る困難のため同夜は八家堡附近に宿營の已むなきに至つたもの、如く、同部隊最前線とは一日行程の距離を生ずるに至つた

營口方面戰況

軍部到着の營口戰況左の如し 我牛圍及び櫻井兩方面より潰走の東北正規軍を交へた一千五百名は盤山附近陳家堡、三黃地一帶高地を利用し范家屯方面に進出せし我步兵に對し猛烈なる逆襲を行つて來たがわが步兵は飛行隊及び砲兵の有力なる協力を得二十九日朝十時半激戰の後驛北方に潰走せしめた【奉天電話】

錦州軍の匪賊援助の事實

錦州軍の匪賊援助の事實左の如し 去る二十五日通遼に銃器彈藥を滿載せる二列車は裝甲列車援護下に到着し同附近兵匪約四千に

對し支給せられた、兵匪は鄭家屯に進擊の命を待ちつゝあると確なる筋よりの報告によれば廿六日北寧線東行列車は大凌河岸にて若干停車し皇姑屯着の時刻著るしく遲延せるが右は錦州より溝帮子方面に若干の部隊を增加せるによるものである、尙增加部隊は野砲隊なる由【奉天電話】

盤山の酷寒 逆襲を警戒

二十八日來盤山方面の寒氣は零下二十度を突破してゐるがわが軍の士氣は益々旺盛である【奉天電話】

日本軍北進のため田庄臺方面に於ては匪賊襲來說盛んに流布され人心恟々たる有樣であるが二十八日午前十時營口縣第七區張家堡部落に約四百名の匪賊現はれ田庄臺襲擊を畫策しつゝあり田庄臺公安隊は嚴重警戒してゐるが、右は察寶山の部下らしい、又營口縣鯉魚沿一帶にも約百名の匪賊現はれ同部落に滯在し居るが今の處移動の模樣はない【營口電話】

賓縣政府に積極的行動

吉林省主席熙洽氏は大吉林主義の下に目下政治、經濟、交通の各機關の積極的計畫を進めつゝあるが過日最後通牒を發した在ハルビン張作相系賓縣政府に對し近く之が解消の積極的行動に出づる筈でこれと同時に過日來懸案たりし張景惠氏のチチハル入り實現し茲に吉林、黑龍江兩省政府の基礎更に堅實を加へるものと觀なされてゐる因に問題の馬占山は黑河に引籠ることに決定した【奉天電話】

敵騎馬隊と衝突擊退 南双房子にて

廿八日未明田庄臺を出發せる多門師團の全部隊は○○自動車、若松○○聯隊を先頭に坪井、濱田兩聯隊が決河の如き勢ひで北上したが午前九時四十分ごろ南双房子に若松○○聯隊が差しかゝるや突如百餘名より成る敵騎馬隊現はれ射擊して來たので我軍は直にこれに應戰し○○自動車隊と協力して敵兵一名を斃して擊退し敵は大窪停車場方面に敗走した、次いで午前十時半頃敵の裝甲列車は北寧線を南下し來り大窪停車場の北二百米突邊より盛に我先頭部隊並びに飛行機に向つて砲擊したが我軍も空陸より猛烈な攻擊を加へたゝめ敵裝甲列車は徐ろに退却した、正午頃大窪の東一里の地點で敵の騎兵隊約百名退却しつゝあり我騎兵隊はこれを猛烈に追擊中である【營口電話】

增遣部隊着營

內地より增遣された步兵○○聯隊○大隊○○○名及び鐵道○聯隊○○○名は二十九日朝五時營口着、步兵部隊は練軍營に入り營口警備につく又鐵道部隊は同九時河北に渡り直に北行する筈【營口電話】

奉天省長臧氏より匪賊の討伐を請願
省民の安寧幸福享受のため 剿擊を圖られたしと

二十九日奉天省長臧式毅氏は本庄軍司令官宛左の如く土匪討伐に關する請願文を呈出した

近來本省內に盜匪橫行し、各地省民水火の苦を受けおる者多く、特に**遼西一帶を以てその災最も甚しき**もの有之候、**當政府は速にこれが積極的掃滅を期すると雖も保安の整理尙未だその緒に就かず、實力の不足に苦しみ居る次第**に御座候、地方治安に關しては貴軍部のつとに關念せらるゝ事は甚切なるものあるを深く諒察し奉り候、貴軍部より**茲に救民の趣旨に基づき充分なる御援助を給りたく且つ機を見てこれが剿擊を圖られ速に省民をして安寧幸福を享受せしめられんことを切望**するところに御座候、尙外に當政府は本趣旨を以て各地省民に曉諭し各々その生業に安んぜしむることゝ致すべく特に茲に御申請申す【奉天電話】

我回答に米官邊不滿
敵對行動を繼續すとて

【ワシントン二十七日發】錦州攻略に關するアメリカ政府の覺書に對する**日本政府の回答電報は本日アメリカ國務省に到着し**目下暗號電報の飜譯中で本日午後遲くスチムソン氏の手許に送附さるゝ筈である、官邊は回答につき語るを避けてゐるが、右**回答內容は全くアメリカ政府の滿足し得ざるもの**である、卽ち日本は右回答において國際的誓約の受諾を拒否し米、佛、英三國の警告的態度を無視し今後も對支敵對行動を繼續することを示せるものと臆測される

米政府再抗議か
わが軍の對錦州策を 依然重大視す米當局

【ワシントン二十八日發】二十七日附日本軍の遼西進擊に關する日本政府の回答書は卽日駐日米大使フォーブス氏より國務長官スチムソン氏の手許に傳達されたが右回答書は明かに滿洲征服の日本政府の意圖を裏書するものであり滿洲に殘された學良の最後の堡壘も粉碎せずんばやまざる決意を表明したものと一般に解されてゐる 而して苟くも日本軍が右通告に明かなる如く今後更に錦州攻擊を續くるに於ては直に外交的反響を喚起し米國政府は再び抗議を提出するものと解さる

らう、この敵對行爲が開始された合米國がこれに對し正式に抗議するか否かは未だはつきりしてゐない

本日提出の通牒の如きは日本軍の行動を詳述し殊に本庄軍司令官の宣言を引用し以上の事實は明かに日本の軍事行動の增大を意味し且つ滿洲における占據地域擴大の野望を表明するものであると極言してゐる

米消息通の談

【ワシントン二十八日發】錦州攻略に關する米政府の覺書に對し日本政府が米政府の滿足し得ざる回答を寄せ一方滿洲に於ても西進の勢ひを見せてゐるとの報道は米國上下の議論を沸騰させ米政府が續いて如何なる態度を取るかは各方面から注目されてゐるが、みぎにつき消息通は左の如く語る 米政府は引續き滿洲における敵對行爲の防止に努力するであらう、併し日本は茲二週間中に平和的手段に依るか又は軍事的壓力に依つて錦州を占領するであ

支那代表部 露骨な宣傳

【ジュネーヴ二十八日發】錦州方面の形勢惡化に鑑み國際聯盟事務局に對する支那代表部の露骨なる宣傳は又復繰返されるに至つたが

外交團錦州へ

【天津二十八日發】外國武官及外交官は昨日再び錦州へ向つた

友交恢復が急務
記念週で居正の演說

【南京二十八日發】今日中央黨部記念週に於て居正は左の演說をなし各方面に多大の衝動を與へた 滿洲事變の發生は不幸この上ないことだが日支兩國は亞細亞の二大獨立國として何時までも相反噬する譯に行かぬ、兩國政府は禍を轉じて福となす度量と孫文の大亞細亞主義に依り速かに現在の局面を打開し友交關係を恢復せねばならぬ なほ居正のこの演說は新政府有力分子の方針を代表するものとして異常の注意を喚起した

依田混成旅團出動
昨夜京城發の列車にて

【京城二十八日發】朝鮮軍司令部二十八日午後四時半發表＝依田混成旅團は廿九日午後八時十四分京城驛發第一列車に引續き第六列車により北行する事となつた

國難會議開催

【上海二十六日發】昨日の全體會議は國難會議を十五日以內に開會し對日問題、水害救濟、共匪對策を協議決定する事となつたなほ別に國民救國會議を近く開く事となつたがその組織期日は別に決定せざる事となつた

死を決して日本に當る

【上海二十九日發】學良は全體會議に對し左の電報を寄せ對日積極方針を表明した 日軍は連日錦州目がけて猛攻擊を加へ通遼附近では鐵道の大爆發をなせり、余は死を誓つて錦州固守の覺悟なり、中央の積極的援助を求むるや切なり

失地を奪回せよ
馮玉祥宣言を發す

【北平二十七日發】馮玉祥は本日午前大要左の宣言を發表して南京に向つた

一、各民衆團體代表より國民救國會議を招致し國難時期中一切の外交、內政部內を監督すべし

二、國防委員會を設置し軍事指揮を統一して最前線に精兵を配置し武力を以て失地を回復すべし

三、革命犧牲者及今次の抗日犧牲者を厚く撫恤すべし

以上は國難救濟の最緊要事にして全體會議の決定を待つて實現を期す

南京政府の豫備金皆無

【東京二十八日發】上海二十八日發、海軍省着電、南京政府の財政は蔣介石、宋子文の辭職で空櫃となつた豫備金二千四百萬元は政費として三百五十萬元は軍費として殘額全部を搬び出した爲めで當地銀行界は年末決濟を一月末日迄延期する事となつた、これは一種の局地的モラトリアムで金融界の不安增大を裏書させるものといふべし

南京新政府の財政難

南京來電によれば去る二十三日一中全會において某委員が國民政府の財政難（一個月平均經費の不足額一千八百萬元）を緩和せんがため內債の元利支拂（月七百萬元）を停止せんことを提議せるため南京、上海の財界は大恐慌を來し內債は約二十元の暴落を見たのみならず斯ては兌換制度を根本より破壞するものなりとて猛烈なる反對運動を開始した、以て南京新政府財政難の一般を窺ふに足る【奉天電話】

荒木陸相參內

【東京二十八日發】荒木陸相は二

十八日夜西下するので本日午後一時參內陛下に拜謁滿洲北支方面の狀況並に朝鮮より一部隊增派になつた理由其他を上奏御下問に奉答退下した

國民政府の內訌
蔣は三、四ケ月後復活

【上海特電二十八日發】上海市黨部側の一中全會に對する觀測に依れば會議は胡漢民、汪精衞、蔣介石の三派に分野されてゐるが、汪派と蔣派は非常に接近し兩派合して胡漢民派と對立し之を壓倒してゐる形勢である、この間に第三黨として西山派の鄒魯一派が攪亂策を講じてゐるので會議は紛糾を免れない模樣である、國民政府主席には過渡的に汪精衞が押され蔣介石も何等かの地位を得て勢力を保持し三四ケ月後には蔣が再び主席に復するであらうと觀られてゐる なほ去る二十五日の會議において吳稚暉が滿洲問題に論及して東北を失つたのは張學良のみの責任でなく寧ろ他に責任者があると述べ暗に廣東派が日本と接近したと諷刺非難したので廣東派の孫科、李文範等は大いに憤慨し目下上海において汪精衞と對策を講じてゐる

實業廳長更迭

新任實業廳長梁玉書氏は就任後僅かに二週間足らずであるが都合により市政公所秘書長馮涵清氏と交代することに內定不日發表の筈【奉天電話】

轉落を急ぐ副將軍學良
迫る崩滅の悲運

【北平二十九日發】第一次中央全體會議において中央委員並に國府委員の選に洩れた張學良は今や單なる綏靖公署主任としてのみで一時皇帝を夢みた蔣介石の唯一の協力者として宛然副將軍の如く威を振つてゐた彼も今や全く對內外共に轉落の道を急ぎつゝあり、殊に馮玉祥は濟南において韓復榘、石友三その他舊反張派の要人連と何事か協議しつゝあり閻錫山と共に再び國府委員に歸らんとしてゐるものゝ如く早くも閻、馮の平津乘出しを豫想して種々の政治的活動が開始され學良に對して避くべからざる崩滅の悲運は刻々切迫しつゝあるものゝ如くだ

周龍光の報告

【天津二十八日發】天津市長周龍光は昨日南京政府に對し左の報告をなした 日本が今回大軍を天津に增派したのは錦州攻擊と相呼應して天津を占領せんとする意圖に外ならず、この點につき國民の注意を喚起すると共に世界の輿論に訴ふる必要あり、併せて聯盟理事會の注意を促がされたい

米有力紙の對日論調
最近變化の兆

【ニューヨーク二十七日發】二十六日のニューヨーク、トリビューン紙は社說において 南大將が滿洲の政治機關統制者として渡滿し日本は滿洲に日本の信用せざる支那新政權の樹立を許さない云々の聲明を爲したことは日本が滿洲において排他的權利を主張することを意味するものであつて今回英米佛三國が日本に警告を發したのは尤もな次第である と論じてゐる、最近アメリカの有力新聞の對日論調が變化を來す兆が見えるのは注目されてゐる、なほ最近の滿洲よりの新聞通信は日本はあらゆる政治、經濟機關を管理し獨占權を得んと試みつゝありとの報道が多く之が爲にアメリカにおいては日本の意圖に疑惑の眼を向ける傾きがある

蔣駐日公使 辭表提出

【上海廿九日發】駐日公使蔣作賓氏は昨夜國府に對し辭表を提出した、理由は赴任の途中で滿洲事變が發生したが、事件の重大性に鑑み適任ならずと思ふと云ふに在る

龍山旅團兵 廿八日出發北行

【京城特電二十八日發】龍山第○○師團第○○旅團○○○名は二十八日午後四時二十分龍山發で盛大な見送りを受け征途に上つた

年末年始發行の本紙

年末年始の本紙は左の如く發行します

	朝刊	夕刊
三十日	有	無
三十一日	有	無
一日	有	無
二日	無	有（二日附）
三日	有	無
四日	無	有（四日附）
五日	有	無
六日	無	有（六日附）

七日より平常に復す

社說

樂土建設と失地回復
日支兩國土着民諸外國立場

失地回復の語は、今や支那側一般の輿論とならんとしつゝある。蔣介石、胡漢民、馮玉祥、張學良、閻錫山、孫科、張發奎、張繼の諸氏、廣東派、南京派の國民黨、軍閥、國家主義者乃至學生團の何れを問はず、苟も政權に發言權を持たんと欲する程のものは、敵も味方も一致して失地回復を題目として居る。中には失地の責任を追窮して、敵派を排撃せんとするもの、此の主張を以て新に輿望を博せんとする者等、裏面に魂膽を有するものも多いが、兎も角も失地回復の聲は今や支那全國を風靡しつゝある。これ注意す可きである。

◇

之れに對する日本の輿論は、滿蒙樂土の新建設である。滿蒙の舊政權が破壞せられたのは、舊政權自身の秕政と、日本の權益に對する不當の直接行動とに原因するのである、破壞を餘儀なくせしめられたのは我日本である。其の後を善くし、秩序を維持するのは、日本の責任である。從つて日本は自ら其の責任を引受けて、現に樂土建設に向つて進みつゝある。之れが日本の決心で、今や朝野全民の輿論となつてゐる。日支兩國に於ける此二種の主張は固より互に兩立しない。而して目下世界の問題になつて居る匪徒討伐に對する我國の態度に對する批評の如きも、凡て此の對立する二種の主張を廻つて行はるゝものである。

◇

更に肝腎の地元に於ける土着民は如何に考ふるかと見るに、夙に各地に起つた新政權は、何れも舊政權の暴虐を排斥するものであつて、失地回復の實現は即ち舊政權の回復を意味するものである事を知つて居る。而して積極的には、彼等はすべて、王道主義の政治を主張し、同時に自治を高唱して居る。而して漸次樂土建設の方針に進んで來る。之に反して諸外國の態度は寧ろ失地回復の方が好評のやうに見ゆる。日本の行動に對して彼等が不滿の意を表する事によりても察せられる。但し此れには滿洲の過去現在に對する認識十分ならずして、滿洲を普通國家の普通領土の如くに思惟すると同時に、日本の眞意に疑ひを挾むからである。而して更に各國の利害より打算する私心が多分に含まれて居る。

◇

凡そ主張には、公理と私心とが、互に錯綜して織り込まれるが常である。公理に關するものは理論によりて爭ふ可く、私心に關するものは終に腕力で爭ふに至る。而して公理を明白にし之れを徹底せしめる事によりて腕力の爭ひが少なくなり、理を以て慾を制する事が出來る。此の失地回復と樂土建設との二論を解決す可き理論的根據は、一は滿洲に於ける領土權の性質に係る。此點に關しては吾人既に屢々論述して置いた。舊政權は私權力の行使であつて、公權力の行使ではなかつた。滿洲住民の意思と利益とに基礎を置いたものではなかつた。それが南京政權に吸收せられた。南京政權は國民黨に基礎を置くもので、國民黨の勢力の及ばざる地方には、其の政權も及ばない。滿洲には從來黨の實際勢力は少しも及んでゐなかつた。故に舊政權が驅逐せらるゝと同時に、南京政府の滿洲政權も無くなつたのは當然である。元來滿洲に政權を持たなかつた國民黨が、今更失地回復を唱へる資格はない。滿洲住民が獨立せんとする場合には、民族主義の本則から見て寧ろこれを歡迎すべきである。若し無理に統一せんとするならばそれは覇尊制の見地から來るもので、私利私慾に屬する問題である。公理の問題ではない。若し漢民族の統制を其理論の根據とするならば、自ら其統制能力を發揮してから、滿蒙住民の獨立思想と爭ふ可きである。

◇

諸外國は只平和を欲し、公理を支持す可きである。故に失地回復論の根據薄弱なるを知れば決して之を支援すべきでない。諸外國は又滿洲に於て、日本が領土權を建設し、其處に獨占的權力を張つて、機會均等、門戶開放を破壞する意圖を有するのでないかとの疑を有して居る。之れは歷次の米國政府の聲明や、國際聯盟に於ける議論に徵しても明かである。今度の遼西方面の匪賊討伐に關する三國の通牒も、此疑念から來て居る。然るに日本の主張する樂土建設は、固より領土權に關係あるものでなく、機會均等、門戶開放の主義に少しも抵觸するものではない。三國の懸念は全く無用である。然るにも拘らず彼等の尚不滿らしく見えるのは、此の日本の意思が十分に徹底しないからである。況んや土着の住民が、自ら自由の新天地を開かんと熱心して居るに於ておや。新政權が門戶開放機會均等の主義を尊重しさへすれば、三國は何等干涉の理由を有たないのである。

◇

要するに今後滿洲問題は、今後各方面に於て、失地回復と樂土建設との二論の爭となるであらう。何れが勝つかは、滿蒙の特殊地域たる意義と、樂土建設の意味が、各方面に徹底するや否やによつて決する。

滿鐵今後の經營方針
傍系會社は整理の上獨立させ
內地實業家の投資を歡迎する

【東京二十八日發】內田總裁は二十八日午後秦拓相、荒木陸相と會見後、滿鐵今後の經營方針に就き語る

滿蒙開發は一に滿鐵、二に滿鐵で從來の缺損續きの傍系會社を背負つてゐることが滿鐵の大きな缺陷である、**今後傍系會社を整理して獨立せしめ** 滿鐵は鐵道會社としてのみ眞に充實したものにしたいと思つてゐる、これには**內地實業家の投資、內地からの移民增加によつて** 現在滿鐵が副業的に行つてゐる諸事業の競爭會社が出來れば駄目だ、滿鐵の增資問題については未だ何にも考へてゐない、今後施設に必要な資金は大體社債で充當する考へである

報告と意見交換
進退問題など出ない
總裁と會見後 秦拓相語る

【東京特電二十八日發】內田滿鐵總裁は二十八日午後二時五十分秦拓相を官邸に訪問、約半時間に亘り會談したが、主として事變後の滿鐵の諸事業及び來年度の豫算問題、昭和製鋼所問題につき說明、報告の後意見を交換し退出後更に荒木陸相を官邸に訪ひ約半時間に亘り會談した、尙秦拓相は內田總裁と會見後山本条太郎氏と會見約二十分に亘り滿洲問題につき意見の交換を行つた、拓相は語る

內田君と會つた話の要點は滿洲における現狀の報告を受けたこと、また豫算問題について概略を聞いたこと、それに昭和製鋼所の設置を希望してゐたのでその理由を聞いたまでゝある、內田總裁は政府の方針通り滿鐵の事業を進めて行くといふし別に進退問題につきどうかういふ話は出なかつた、自分は今夜（二十八日）發つて伊勢の大廟を參拜する豫定である

辭職する意思無し

【東京二十八日發】內田滿鐵總裁は二十八日午前入京したが其進退問題に就き左の如く語つた

自分の進退は新內閣成立以來大分問題になつてゐるやうだが自分はまだ何も考へてゐない全く辭める意思はない又辭める必要もないと思ふ尙江口副總裁が辭意を洩らしたとの說があるが左樣な事は絕對にない江口副總裁は三菱系だとか何とかいふがそれは昔の事で現在左樣な事は斷じてない、それに自分と江口君は初めから一心同體なんだから自分が辭めれば江口君も辭めやうし江口君が辭めれば自分も當然辭めなくては仕事が出來ない關係にある、要するに今のところ辭職の意思なき事は言明出來る

新滿蒙建設 意見交換
總裁、陸相會見

【東京二十八日發】內田滿鐵總裁は午後四時陸相官邸に荒木陸相を訪問、時局問題就中新滿蒙建設方針につき兩者意見を交へ愼重協議した、なほ軍部としては滿鐵總裁の如き特に今回の事變に重大關係を有する首腦者更迭に根本的不贊成であり殊に此際內田伯は最適任者としてゐるので同席上荒木陸相より其旨を述べたものと見られてゐる

米艦隊の大演習
華府消息通談

【ワシントン廿七日發】明年三月から四月にかけアメリカの全艦隊が太平洋において海軍大演習を行ふといふ事が時節柄日本の神經を尖らせてゐるとの報に對しワシントンの消息通は左の如く語る

太平洋で海軍大演習を遣るといつて何等政治的意味を持つものでない、最近大分パナマ附近で遣つたから今度は太平洋だ

お正月中も每日執務
關東廳警務局

關東廳では二十八日を以て御用納めとなり午前十一時半三浦長官代理は職員一同を會議室に集め左記概要の訓示を行つた、尙これで一月四日の御用始めまで休暇となつたが警務局だけは時局柄每日登廳執務すると

本年は滿洲事變突發以來各方面に非常なる影響を及ぼした、當廳も所在地だけに時局に關し種々多忙を極め就中警務、遞信等は早くからその第一線に立つて活躍しつゝあり、奉天出張所の開設と同時に今後は更に仕事がふえて豫ての諸君の蘊蓄を傾けらるゝ時期も迫つて到來する筈であれば一層職務に奮勵努力し健康に留意されたい、尙新年を迎ふるに當つては年賀の儀は結構なことであるが、友僚の軍隊將卒現地警察官は今や職場において悲壯なる任務に就いてゐる時であるから正月酒に醉ひしれたりして恥づべき振舞ひなきやう各自相戒しめらるゝやう長官不在中でもあれば留守を預る老婆心ながら注意を喚起して置きたい

奉天省における各縣の分野
新政權統制下二十縣

奉天新政權成立後省內各縣政府は自治執行委員會若くは縣公署と改稱したが于芷山、張海鵬兩氏の勢力範圍各縣は未だ改稱せず依然縣政府として知事を縣長と稱してゐる、なほ新政權の勢力の及ばざる地方即ち錦州政府の所管は十三縣であつて今これ等の分野を示せば次の如くである【奉天電話】

▲自治執行委員會（九縣）瀋陽、鐵嶺、開原、安東、鳳凰、本溪、昌圖、懷德、梨樹

▲縣公署（十一縣）營口、遼陽、遼中、海城、蓋平、新民、復縣、撫順、岫巖、莊河、遼源

▲縣長（二十五縣）東豐、西安、西豐、寬甸、新賓、通化、桓仁、臨江、輯安、長白、安圖、撫江、海龍、輝南、柳河、清原、金川、洮南、開通、安廣、雙山、突泉、瞻榆、鎭東、洮安

▲錦州政府勢力圈（十三縣）黑山、北鎭、錦西、盤山、義縣、興城、綏中、臺安、法庫、康平、彰武、通遼

南大將に陳情

野口奉天居留民會長、石田地方委員議長ほか菅原、三谷、荻原の五[illegible]氏は廿九日午前十時ヤマトホテルに來奉中の南大將を訪問し時局に關し市民を代表し種々陳情するところあり、大將よりも意見を聽取し同十二時頃解散した【奉天電話】

奉天新政府愈よ司法機關を改善
委員會を設けて調査

奉天省政府主席は現行の法制が新國家として改良を要すべき點多きに鑑み今回趙欣伯最高法院長を委員長とする法制委員會を組織し該機關において專門的に研究改革せしむることゝなつた、本機關設置の上は不日開設の司法員と共に奉天省の司法機關の改善に一新轉機をもたらすものと見做されてゐる【奉天電話】

蔣、張の狡猾な責任轉嫁策
裏面では依然實權を掌握
北平にて　坂本楨

そこで、これが實現した曉に學良の立場はどうなるか。筆者はこれだけがいひたいのだ。從來の如く東北殘黨のみを集めて居れば對內外の責任は全部を彼一身が引受ければならぬ。がヨリ有力なる（勿論表面のみ）政治分會を作り、その委員長として殘ることゝなれば、委員長としての責任はあるが然しその責任の性質は餘程違つてゐる。合議制なるが故に責任は先づその機關全體に向けらるべきだ。山東の韓復榘あり、安徽の干操居あり、山西の徐永昌[illegible]作義あり、韓震あり、馮派の宋哲元、龐炳勛あり、學界に胡適、王伯群あり、實業家に周作民、吳達銓あり、政治家に李石曾、張繼あり、これ等の凡てに責任を轉嫁しやうといふのだ。

◇

責任といふことからは此機關の陰に隱れながら、而も彼の實力は毫も損傷しない。彼は依然として北支第一の實權者であり、委員長であり、且該機關の大半委員を自派で占めてゐる。彼は此機關發表の日に某邦人に對して、結局責任分擔の意味だと語つてゐる。今までは一軍の先頭に大刀を振り廻してゐたのだが、今後は軍の背後に引退つて而も一軍を指揮してゐるといつた圖、彼としては實に見事な轉換振りである。蔣介石がその責任を廣東派に轉嫁しながら而もその實權を依然放棄しないのと全く同一の筆法だ。主眼は勿論日本に向けられてゐるのだが、彼の下野すべき狀勢はこれで餘程緩和したと見ることが出來る。

◇

最後に張作相の東北邊防長官受任である。多分作相は兩三日中に正式に該長官を讓渡されることにならうが、これは學良が、自身のみに向けられた日本の眼を作相に轉嫁させやうといふ魂膽であり、且つあわよくば之によつて日本との直接交涉を開始せんとする目論見である。勿論その際學良は身を引いてゐるのだが、作相と如何なる關係を保持してゐるかは世人の想像に委す外はない。尤も他の見方によれば、學良は愈々東北への未練を絕ち、北支那にその勢力を保持するため作相を東北に出し對日感情を緩和し、日本の北支那への銳鋒を避ける消極的自衞策ともいへる。要するに彼は對日的には殼の中に引込んだ蝶となつたのだ（一二、一九）

七年度植民地豫算
關東廳は一千八百餘萬圓

【東京二十八日發】七年度植民地豫算は左の如し（單位圓）

朝鮮
歲入經常部 一六六、五五四、九四三
臨時部 二九、九九一、五五四
歲出經常部 一六三、三三三、一六一
臨時部 三三、〇一三、三六六

臺灣
歲入經常部 八七、六六七、一六八
臨時部 八、四二七、三三六
歲出經常部 七七、三二八、九六一
臨時部 一八、八八八、四三三

關東廳
歲入經常部 一三、五五二、四六六
臨時部 六、四九九、六四七
（公債金六〇〇、〇〇〇補助金四、〇〇〇、〇〇〇前年度剩餘金繰入一、三二二、一九一其他五一七、一五六）
歲出經常部 一五、七四四、八〇七
臨時部 三、〇六六、九八八

樺太
歲入經常部 一八、七三三、一三五
臨時部 一一、一四〇、一八四
歲出經常部 一八、七〇三、一四〇
臨時部 一六、三〇七、九八二

南洋
歲入經常部 四、五九二、九七四
臨時部 二六六、二四三
歲出經常部 二、六六四、九四五
臨時部 二、三二四、三七一

歲入不足は公債金で

【東京二十八日發】政府は二十七日午後の閣議で七年度豫算大綱を決定したが歲入中普通歲入三千五百十五萬五千九百三十二圓に對し公債金一億二千三百五十二萬九千八百十八圓でバランスを合せてある

正貨現送は絕對に不可
久原幹事長、藏相を訪問し强硬なる意見を開陳

【東京二十八日發】政友會臨時幹部會に於て決定したる前內閣以來の正金弗買の跡始末問題につき久原幹事長は二十七日午後四時大藏大臣官邸に高橋藏相を訪問、黨の方針に基き絕對に正貨の現送をなすべからざる旨の强硬なる意見の開陳あり、歸途犬養總理を首相官邸に訪問同樣の趣旨を進言しなほ午後五時三十分大口、金光、木暮三委員は本部に於て久原幹事長の右の報告を聽取して種々協議するところあつた

圓爲替慘落
卅七弗五十仙

【ニューヨーク二十八日發】休日明けのニューヨーク圓爲替は俄然二弗五十仙崩落午後五時十五分最終相場は三十七弗五十仙と云ふ安値を現出した之は關東大震災後即ち一九二四年の安値三十七弗九十四仙を下廻る未曾有の安値である

民政黨の議會對策
黨首腦の協議

【東京二十八日發】民政黨の若槻總裁を初め小泉、井上、江木、町田、原、櫻內、田中、俵氏の前黨出身閣僚並に川崎前書記官長は廿七日午後四時から忘年會に名を藉りて駒込大和村の燕樂軒に會合先づ俵氏から若槻內閣功績書編纂の件につき意見を聽取の上對議會並に明年一月二十日民政黨大會で行はれる若槻總裁の演說內容等に關し協議に入つたがこれについては黨內の非難を慮り途中から總母木、小山兩院內筆頭總務、永井幹事長も招致した、而して席上一、對議會策については結局解散を免れぬ形勢に在るがこれに對し野黨側が進んで不信任案の形式を取つて戰ふや否やについては今後の狀勢の變化を見極めた上決することゝ 二、大會における總裁の演說は若し休會明け議會劈頭解散となるにおいては來議院では質問の機會を失ふので豫じめ右總裁の演說中に野黨の主義主張並に態度を明かにし、併せて選擧の題目とすべき金再禁止の暴擧等を初め今後の新政策を揭げて置かねばならぬと各自から意見開陳したが、更に前閣僚から材料を持寄り協議に決し七時半散會した

復黨問題論議せず
民政黨幹部會

【東京二十八日發】民政黨は二十八日午後二時半本年納めの幹部會を開き黨大會は一月二十日上野精養軒で開き宣言決議を發表し、且つ若槻總裁の演說により第六十議會に臨む黨の態度を明かにし、併せて本部役員の決定をなす事に決した後、安達氏復黨問題に關し總母木氏その他の諸氏より論議あつた本問題は黨の規律節制に關する重大問題であり既に總裁において脫黨を承認したばかりの時であるから此際未だ考慮すべき時期に非ずとの意思表示をなしては如何との發議あり之に基き協議の結果、左の決議をなし九州各縣代議士ならびに地方支部へ通知する事として同四時散會した

決議
幹部會は本問題を論議すべきものに非ずと認む

民政脫黨組クラブ組織
對策を協議

【東京二十九日發】安達前內相の復黨は解散前には困難視さるゝに至つたが此の情勢を察知した脫黨派の中野、杉浦、風見、田中、三浦、由谷、龜牛、岡野の八氏は二十八日虎の門東方會事務所に會合し今後の對策につき意見交換の結果復黨困難の場合は新春十五日頃クラブ組織として聲明書を發表し選擧に臨む旗印を樹て、進む事に一致し二十九日安達富田兩氏に會見し其の意見を徵する筈である

復黨問題協議

【東京二十九日發】安達前內相の復黨問題に關し民政黨の熊本、鹿兒島、宮崎、佐賀、沖繩の五縣選出代議士は廿八日午後六時から赤坂[illegible]に會合協議を遂げ[illegible]總選擧前に安達氏を迎へ選擧長に据えたい然し黨內に對立狀勢をつくる事ないから表面的の運動は見合せて機を待つて更に復黨を事と左の如き意味愼重の申合せをなした

本問題は考慮する

本年度の貿易額
入超七千九百餘萬圓

【東京二十八日發】大藏省發表十二月二十五日迄の昭和六年度對外貿易額は左の通りである（單位千圓）

輸出	一、一二四、四五六
輸入	一、二〇三、七五一
入超	七九、二九五

因に今月下旬分の貿易發表なし

消費組合撤廢問題
第三者

◇消費組合撤廢が邦商によつて叫ばれて以來既に數年、この間甲論乙駁、隨分喧しい問題であると同時にまた隨分舊い問題でもある、しかも邦商側、組合側雙方のいふところに相當の理由あり、結局當事者間の論爭は水掛論に終始してゐる。

◇先づ組合側としてはその國民としての權利を主張することは敢て不法ではないが、母國を離れてお互に惡戰苦鬪してゐる以上その間一脈相通ずる溫情と雅量とがあつて然るべく、自己の生活を脅威され破壞されない限り組合撤廢に贊成の雅量を示して貰ひたいと思ふ。

◇然し凡ての物は決して成るの日に成るものでない、日露戰爭以來、邦商の商業道德を顧みぬ暴利に堪へかねて、俸給生活者として、自衞策として組合を組織し、これに籠城して僅に暴利の兇刃を避くることを餘儀なくせしめたのは果して誰人の罪であるか。

◇若し匈奴の脅威がなかつたら、何を苦んで萬里の長城の如き厄介な代物を築く必要があつたらうか、匈奴が頻に攻め込んで美人や財寶を强奪せんがために都合が惡いといふ理由の下に、その最大の障害物たる長城の取り除き方を何程絕叫しても、益々防備を嚴にこそすれ、これを取り除くが如き馬鹿は、宋の襄公でもしなかつたであらう。

◇邦商諸君を匈奴に比しては甚だ禮を缺くが、大正八年頃萬里の長城を築かしめたる匈奴的暴利を貪る商人が現在一人もないであらうか、吾等は寧ろ商業道德の退步の傾向をすら認めるのである。

◇これを要するに組合の存廢は邦商の商業道德に正比例するものであることになる。

奉天出張所設置目的
三浦內務局長談

三浦內務局長は今回奉天に置かれた關東廳奉天出張所に關し二十八日次の如く語つた

時局に關する軍部や總領事館其他との事務連絡上本廳は奉天警察署樓上に出張所を置き事務の圓滑敏速をはかることゝした出張所には現在松山高等課長、源田財務課長、清水警務課長が出張して夫々關係事務に當つてゐるが本來は自分が出張して來ることになつてゐるので今後も軍部にも統治部が設けらるゝ限り出張するつもりであるが着々と滿蒙新天地の建設に努力しつゝある活動中であるから出張所としても之と連絡協力して事業の達成を期する筈である

兩自動車班
廿八日某方面へ

二十七日募集された在旅順自動車運轉手一同は豫定の如く[illegible]達着、鐵西旅館に一泊の上二十八日午前十時〇〇、〇〇〇の兩班に別れ某方面へ出發した

大藏男引揚ぐ
卅一日發東京へ

大藏公望男は今夏滿鐵理事辭任以來悠々尾ケ浦に自適してゐたがよく十餘年の滿洲生活を打上げ卅一日出帆の香港丸で離連東京に轉住することゝなつた、なほ東京の住居は世々木富ケ谷一五〇四番地である

警急呼集合圖に注意

旅順碇泊中の軍艦にて警急呼集の場合は空砲を發射する場合もあるので二十八日出雲艦長より各關係方面へ通報する處があつた

大觀小觀

てら、ソロソロ民政黨の內輪揉めが始まつた、大地震の後の揺り返し、揺り返しが激しければ無論黨自身の崩壞に至る▲でなければ選擧の神樣の復黨は即ち若槻總裁の追出しに一致する▲政權を離れた政黨は陸上の鮒類に等し、如何に圖體が大きくとも、いやその圖體が大きければ大きい程却つてその圖體を持て餘すものだ知るべし野黨の悲哀▲一方思ひがけない政權にありついて得意の政友會、雁首だけは並べたものゝ少數黨の實力に乏しく、僅かに「解散風」を吹かせて空元氣を鼓舞するのみ▲而も解散後の成否については毫も確信なく賴むはたゞ對手民政黨の內訌、自壞作用ばかりといふに至つては相變らず憐なし、與黨も亦悲哀去らず▲皇軍、いよいよ匪賊討伐の大進擊に移る、寒氣凜烈なれども將士の意氣大に昂る、心强し▲匪賊を追ふて北進するはいふまでもなく多門師團長麾下の精銳▲東北撰りすぐりの勇士揃ひとて寒氣には强し、又大興、昂々溪附近の戰鬪において既に銃火を浴びた經驗もあり▲馳驅けば劍が鳴る、向ふところ敵なきの槪あり勇まし

匪賊の跳梁愈よ激しく●
滿洲各地の脅威昂る
草河口、撫順等の襲擊をも企圖
到る處で掠奪を擅に

軍司令部發表＝各地匪賊跳梁狀況左の如し

一、捕虜の自白によれば二十六日鳳凰城、高麗門を襲擊せし敵兵匪は二十八日高麗門東方約十五支里地點附近に集合しその兵力四百名で、うち二百名は五龍背附近を通過し安東方面に移動した

二、草河口東方十五支里馬河口に集合の兵匪約二百名は廿七日夜草河口驛襲擊を企圖してゐたが、これを中止し近く決行すると豪語してゐると

三、撫順南方興京、本溪湖中間地區滿河城、双嶺附近には鐘子新の率ゐる數百の匪賊集團してゐて近く撫順を襲擊せんとする兆がある

四、懷德、無家城子方面に待避せし平東洋等の匪賊約二千名は漸次東南方小城子方面に移動しつゝある

五、長春北方萬寶山に最近數百の匪賊頻々として現はれ掠奪せり

六、沙河驛西方黑林臺の西方地區には最近三勝配下の匪賊數百名橫行し屢次掠奪を行つてゐる

七、二十八日午後鞍山東方九粁の櫻桃園に數十名またその東方四粁の附近部落に約二、三十の匪賊現はれ掠奪せるを以て鞍山警察官及び同地自警團はこれが討伐に向つた

八、去る二十六日午後十一時吳家荒西南方鮮人部落に十五名の匪賊來襲し自警團と交戰中との報により吳家荒よりわが警官三名出動した【奉天電話】

坑家屯に匪賊二百
石頭城附近にも數百名

關東軍司令部發表＝二十八日朝坑家屯（林家臺東方三里）に約二百名の匪賊現はれ安奉線を襲擊せんとせるため新に內地より到着せる步兵第○聯隊の一ヶ中隊はこれが討伐に向ひ兵匪十名を斃した、わが軍に損害なし、また獨立守備步兵第四大隊及び步兵第○聯隊第○大隊の主力は二十八日朝來鳳凰城東北方約三十粁の石頭城附近を掠奪中なる數百の匪賊討伐のため出動した【奉天電話】

萬歲！感激のあらし（廿八日夜勇士の大連驛出發）

萬歲のどよめきに 勇み立つて征途へ
殘りの村井旅團麾下の將士
廿八日夜大連驛を出發

二十六日早朝より二十七日未明にかけて勇躍上陸し、それぞれ大連に緊張の一夜を明した村井旅團は既報の如く過半の部隊は廿七日夜市民歡呼裡に奧地へ出發したが、その

殘部隊は 二十八日午後九時大連驛發の列車にて舟津步兵少佐の輸送指揮のもとに勇氣凛々颯爽として進發した、この日氣溫頓に下つたが四時ごろには早くも各團體、各組合や一般の見送り人陸續として詰めかけ忽ちにしてプラットホームを埋め盡くし、殊に婦人の多いのが目立つた、寒風肌を裂くにもめげず小學生や醞釀される熱情は期せずして高らかな軍歌となり萬歲々々の歡聲となり日の丸の旗は波うち、高張提灯や日の丸の小提灯は搖らぐ、四時半を過ぎるや、われらの勇士は

眉宇の間 に非常の決意を見せつゝ隊伍堂々と一糸亂れず乘車した、とうとう打出す太鼓、日の丸の旗の嵐、歡聲一時にどつとあがる、すさまじく緊張しきつた情景だ、そしてこの部隊は一夜を大連の民屋に明かし、而も二十七日、一戰友の不慮の死と共に深く市民の腦裡に刻みつけられた異常の事件が勃發したので特に親みが深いのだ、あちらにもこちらにもテープが擲られて感激した言葉が交される、時刻は迫つた、サイレン響き渡つて、汽車は最徐行のうちに動きかけた、送られる者も送る者も息づまるやうな

爆發する やうな感激の言葉と氣持が取交す間もなく、萬歲々々と大きなどよめきに移つて行つた、かくてこの殘部隊を殿りに村井旅團は大半○○驛へと第一線にたつて行つた

滿鐵本線の破壞を計畫
張學良の命で馬賊團

海城省公署委員孫文式氏より大石橋憲兵分隊への情報によると馬賊頭目同北武、蔡小棋、九省の三名は張學良よりの密命によりこの程より鳩首協議の上配下をして滿鐵本線破壞を計畫し鞍山より海城まででは同北武、海城より大石橋までは蔡小棋、大石橋以南は九省が擔任して兵一萬五千をもつて廿九日より五日以內に實行するといはれてゐる【大石橋電話】

在支我海軍將士に 御慰問使を御差遣
山內大佐聖旨を傳達

【東京特電二十八日發】天皇陛下には長江一帶及支那沿岸警備の任に當つてゐる第一、第二遣外艦隊將士及び旅順海軍無線電信所員御慰問且つ狀況視察の爲二十八日山內大佐を御差遣の御沙汰あらせられた、よつて同武官は卷煙草、酒肴料その他御下賜品を携帶、一月八日東京發、神戶から乘船約一ヶ月に亘り慰問聖旨を傳達二月十日歸京復命する筈

明年のお正月には盛んな祝賀を行ふ
奉天省政府が前途を祝福して
提灯行列をも行ふ

奉天省政府において東北新國家建設のためこれが準備に多忙を極めつゝあることは既報の通りであるが來る民國二十一年正月元旦は特にかゝる意味において省政府內大禮拜堂に內外の大官、紳士來賀の準備を進めつゝあり、また臧省長の發意にて盛大なる提灯行列を催し奉天各官民機關一同の參加を內達したと【奉天電話】

北滿地方の守備から 上田大隊引き揚ぐ
きのふ元氣で鞍山に

時局以來寒氣凜烈なる北滿、四洮、洮昂線守備の任にありし鞍山守備隊第六大隊上田大隊長以下將兵約六百名は廿九日午前四時十分着臨時列車で鞍山に引揚げて來た、驛頭には殘留部隊、在鄉軍人分會、青年團、時局委員會、婦人會その他官民多數の出迎へを受けたが一同元氣頗る旺盛である、上田大隊長は驛頭において出迎への市民に對し時局以來百日餘北滿、四洮、洮昂の警備に當つてゐたが一人の負傷者も出さず無事に歸隊せるは偏に市民各位の熱情こもる後援の賜と感謝に堪へず、今回歸隊せるは凱旋にあらず何時錦州方面に出動するやも計り知れず留守中は萬事よろしくと謝辭を述べた、小野寺地方事務所長は市民を代表して益々邦家のため盡されたいと挨拶を述べた【鞍山電話】

航空母艦能登呂●
けふ大連に入港
耐寒航空演習のため

わが海軍においては耐寒演習の目的で近く關東州上空において航空演習を舉行するが、これがため青島に待機中であつた航空母艦能登呂（一萬五千噸）は三十日旅順を經て大連に入港する事となり、その旨當地滿鐵埠頭側に繫留區その他諸般の打合せを通告して來た、同艦は午後一時頃入港直に十四區に繫留すべく當地埠頭側においても手配を整へてゐる、尙これが打合せの爲第二遣外艦隊參謀川畑少佐が廿八日入港大連丸にて來連した

遼陽城西に 便衣隊現はる
一帶の通信線を切斷

遼陽城西三十支里大沙嶺に約五十名の便衣隊侵入し來り附近一帶の電信、電話線を切斷せられ通信不能のためその後の情況不明【遼陽電話】

滿鐵社員家族に 隨時引揚の通知

滿鐵は兵匪の脅威特に甚だしき千山、首山、立山、大孤山、火連寨各地在勤社員の家族に對し隨時引揚げ避難して差支へなき旨二十八日それぞれ通達した

……務曹長は大腿部に負傷し……

われらの勇士へ 感謝のお印しに
成績品と小遣の中から獻金
大廣場校兒童自治會

大廣場尋常小學校兒童自治會にては時局に關して種々協議した結果軍隊慰問の成績品作成と獻金の醵出とを決議して、その第一回として金十八圓二十一錢也に兵隊さん宛の生徒代表の手紙四通を同封して本社に寄託して來た、右生徒代表より兵隊さん宛の手紙の中二通を左に紹介する。

◇

御國の爲めに又滿蒙平和のために活躍される兵隊さん。

愈々酷寒の冬が滿蒙の空をおそつて來ました。南方の大連でさへも近頃は大變な寒さです。まして北滿の地の寒さは私達の想像以上のことであらうとおもひます。

又それだけ皆樣の御苦勞は大變なる事と御察し致します。

只酷寒のみではありません。北滿の各地には私達の同胞の利權や、又尊き生命をさへ奪はうとする鬼の如き匪賊が到る所に暴屬を致して居ます。それに對して命を的に北滿の同胞を御守り下さる皆樣の御奮闘を思ふ時、私達は何と申してよいかわからない位に感謝して居ます。

毎日新聞や、號外を見、又先生の御話をうかがつたりして、この寒いのに、匪賊の多い中を、斥候に步哨に、或は賊の不意討ちに、身を切るやうな北滿の地にどうして居られるだらう。さう思ふ時私達は全身を捧げてもまだ足らない位に感謝する心で胸一杯です。

それでどうかして皆樣の御心を御慰めしたいと思つて、此度私等の少い小遣ひの中から少しづつ貯へたお金を皆樣に御送りすることに致しました。これは誠に少う御座いますが、私達の心をくみ取られて、御受取り下さい。

私等は皆樣の御苦勞を御慰めすると共に皆樣の後の心殘りのない樣に學生としての本分を盡してゐます。どうか皆樣も元氣で正義のために御活躍下さい。そして支那の暴慢を誡めて東洋平和をもたらして下さい、御願ひ申します

さやうなら

◇

兵隊樣へ

戰場の皆樣、さぞかし連日の戰ひにお疲れのことと思ひます。事變突發以來の皆樣の御心勞、何と御禮申してよいかわかりません。私共大連に住む多くの人々は、ただ感謝の念に滿ちあふれてゐます。

皆樣にはどんなにかお辛く、又恐ろしい事がありませうに、私達はあなた方のおかげで其の日々々を何の障りもなく、くらして居ります。之も皆、皆樣方の御奮闘、御努力の賜もので御座います。けれども私達は皆樣方の萬分の一も御奉仕が出來ないことを、どう考へても、すまなくてくなりません。それで私達の學校では、先生方の御考へで、廊下に獻金箱を置いて下さいました。そして其の中にはお父樣やお母樣からいただいたお小使や、働いてためたお金等を入れることにしました。中には、お小使を全部なげいれるものもありました。又賣店で何か買つて其のおつり錢を皆獻金する人もありました。そして、それがつもりつもつて、わづかではありますが、十圓ばかりになりました。元より大勢の皆樣方を、お慰め申す事はとても及びませんが、唯小さな少年、少女の心持と思召して、何かのたしにもなりましたならば、大へんうれしく思ひます。皆樣はさつさと、この私達の眞心を受けて下さるでせう。そしてあなた方の御力で一日も早く平和の日の近づき日支親善の喜びが得られますよう心からお祈りして居ります。私共は東洋の平和のため、又は世界平和の爲に働いて下さる皆樣方に心から感謝致して居ります。では寒さはますますつのりますが、此上とも御體を御大切にして、御國の爲に、お盡し下さるやうお願ひ致します。

さやうなら

一家七人の 親子心中

【名古屋二十八日發】名古屋市東區上飯田町雜貨文房具商高橋正作（三一）は妻と出產兒の病氣を悲觀し妻ブン（三九）長女スズコ（七ツ）二女シゲ（六ツ）三女ミドリ（四ツ）四女ミチ（二ツ）及び幼兒一家七人猫いらず心中を圖り二十八日朝附近の者に發見され應急手當中であるが何れも重態である

日華紡職工 遂に罷業
會社側閉鎖決心

【上海二十八日發】日華紡は二十五日から賃銀値下げを實行しこれに反對した不良分子十五名を解雇したところ、二十八日に至り浦口第一工場機械部職工五百名はストライキを決行した、會社側は工場閉鎖の肚をきめて居る

カ社作業停止
注文皆無のため

【ベルリン二十七日發】世界有數の機關車工場たるカッセル會社は注文皆無のため十二月三十一日より作業を停止する事となつた、修繕工場だけは閉鎖しないが失業者多數を出した

關東廳の拜賀式

關東廳の新年拜賀式は一日午前十時から會議室において長官代理三浦內務局長以下在旅各官衙學校職員一同參列の上執行の筈で、式後は千歲俱樂部において過般時局慰勞として拓相より贈呈されたる清酒を酌んで祝宴を開き天皇、皇后兩陛下の萬歲を三唱すると

安樂椅子

姫路旅團の大連上陸で一番有卦に入つたのは逢坂町遊廓とタクシー業者である

今年は歲暮の書き入れ時でも時節柄忘年會は遠慮しようといふので、一流どころは勿論三流どころの宴會屋まで一齊に悲鳴を揚げこのあほりを喰つた美濃町筋、逢坂町といふ色里まで例年の賑さに比べてさつぱり意氣が揚らなかつた。

……◇……

ところ、姫路の兵隊さんが上陸した二十六日夜から廿七日にかけての逢廓は一齊射擊を受け八百の姐さん達が日頃練えた腕によりかけて應戰したが遂に衆寡敵せず全部占領された。

……◇……

こゝ數年來、廓の藝酌婦八百名が全部繩切れさといふ景氣のいゝ話は耳にしたくともなかつたが思ひもよらぬ日本軍の救援に歲の瀨に直面してホッと一ト息。

……◇……

次がタクシー屋さん「戰地に金を持つて行つても仕方ない」といふ氣前のいゝ兵隊さんを乘せて走る／＼、一臺のタクシーが一日數十回、多いのになると八十回から運轉したさうである。

旅行中に付年賀缺禮仕候
滿日西部大連支局 川島富丸

喪中に付年末年始の禮を缺く
臼井侃治

喪中に付年末年始缺禮仕り候
杉元商店 杉元篤衛 大連市連鎖街

曙の鐘（154）

倉田潮　河野想多書

決心（一）

よもぎはうろ〳〵と部屋ぢうを歩き廻つたが、新聞は見つからなかつた。

たえ子は待ちきれなくなつて

「よもぎさん、口で」と息をはずませて云つた「口で、話して下さい」

「確にこの部屋に新聞がある譯なのだけど……」

とよもぎは殘念さうに呟いたが見つけるのを諦めて座についた。

「新聞に出てゐたのは、本當か何うか解らないですけど、春木さんがつひにつゝみ切れずに……」

「何ですッて」

「罪を自白したと云ふのよ」

「まあ」

と今度はたえ子が立ちあがつてフラ〳〵と部屋を歩き出した。

「何うしたの。たえ子さん」

「私、これから、警察へ行つて來ようかと思ふのよ」

「警察へ行くのは勿論のことですが、まあ御坐んなさい。たえ子さん、よく考へてから行つても遲くはないわ。私、あなたとそのことも相談しようと思つてたのよ」

たえ子は落つかない顔付をしながらも、云はれるまゝに座に戻つた。そして彼女の知つてゐる總てのことをよもぎに話して、既に梨木をたつ時に警察に出て大山家の秘密は勿論、あけみの云つた言葉の末まで皆申し立てようと決心して來たことを話した。

よもぎは熱心にたえ子の言葉を聞いてゐたが、話が終ると膝をのり出して

「それは勿論警察に出て一さいの事情を話した方がいゝわ」

「その時に駒太郎さんの私達に對する親切や、マリアさんのことまで云はうと思ふが何うでせう」

「親切なぞと云はれると痛み入りますが、とにかくあなたの知つてゐることを總て正直に申し立てなさいな。正道を通つて行くのが、私、最も強いと思ふわ。駒太郎も知つてる限りのことを云つてやると云つて行きましたのよ」

と、よもぎはなほ今夜はもう遲いから、ゆつくり一と晩この小舍で體を休めて、明日行つた方がよいとすゝめた。そして、一度警察に出て來てから

「駒太郎は送るべきところへはちやんと金を送つてしまつたし、殘りの金で借金をなして、小舍は今ひまだけど、當今は安心してやつて行けると思ふのよ。だが、私、樣子を覗ひがてら、マリアをよこしてくれと、大山さんへかけ合ひに行かうと思つてるの」

「マリアさんがゐないと實際困りますわねえ」

「えゝ、今までは駒太郎がわざわざほつといたんですが、もう小舍へ戻つて貰ひ度いわ。マリアさへ歸れば、また「淺草のサンタ、マリア」だなぞと大入りをとるのは解り切つたことですもの。ところがマリアて變な女だわね。先程も手紙をよこして、今少し大山家において貰ひ度い、あの事件があつてからます〳〵大山家に引きつけられて來たと云つてよこしたの。人殺しのあつた家にひきつけられるなんて、毛色も違へば心も違つてゐるわね」

二人はその夜遲くなつてから床についたが、床の中でもなほいろ〳〵なことを語り合つて容易に眠らなかつた。心の亢奮が眠りに入らせないことは、二人ともよく知つてゐたが、それは何ちらも云ふことを避けてゐた。話もつきて眼を閉ぢてから、たえ子はいよ〳〵明日こそ運命のきまる時だと思つた。彼女の正直にばくろする眞實が、あけみの僞りのわなを打ち破るか。打ち破つたところに救ひがあるか斷頭臺があるか——總て明日一日にきまるのだと思つた。

しかし、それまで待つ必要はなかつた。夜中に巡査がよもぎの部屋に這入つて來て、家宅搜索を行つた後で、たえ子に同行を申し渡した。

けふの放送

大連　JQAK　十二月三十日

▲午後零時三十分ニュース
▲午後三時三十分ニュース
▲午後六時十分ニュース
（以下内地中繼六時三十分）
▲通俗時話　來年の生活へ、忘年演藝會（大阪より）谷孫六
▲義太夫「染模樣妹脊の門松」淨瑠璃竹本綱龍、三線豐澤綱助
▲落語「氣暴嗜者」立花家花橘
▲浪花節「孝子迷ひの印籠」旭市子
▲俗曲　年の瀨都々逸、三下りさあやヽ節、鴨綠江節、我が戀、唄力松、同さみ、同愛子、同力丸
▲落語「浮れ家の懸賦」立花家圓太郎、笑福亭小枝鶴、立花家花橘、其の他
（以下大連放送局より）
▲天氣豫報
▲ニュース

中央公論新年號

政變で突如湧上つた年末景氣の中で新年の諸雜誌が色とりどりに讀者の購買慾を唆る中にも、一際どつしりと充實した雄姿を見せてゐるのは何と云つても中央公論である。さすがに雜誌界の横綱だけの貫禄は他の雜誌のやうに別冊附録なぞを付けず、飽くまで自信に充ちた編輯技術で六百頁の大冊を押切つてゐるのは壯觀と評していゝ。

政變と云へば敏感な編輯技術は逸早く之を捉へて暫く休養の形だつた政治批評界の第一人者馬場恒吾氏が「若槻内閣から犬養内閣へ」と題しいつもながら周到鋭切な筆で縱横に今次政變の内面を解剖してゐる他、今度の當面の花形たる安達派の闘將中野正剛氏を引張り出したのは大成功だ。

さて卷頭論文「世界經濟の回顧と展望」は東大經濟學部進歩派教授の頭目にして同時に論壇の總帥たるの觀ある大内兵衛教授の筆で、一九二九年世界恐慌勃發以後の世界經濟の動向を分析批判した大論文、教授の一般雜誌への執筆は三年振だからその期待も大きいと云はねばならぬ。「現代日本の再檢討」と「現代日本百人物」とは今度の二大特輯で、前者は日常生活に關係深いファシズム、金輸再禁止、税金、教育問題八項目を佐々、牧野杉森其他諸氏に解説批判せしめたもので、問題のヴイヴイッドを捉へ方に手際の鮮かさを見せ、後者は現代日本各方面の第一線的人物百人の評論でその人選には苦心の跡歴然たるものがあり何方も數十頁を一息に讀み通させる充實そのもの、やうな編輯ぶり。

特種的論文としては此他、造兵學の權威高木保教授の「列國武裝の現勢」高良醫學博士の新研究「性格生物學」學制改革問題の基本的批判としての山本德治氏の「現代教育制度改革論」等があるし、吉野博士の「民族と階級と戰爭」は滿洲事變で熱狂してゐる國民への一大警鐘であり、正宗白鳥氏の「大衆文學論」は同氏近來の評論中出色の興味あるものである。

中間讀物では、故澁澤氏の青年時代を括へた木村毅氏の大衆小説「澁澤篤太夫」丸木砂土氏の「西洋艷笑文學」東郷青兒氏の巴里實話「オルタンス夫人の浴室」を第一に擧ぐべく、吉田謙吉氏の採集及編輯に成るグラビヤ「人だかりの採集」と佐野繁次郎氏畫の大東京十五景「新版東京双六」とは斷然見ごたへのするものである。

さて創作欄だが、島崎藤村氏の長編「夜明け前」は愈々第一篇完結し、正宗白鳥氏の久々の戲曲「悦しがらせる」里見弴氏の「都邑秘帖」等老大家一齊執筆に對し、横光利一氏の「舞踏場」は愈々一流作家の貫禄を示す傑作であり、久しく期待されながら病の爲出發の遲れた新人、梶井基次郎氏の力作「のんきな患者」を載せたのは異彩を放つ。

更に以上の諸家にも增して注目すべきは往くとして可ならざるなき鬼才高田保氏の處女作自傳小説「馬鹿」である。左翼運動に關心するインテリの苦悶をこの位赤裸々に力強く描寫したものは恐らく空前であらう。これと共に巨匠佐藤春夫氏の譯筆になる中華新興文壇の第一人者魯迅の名作「故郷」も亦現代文壇への一大刺戟と云ふことが出來る。

觀來れば本欄創作欄共に多趣多彩文字通り絢爛たる出來榮えで、普通號通り八拾錢の定價は廉價の點でも新春諸雜誌を壓倒するものであらう。（發行所東京丸ビル五八八・中央公論社・郵税四錢）

(日刊) (明治卅八年十月二十五日第三種郵便物認可) 昭和六年十二月三十日 夕刊 (水曜日) 第九千二百二十三號 (一)

發行人 鈴木 編輯人 橋本 印刷人 木村武雄 發行所 大連市東公園町廿一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ケ月 金一圓二十錢 郵稅 金十五錢 一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

けふ、繞陽河を挾んで日支主力部隊衝突か
今曉已むなく斷乎潰滅を期し 我軍盤山に向け進擊

【二十九日大窪にて鳩便藤井特派員】昨夜大窪を中心に夜營した多門○師團長以下の各部隊將士は今曉を期し一齊に盤山の敵陣を目がけて進軍を續ける事になつた 大窪盤山間は約五支里 我軍主力が堅固な陣地に據る敵の主力部隊と繞陽河を挾んで激戰を開始するのは本日正午過ぎとなる模樣である

【二十八日大窪にて鳩便藤井特派員發】出動命令を受けた師團主力部隊は午前八時田庄臺から盤山に向け進擊を開始した、進路は大家堡大甸を經て盤山に迫るのは二十九日正午過ぎになる模樣だが 敵 それまでに逃げればよし然らざれば先發した騎兵と退路を斷ち主力は盤山對岸に散開し我空軍と協力して斷乎潰滅を期し大攻擊開始の已むなきに至る筈である

師團司令部を大窪へ

【二十八日大窪にて鳩便藤井特派員發】田庄臺から大窪に至る約五支里の間の兵匪掃蕩を終つた多門○師團は司令部を大窪に移し 此處に討伐第一夜を明かす事となつた、多門第○師團司令部は昨夜大窪に入つた、先鋒隊たる○○部隊は本日中に盤山に達せん

學良軍全線に積極行動
新民府に危險迫る

裝甲列車を破壞

【二十八日大窪にて鳩便藤井特派員發】當地々方にあつた敵の裝甲列車は本日午後三時まで我○機編隊○○機の攻擊を受け遂に車體の大半は破壞され機關車の運行不能となつた結果敵の將校以下全部我部隊の捕虜となつた

白旗堡の第四第五路義勇軍は今曉正規兵及び匪賊團と相呼應して一齊に新民府包圍攻擊の隊形を執り攻勢に出て來り新民府は危險に陷つた【奉天電話】

【天津二十九日發】錦州の戰機切迫し關內軍は大體灤州を中心に津浦線の第八旅六百二十二、六百二十三の兩團は灤州を中心に移動中である

【天津二十八日發】學良は津浦、京漢兩線駐屯東北軍に對し錦州方面へ移動の命を發した

學良軍の裝甲列車と兵器、彈藥を滿載せる二ケ列車は二十五日打通線に依り通遼に到着し同地一帶の四千の兵匪に之を配給した、戰備充實せるこれ等兵匪は鄭家屯方面に向ひ進擊の姿勢を取つて目下待機中であるが既に三百の兵匪は二十六日鄭通線大林驛に現はれ更に四洮線の衙門鎭、三林方面に向はんとし通遼の兵匪主力は鄭家屯を襲はんとしてゐる【四平街電話】

匪賊團を利用して我軍の後方を衝く
學良軍の別働隊活躍

田庄臺附近には今尚二、三千の匪賊あり同地は我軍の占據以來新谷上等兵以下三名の憲兵が孤立無援に等しい中に死を覺悟して公安隊を指揮し治安維持に當つてゐるが我軍北進後營口永源地田庄臺間には便衣隊出沒し連絡を脅かし匪賊は密かに田庄臺を奪回し我軍の背面を衝かんとして居る事明かとなつたので本日神内憲兵軍曹は四十名の公安隊員を率ゐて田庄臺に向つた、又今曉五時宿營した船津步兵隊よりも○個小隊を田庄臺に派遣して附近の匪賊に備へた【營口電話】

【山海關二十八日發】張學良は錦州軍に戰時特別金を出し士氣を鼓舞する一方別働隊にもそれぞれ武器彈藥及び現金を支給して我軍の後方攪亂をなさしむる等錦州死守のためあらゆる努力を拂つてゐるが二十八日第十九旅長孫德荃に密電を發し部下五千を有する馬賊首領九霞に小銃二千挺彈丸十萬發を與へ日本軍の後方を衝けと命令した

長春の南大將 廿八日ヤマトホテルて記者團と會見

張學良の密令

【天津二十九日發】張學良は二十五日附で秘密裡に河北省各機關に左の如き密令を下した

一、日本軍民と交際するもの
一、日本人に糧食を賣るもの
一、軍用地圖類を日本軍に賣るもの
一、軍事情報を日本軍に報告するもの
一、日本軍民と聯絡し鐵道鐵橋を破壞し又は軍事行動を口外するもの
一、日本軍の道案內をなすもの
一、軍事施設の撮影を爲すもの

以上の者は之を銃殺に處す

學良大言壯語

【北平廿八日發】學良は錦州軍に對し 東北の將士一度怒つて立てば百萬の日本軍も鎧袖一觸のみ諸君の奮鬪を望む と大言壯語命令した

草河口に兵匪

二十八日安奉線草河口に約三百名の兵匪が襲來する形勢ありとの報に接しわが方は嚴重警備したが賊は之に恐れてか遂に姿を見せなかつた【草河口電話】

煙臺西方にも

煙臺驛西方約一千メートルの蒲窪溝に二十九日午前三時騎馬匪賊約五十名手に松火を携へ襲來せるを發見、煙臺派出所員が砲擊を加へたるに賊は部落に放火の上逃走した、遼陽縣第二公安隊は迫擊砲を以て目下追擊中である【遼陽電話】

室師團長 今朝着奉

【奉天二十九日發】關東軍の遼西匪賊討伐援助のため滿洲出動を命ぜられた室第○○師團長は今朝六時二十分幕僚を從へ奉天に到着した

室師團長談

第○○師團室師團長は森參謀長以下○○名を率ゐ、二十八日夜九時十三分、米澤領事、高山警察署長多田地方事務所長その他多數官民有志の見送り裡に北行したが、停車時間中、驛樓上貴賓室において往訪の記者に語る

私の渡滿はこれで四回で、滿洲には緣故が深い、大正四年より七年まで旅順の要塞司令官を勤め、そのまへにも渡滿した、元旦は無論戰地である、僕の行先かれ、もちろん錦州に行くことになるだらう、途中奉天に立寄り軍部といろいろ打合せをする筈だ【安東電話】

船津大隊歸奉

今朝五時營口に到着した船津大隊は奉天集結命令を受け午後零時半出發奉天に向つた【營口電話】

海軍警戒隊

旅順に待機中だつた海軍警戒隊五十名は廿九日午後一時帽島丸にて驅逐艦鏡號護衛の下に塘沽に出發した

◇―田庄臺溝幇子附近略圖

南北政府消滅

【上海二十九日發】統一政府は來る一月一日を期して成立し南京、廣東兩政府は同時に消滅せしむるに決定した旨發表された

上海市長後任

【上海二十九日發】曩に辭表を提出した上海市長張群に對し中央部で極力慰留してゐたが張の辭意固く今回辭職を許可し後任の決定まで陳銘樞を兼任市長に任命した、尚學生騷動で免職となつた上海公安局長の後任には前廣東保安處長王曜が擬せられてゐる

南京政府主席以下きのふ正式に決定
政府主席には林森氏

【南京二十八日發】本日の全體會議は國民政府の顏觸れ及び國民黨中央執行委員會常務委員を左の如く正式に決定した

政府主席及各院長副院長

主席 林森
行政院長 孫科
同副院長 陳銘樞
立法院長 王寵惠
同副院長 覃振
司法院長 伍朝樞
同副院長 居正
考試院長 戴天仇
同副院長 劉蘆隱
監察院長 于右任
同副院長 丁惟汾

中央執行委員會常務委員

陳果夫、顧孟餘、胡漢民、孫科、葉楚傖、汪精衛、蔣介石、居正、于右任

黨最高政治委員 汪、蔣、胡三氏擧げらる

【南京二十八日發】國民政府常務委員は汪精衛、蔣介石、胡漢民となつたが更に三氏は國民黨最高政治會議委員に擧げられ今後國民政府及び黨部とも三氏の指導に依つて統制さるゝ事となつた

政府常務委員

【南京二十八日發】國民政府常務委員は汪精衛、蔣介石、胡漢民の三氏に決定した

政府委員選任 學良派を除外

【南京二十八日發】本日全體會議は國民政府委員として蔣介石、汪精衛、胡漢民、唐紹儀、張繼、蔡元培、許崇智、李烈鈞、鄒魯、宋子文、程潛、方振武等三十三名を選任したが張學良一派は廣東派の反對で全部除外されてゐる

成立した新南京政府日支問題で宣言發表
全力を以て武力對抗

【南京二十八日發】本日正式に成立した新國民政府は日支問題につき大要左の如き宣言を發した

國民政府は滿洲問題當面の錦州事態に對し自衛のためあらゆる手段を講ずる支那政府は素より國際聯盟に對する當初からの賴政策を續け聯盟の精神により極東及び世界平和維持のため努力せんと欲するが日本軍の支那領土侵略に對しては全力を擧げ武力對抗をせざるを得ぬ新政府は最近の機會に人民會議を召集し民意と輿論に依り內外問題を決定し其の基礎方針に依り行動す

中央試驗所改制
理學試驗所を合併し 所長は根橋次長兼任

滿鐵技術局は管內機關統制のため今回中央試驗所と理學試驗所を解體合併の上新たに中央試驗所を設置し新中央試驗所長には次長たる根橋禎二氏に兼任を命じ各科長は課長待遇と爲すことゝなり二十九日附を以て左の如く異動發表された

技術局次長 技師 根橋禎二 中央試驗所長事務取扱兼務を命ず
元中央試驗所 技師 佐藤正典 中央試驗所有機化學科長兼燃料科長を命ず
元中央試驗所長 技師 世良正一 中央試驗所農產化學科長兼無機化學科長を命ず
元理學試驗所長 技師 渡邊猪之助 中央試驗所機械研究科長兼電氣研究科長を命ず
元理學試驗所 技師 高木小二郎 中央試驗所土木研究科長を命ず
總務部人事課 事務員 村岡元市 中央試驗所勤務を命ず

滿鐵豫算 認可遲る

滿鐵六年度更正豫算並に七年度豫算はさきに市川總理部長が攜帶東上して大藏、拓務兩省當局に對し說明をなし認可申請の手續中であつたが突如今回の政變により兩主務省の首腦者更迭したので豫定の如く年內に本年度更生豫算の認可を得ることは不可能となり市川次長は更に歸京し改めて兩省新首腦の諒解を求め遲くも明春議會再開前迄に正式認可を得るやう努力することゝなつた從つて歸任期は來月末の豫定である

滿鐵の人材登用策

滿鐵においては專門學校卒業者は採用二、三年後雇員より事務員、技術員に登格するも所謂普通雇員の登格は多年中絕されてゐたが滿鐵當局は大學偏重主義を打破して廣く人材を登用する見地に基き今回普通雇員より事務員、技術員への登格の途を拓くことゝなり取敢ず五十名を登格せしむるに決し既にその一部は發表されたが殘りの鐵道部二十五名、奉天事務所一名鞍山製鐵所三名の登格も年內に發表を見ることゝなつた

新國家成立の盛大な祝賀

奉天省政府では二十八日午後より各廳長始め各機關首腦者參集、正月元旦には錦州政府解消するものと見做し盛大なる新年拜賀式擧行のほか官民各機關を網羅する新國家實現祝賀の一大デモンストレーション開催の議が協議された【奉天電話】

廣田大使暗殺計畫を否定

【ベルリン二十八日發】廣田大使暗殺陰謀の嫌疑で本國送還の途當地に着いたチエッコ駐露外交使節團書記官カル、ワネックは記者に對し左の如く語つた

廣田大使暗殺の風說は全く余等を陷れんとする陰謀で余はかゝる陰謀に何等の關係もない、今夜歸國次第直にその旨本國政府に報告して身の潔白を明かにする決心だ

人事

▲大倉喜七郎男 廿九日入港ほんこん丸で來連
▲横山信毅氏（大倉組理事）同上
▲奧田喜久司氏（海軍中佐）同上
▲大野孝緯氏（三井物產社員）同上
▲若木剛氏（東拓總務部長）同上
▲大森一聲氏（名古屋夕刊記者）同上
▲三浦延治氏（同上）同上
▲足立幸一氏（關東軍囑託）同上
▲師尾源藏氏（明大講師）同上
▲鈴木宗正氏（埼玉縣社會課長）同上

蛇角

滿鐵首腦部更迭に對する反對論は漸次各方面に高まつて來た。

◇

南京政府決定、ロボット主席に林森を推し、蔣汪胡の中央政務常務委員の政權となつた。

◇

さてこれからが問題、廣東派南京派の虛々實々の爭鬪戰が始まる蔣、汪、胡の個人勢力の爭ひとなつて、結局クーデターとなるのではないか。

◇

居正の演說、新日支親善論、兩國は禍を轉じて福と爲さねばならぬといふ、これこそ孫文の容共以前の精神。

◇

居正は西山派の首領、曾て國民黨の容共に反對し、終始一貫の反蔣派、蔣の爲めに久しく監禁されて居た人。

◇

此演說が、中央黨部記念週に於て爲された事が注意に値する。

ガンヂー歸國後の第一聲

【ボンベイ二十八日發】英印圓卓會議に滿足せず反英抗爭を決意せるガンヂー氏は本日當地に於て

戰爭の用意をせよ戰鬪の際は生命を犧牲にせよ我等は我民族を救ふためには如何なる手段をも避けるものではない

と歸京後の第一聲を擧げ萬餘の聽衆は歡呼を以つて之れを迎へ氣勢を添へた

ボンベイに流血の慘事

【ボンベイ二十八日發】ガンヂー氏は今朝當地に到着したが英印圓卓會議不成功に終つたのに憤慨した約一千の國民會議派義勇隊はガンヂー示威運動を行はんとし國民會議派義勇隊と衝突流血の慘を見た

東亞の謎 (163)

國枝史郎
挿畫 伊藤順三

黄帮の巣窟（三）

どつちみち正面から乘り込んで行つては、危險であるやうに感ぜられた。

さうして眼の前に點在してゐる包に、武村がゐやうとは思はなかつた。

（林の向ふに何かあるらしい）

これは林を見た時から、伯に感じられてゐたことであつた。

（林の向ふへ行つて見てやらう）

で伯は後へ引き返し、包の集團から遠退いて、グルリと迂回して林へ近づき、馬を立樹へつないで置き、自分は林へ分け入つた。

林といつても沙漠の中の林で、內地にあるやうな奧行の深い、鬱々としげつたものではなく、十數間行くと林が切れ、行手に恰度城壁のやうな堅い砂丘が現れた。

それは昔は城壁であつたが、永い年月と風雨と嵐、さういふもののために腐蝕され、そこへ沙漠の砂がたかり、砂丘のやうなものとなつた——然ういつたやうな砂丘であつた。

一丈以上もあるのである。

伯は砂丘によぢ上つた。

頂から見下された內側の景色は伯の心を喜ばせた。

立つてゐる無數の石の柱、地に殘つてゐる無數の石窟、ところどころ蟠居してゐる礎臺、往來の跡らしい石を敷いた通り、まばらの人の群でも見るやうな、あちこちに立つてゐる石造の小家、貯水池らしい物の跡——さういふ物が淡い月光に、或所は光り或所は黑み、その或所からは燈火が洩れ、寂然と靜まつてゐたからであつた。

包も諸所に立つて居り、包の周圍や廢墟のあちこちに、人や犬や家畜のやうなものが、歩き、佇み、うろついてゐた。

砂丘さが大圓をなして、城壁のやうに繞えてゐた。

（昔の城寨の跡と見える）

伯はすぐに然う思つた。

さうして武村と小夜子とが、その一劃の何處かにゐると、そんなやうに思はれた。

で、伯は砂丘を下りた。

下り切つて十數間進んだ時、足に卷き付いたものがあつた。

（やられた！）

と伯は瞬間に思つた。

と、伯は引仆された。

仆れた伯は仆れたまゝで、手にピストルを握つてゐた。

何處から現れて來たものか、五人の蒙古人が伯の周圍を、グルリと取り卷いて立つてゐた。

伯は穩しくした方がいゝ、連れて行かれるところへ連れて行かれやう——こんなやうに決心して、窃つとピストルを內ポケットに隱した。

蒙古人達は彼等の言葉で、言葉せはしく話し合つたが、一人の男が白布を出して、それで伯の眼を結はへ、革紐で伯の足から取つた。

かうして伯は引つ立てられた。

（いやはや他愛なくやられて了つたぞ）

伯は恐怖を感じるよりも、可笑しさを感じて來た。

自分で自分へこんなやうに云つた。

（松下君、君は鈍いねえ）

併し伯はこの一事で——此處の巢窟の連中が、自分を攜へたさいふこの事で、武村が此處にゐるさいふことを、ハッキリ信じることが出來た。

（武村が命じて攜へさせたのさ。要なる侵入者を攜へるにしては、あまり手際がいゝからな）——伯は考へ進んで行つた。

感激渦巻く驛頭に 士氣溢る勇士
けさ大連驛發征途へ

大連に滿洲第一夜を明かした寒中國の勇士松江部隊○○○名は二十九日午前七時發臨時軍用列車で○○方面に向つて壯途に就いた、この日曉々またき愛國の熱情と興奮とに燃えた市民は續々とつめかけて第一第二フォームを埋める、勇士は曉の霜を踏んで午前六時驛前に到着輸送指揮官北園輜重兵少佐の命令で乘車を終り時の來るを待つ、萬歳、萬歳の連呼が「こゝは御國の何百里」の軍歌のどよめきに交つて師走の朝空に歡送の二重奏を奏でる、車窓より乘出す兵士の顔には「支那匪賊、何事かあらん」と士氣溢れ定刻七時出發を報ずる警鈴が鳴り響くや、ドッと擧がる萬歳の聲は天地を搖がせ、熱狂と喚聲の渦巻の裡に○○方面に向ふ我等の勇士を乘せた列車は靜かにフォームを離れた（寫眞は大連驛出發の光景）

名譽の傷病兵歸る
萬歳を絶叫しながら 思ひ出は滿洲に
けふ百四名廣島へ

傷ついた片手を打振り乍ら萬歳を絶叫しつゝ、「又治つたらくるぞ」と元氣に怒鳴り乍ら大興江橋、昂々溪方面での名譽の戰傷兵が勇ましく懷しい思ひ出の數々をのこし御用船平仁丸で滿洲から離れて行つた、廿九日午前御用船の出帆前既に甲埠頭廣場は見送りの各學校生徒、各種團體、一般市民の群が熱狂的な人垣を作る、その間を大連婦人團聯合會員や大連陸軍病院の人達に護られ或は擔架に運ばれ松葉杖をつき兩手を繃帶でグルグル卷にした戰傷兵、凍傷兵が痛ましい姿を船中に運ぶ、輸送指揮の任に當る太田幸衛一等軍醫が小竹一等軍醫外一同と共にテキパキした處置をつけてゐる、滿鐵正副總裁を代表して山西理事、市民側より辛島民政署長をはじめ各種方面の代表者が次々に挨拶と見舞に集る、同船今回の送還戰傷者數は合計百四名（將校一名、下士四名、兵九十九名）その內譯は凍傷者六十名戰傷者三十三名その他十一名である、定刻十一時いよいよお別れの時だ、銅鑼が鳴る、汽笛が寒風に千切れて飛ぶ、何時の間にか甲板にずらりと戰傷者が顔を出して見送りの市民との間にテープが交錯する「おーお孃さんそのテープをしつかり握つてくれ」一本のテープに三四人の傷病者が繃帶に包まれた手ですがりついてゐる、最後に辛島民政署長は立つて感謝と感激に滿ちた別れの挨拶をなし、これに對し戰傷者を代表して太田軍醫はこれに應へ「たとへ身は不具となつても戈を握るに代つた方面を見出して報國盡忠の道に邁進するつもりである」と結び、何處からわいたか萬歳聲裡岸壁から平仁丸は離れ一路宇品に向つた【寫眞はけふ埠頭で】

勇士の心境は 同情に堪ぬ
太田一等軍醫語る

戰傷兵輸送の大任を荷なつた太田幸衛一等軍醫は市民の熱誠なる見送りに感激して語る

自分は事變以來二度目の患者輸送の重任を荷ひました頗る光榮だと思ひます、時局は正に最高潮に達せんとする際傷ついて內地に送還される勇士等の心情を思ふと同情に堪へません船中看護並びにその他治療に關しては責任を負ひ皆樣のこの盛んな見送に應へたいと存じます、凍傷者の多い部隊は步兵第四聯隊の三十名、第廿九聯隊十名、野砲兵第二聯隊十三名など多い方で戰傷者では步兵第十六聯隊の十一名、獨立守備隊の七名、步兵第廿九聯隊の五名など多いと思ひます、何れも今迄各地の衛戍病院で手當を加へてゐたもので中には大分よくなりつゝある者もある位です、大連聯合婦人會の人達や常に自動車を借して下さる滿電大タク友愛 の人達その他色々な意味で感謝します

海務協會で 慰問金募集

大連海務協會では酷寒烈風の中に勇戰奮鬪して名譽の戰死を遂げ或は病歿した帝國軍人に敬弔の意を表すると共に出動部隊の多くが東北師團の精兵で、同地方は三十五年來の悲慘なる饑饉地帶と聞いて滿洲事變戰死病歿者の遺族救恤慰問金募集を海事關係者並に海員から左記の如くすることになつた

一、金額は（個人又は團體）一口五十錢以上
一、期限は昭和七年一月廿日まで
一、應募金は大連海務協會庶務係で取扱ふ
一、金品の分配は軍部當局に一任
一、應募金額氏名は海友に掲載す

知人を騙る

住所不定佐藤武之助（三）は廿八日午後七時ごろ豫て面識の市內二葉町百番地綱本菊之助方を訪れ「消費組合へ二百圓の集金に來たが釣錢がないから四圓九十錢借して吳れ」と巧に持ちかけ綱本方で十圓を詐欺逃走したので二十九日大連署へ告訴を提出した
佐藤は洋雜貨商不倒子を馘首されて以來、諸所を浮浪しさきに滿鐵記者倶樂部で高橋俊夫氏かに二圓餘を詐取したのを始め同樣手段で知人を片端しから荒し廻つてゐる事實あり大連署で嚴探中

中年の戀まで背負ひ 哀れな未亡人縊死
殘された三名の孤兒

貧と病苦、それに中年の戀に身を焦しつゝ愛兒三名を道連れに母子瓦斯心中を企てた當時春日町大日ビル二階六號室の元長崎高商及び日露協會教授玉水千市氏の未亡人玉水モト（四三）は瓦斯中毒と持病の肺浸潤のため聖愛病院に入院中であつたが二十九日午前二時十五分つひに內科七號室で縊死を遂げた發見者は母の看護のため附添ふてゐた長女照子（一五）で便所にゆくべく午前二時三十分ごろ目を醒ますと母親は室內窓の止金に細紐を通して哀れ縊死してゐるので「お母さん、お母さん」と取りすがりつゝ泣き騒ぐのに人々が駈つけ直に引下し醫師の應急手當を受けたが死後三時間餘を經てをり遂に蘇生しなかつた。屆け出により大連署から藤本警部補が檢視したが寢臺の上にはチリ紙に鉛筆で走り書きした誰に宛てたともなき遺書があつた、それには

病苦に堪へず、結局死んだ方が幸福です、皆樣に申譯なし、子供のことが氣掛りです

とあり數日前愛兒三人を死出の旅路に連れてゆかんとしたが今度は思ひ止まり身の行末を案じつゝ死んで行つた母親の心情が現はれてゐて居合す人々の涙を誘ふたが急を聞いて駈つけた三人の子供は母の死體にすがつて泣いてゐたのも一入哀れであつた

モトの死因の裏面には痴情に絡む風聞あり種々取沙汰されてゐるが探聞するに夫の友人で某會社に勤める某氏が夫亡き後何くれとなく世話するうち同情が戀に變り一昨年夏から同棲子供までも儲ける身となつたが其後男の態度はだんだん冷かとなり最近突然他の女と結婚して終つたので中年の戀に身を燒くモトに取つては堪へられぬ苦痛であつた、それに持病の肺浸潤はますます惡化するばかりで遂に身の行末をはかなみ再度の自殺を企てたものである、なほ三名の遺兒は市內松林町四六番地永井軍治氏の同情で勞働保護會に引き取られてゐる【寫眞は殘された次女と長男】

新義州守備兵 安東に增援
室師團長に官民陳情

安奉線鳳凰城附近に匪賊跳梁事件頻々と惹起し安東に於ても人心不安の爲め室師團長の通過を機とし加藤安東憲兵分隊長、高山安東警察署長、多田地方事務所長らは最近の事件を述べ朝鮮より派遣分隊を安奉線附近に配備方を陳情したが師團長は新義州守備隊兵を安東に增援各方面の警備にあてることゝなり新義州守備隊長三輪中佐に內命せる模樣で增援隊は廿八日夜より守備につく筈である【安東電話】

東活の男女優 大擧し來滿
在滿軍隊の慰問と 『大和櫻』のロケーション

駐滿軍隊慰問と映畫「大和櫻」のロケーションのため東活では總務部長若木剛氏を御大として、南光明、東郷久義、石川秀道、大井正夫、藤田林太郎らの顔ぶれと岡田靜江、川島奈津子、宮城直枝、大內綾子らの美しいところをズラリと揃へ一行二十八名が二十九日入港香港丸で賑々しく來連した、花束の樣に集つた女優連のおしやべりを聞くと

妾たち滿洲に來た以上撮影なんかより慰問が第一の目的にしますわ、寒いには寒いけど兵隊さんの事考へると文句は云へないと思ふわ

いづれも極寒のもと北滿の野に馳驅する軍隊の話で持ち切り若木總務は語る

目的は軍隊慰問で、また滿洲を土臺にした滿洲の人岡田猛馬氏の原作の大和櫻のロケーションをするつもりです、派遣軍のお邪魔にならない程度各方面を撮しその上比較的勤務に差支への無い方面には軍部の意嚮を伺つた上レヴユウでもお見せします、ロケーションの方は井手君が采配を振り一同馬力を掛けて一日も早く映畫を完成したいと思ひます、歸りは二月に入るかも知れません

南東郷藤間なんて大きな身體の男優連が甲板にづらりと揃つて寒いくの連發だ【寫眞は東活の一行】

戰況を鳩便に託し
盤山第一線から速報

田庄臺以北に於ける皇軍今回の匪賊大討伐に就き本社は目下藤井、綿藏、森、東の四記者及び山口寫眞班員を特派して其速報に努めしめつゝあるが通信交通共に頗る不便な各戰地特派員と營口支局並に本社編輯局との連絡方法については多大の腐心を要するものあり種々攷究の結果、鳩便を使用することになり、既に藤井特派員發の鳩便による第一報は昨朝我一面所載の通り多大の成功を收めて營口支局に到着し時を移さず電話を以て本社に通信された、非常な「氣」と特派員の取扱ひ不馴れ等の關係上果して引續き如上の大成功を收め得るや否やは疑問なるも戰鬪第一線に起つ各特派員の活躍と相俟つて今後鳩便利用の通信は續々紙面を飾り讀者に見える事であらう、物凄い硝煙彈雨の中にあつてこの小さき平和の使徒等の活躍する可憐なる姿を想像し讀者は微笑を以てこれ等の通信を迎へられ度い

王子御降誕
李王妃殿下御慶事

【東京二十八日發】宮內省發表＝李王妃殿下は廿九日午前八時二十二分御分娩王男子殿下御降誕あらせらる

今曉撫順目拔の場所に 怪强盜二名押入る
主人を脅迫し約一千圓を强奪 悠々と兇暴な犯行

二十九日午前三時半市內西六條通り易發撫順有數の資産家威司東洋行角德一郎氏方に二名組の怪强盜侵入し豫じめ電話線を切斷し外部との連絡を絶ち一名は見張り一名は裏側洗面所の小窓を破壞侵入炊事場より刺身庖丁を持ち出し先づ十疊の間に寢て居た角氏夫妻を懷中電燈で照らし金品物色中を妻女が眼を醒ましたので賊は聲をたてるとこれだぞと兇器を示し麻繩で角氏夫妻の兩手足をがんじ搦めに縛りあげ柱にくゝりつけ次で女中上野ミサチ（一九）を縛し二階に至り撫順高女四年で一年以來常に首席を占めて居る同家長女恭子（一七）をもめつたやたらに縛りあげ階下に降りて角氏に對し金庫番號を教へろと迫つたが角氏は番號は話しても判らぬといふや縛した角氏の足だけを解き事務所の金庫前に連行約金一千圓を强奪しその上悠々何事かをなした後夜明けを待ち六時二十分引揚げた、本件の如き撫順屈指の邦人紳商の襲はれたことは茲十年來前例のないことで撫順署は非常な緊張裡に目下大搜査中である【撫順電話】

鳳凰城を襲撃した匪賊使用の技術隊旗

無許可の漁業は 嚴重取締り處罰

關東州內漁業者にして無許可無鑑札または期間滿了した無效の許可證若くは鑑札のまゝ漁業に從事する者いまなほ絶えないので關東廳當局はこれが取締に手を燒いてゐるがこれ等は關東州漁業規則第三條、第九條および第十七條の規定に違反する行爲であり規則第三十一條および第三十三條により二百圓以下又は五十圓以下の罰金または科料に處せられる事になつてゐるからこの際進んで正規の手續をなし許可證或は鑑札を受ける樣にまた禁漁期および禁漁に關しても採捕禁止時期および採捕禁止の魚介類を採捕する者ありこれ等も魚介類繁殖保護上面白くないのみならず規則第三十一條の犯則者として處罰される事になつてゐるから大いに注意して貰ひたいと

郷軍遊說班 大成功
けふ二班歸る

在滿帝國在鄕軍人時局同志會ではさきに六班の內地報告遊說員を各方面に派遣したが二十九日入港香港丸にて九州班古賀元氏並に關西班足立幸一氏渡邊勇氏が打つれて來連した、いづれも行く先々で頗る感動を與へた青年團學生等を熱狂せしめたものであるが福知山においては足立氏等の演說に感激した福知山病院長森田峰太郎氏の如きは滿洲吉井清則閣の乘春作の古刀を贈るところありその行を盛にした、なほ奈良、姫路、京都、大阪等出動部隊に關係のある箇所はいたるところ講演をなしその數は七十回九州班も古賀氏等の熱誠で各地とも沸く樣な盛大ぶりを見せ成功を納めて歸つた

軍縮會議の 材料集め
奥田中佐來滿

明春二月ジュネーヴにおいて開催される軍縮會議海軍全權隨員海軍中佐奥田喜久司氏は全權一行と離れシベリヤ經由ジュネーヴへ向ふ途中廿九日入港香港丸で來連サロンに刺を通じると語る

こちらに來たのは恐らく軍縮會議では又も滿洲問題が論議に上ると思つてこれが說明の材料とりと陸軍の方々の勞をねぎらふ意味で一人でこちらに廻つて來たのだ、自分はまだこの種の會議になんか出た事のない全くのガムシヤラな男だが又このガムシヤラが役に立つ樣な事があるかも知れん、賠償會議なぞが濟んで軍縮會議は二月二日の豫定になつてゐるが何だか遲れる樣な報道があつたれ、英國が延期說を述べてゐるが日本は絶對にそれには反對だよ今日は旅順に戰蹟を訪ひすぐ北上する

泉州蜜柑の 進出目覺し
三菱商事の手で

滿洲一圓にて消費される內地蜜柑につき從來大部分を占めてゐた紀州の柑橘組合がその他の產地を糾合し、一面從來大連中央卸賣市場において、その指定商人たりしものが脫退して場外取引を行ふに至つたことは屢報の如く、而して從來の實勢に鑑み市場取引は閑靜をきはむるものと一般に觀測されてゐたが、最近出廻り期に入つて、この豫想は全然裏切られた、即ち三菱商事が泉州蜜柑に手をつけ滿洲に大量輸入を試み中央市場に上場したるところ、品質、價格の點において進出物凄く、その取扱ひ高において目下のところ場外取引即ち前記日本蜜柑中國輸出組合と互角の勢力を張るに至つた、茲において右組合の坊野理事は對策講究のため急遽內地に赴いた有樣にてその成行きは注目されてゐる

關東學生射擊 聯盟から慰問

關東學生射擊聯盟では駐滿軍隊慰問のため聯盟理事師尾源藏（明大講師）並に熊谷幹事長、楠見、小林兩副幹事が打連れて慰問使として廿九日入港香港丸にて來滿した師尾氏は語る

日本の射擊聯盟三千の會員を代表して軍隊慰問に來ました、聯盟のものはいづれも何時からでも第一線に飛出して働く覺悟はついてゐます、今度も道巡察でも斥候でも何でも體驗して行つて將士の實情を知らせたいと思つてゐる、私は往年シベリヤ戰爭に從軍した事があるがそれだけに一層將兵の勞苦が思ひやられる

暴行酌婦留置

市內逢坂町遊廓水香方抱酌婦若葉こと小野マスエ（二二）は去る廿一日午前三時ごろ客のことから仲居射場カメ（四一）と口論し、酔ッ拂つて帳場にゆきカメを毆る蹴るの揚句拇指に咬みつき全治十日間の傷害を與へたが翌日無斷家出、市內播磨町救世軍婦人ホームに駈込み自殺を計畫中仲居カメの傷害罪告訴により廿八日午後六時頃大連署に留置された

池田桂仙畫伯逝去

【東京二十九日發】日本南畫界の重鎭京都の池田桂仙氏は二十七日夜自邸で逝去した享年六十九

天氣豫報

三十日 北西の風 晴時々曇

各地溫度

	廿九日午前十一時	廿八日最低
大連	零下七、〇	零下八、四
旅順	同 四、三	同 七、四
營口	同 九、七	同 一二、四
奉天	同 一二、七	同 一五、五
長春	同 一二、三	同 二〇、〇

けふの小洋相場（正午） 金百圓は一五三圓四〇錢

長男克巳儀病氣の爲豫て東京帝大病院に入り加療中の處養生不相叶本月二十七日午後七時死去致し候に付此段辱知各位に謹告仕り候
追て葬儀は郷里三重縣飯南郡西黑部村高須に於て執行可致候
昭和六年十二月二十九日
父 山口十助
親戚總代 山口賢吉
友人總代 保田文雄
酒井清兵衛

武門血笑記（11）

下村悦夫作　布施長春挿畫

女妖（二）

囚人！それは、痛みつゞけてゐる肩の傷を、指の先で小突き廻すやうな懲しい屈辱感を、源之丞の胸に與へたのであった。

「殺せッ！思ひに殺せッ、でなければ、云へ！何故に、何故に、拙者を、斯樣に……」

源之丞は、傷の痛みさへ忘れたかのやうに鋭い口調で。云つた。

「靜かにおしつてば！生かさうさ殺さうさ此方の勝手だつて、云つてゐるぢやありませんか」

「では、何故、拙者をこゝへ連れて來たのだ?」

「妾、お前さんに、訊き度い事があつたからさ、それさへ訊かせてお呉れだつたよ、歸して上げてもいゝんだが——」

さ、此時、隣室から。

「いけねえ！姐御、お前さん、滅多なことを云ふんぢやありませんぜ」

鋭い男の聲が、お蓮の言葉を遮つた。

「大丈夫だよ、あたしがいゝやうにするからさ」

お蓮は隣の部屋の聲に、こう答へると、また、すぐ源之丞の方を振向いて。

「お前さん、訊かせてお呉れだらうねえ？え、厭だつて云ふ顏付きだね、なあに、大したことを訊く譯ぢやありませんさ、唯れ、獄門首を繪に描くなんて、どんな理由からなのか、訊れて見たいと思つてね」

「……」

「まあ、そんなに變な顏をおしでないよ、だつて、醉興にしちや餘んまり變ぢやないか、わざ〳〵眞夜中時に、あんな處へ獄門首を寫しに行くなんて——」

かう云はれて、今更のやうに、源之丞の頭に浮んで來たのは、城下外れの掛け茶屋で、自分を待つてゐるであらう津野織馬と白井作樂。並びに、師匠太郎左衛門の娘お利花——この一連の環が持つ處の、今宵の不思議な使命であった。

さうして、その結果、自分だけ、こんな慘めな運命の許に置いた、この怜しい迄に艶かな、女に對する解き難い疑惑の渦に卷込まれて行く自分を感じた。

「いや、拙者が訊かう、貴樣達は一體、何用あつてあの仕置場へ行つたのだ、先づそれから云へ」

「ほ、ほ、ほ、えらい權幕だ事ね あたし達は黑兵衛の獄門首を盗みに——いゝえ、取返しに行つたのさ」

「む、すると貴樣は——」

「今になつて漸つと判つたのかい あたしはね、黑兵衛の女房のおれんと云ふものさ、女房が亭主のお弔ひにやつて來たのさ」

「では、白鷺の……」

「世間ぢや、勝手に、そんな名で呼んでゐるのさ。さあ、お前さんの返事をする番だ」

お蓮は、かう云ふと、その冬空の月のやうに冴えた顏を、凝乎つと源之丞の方へ向けた。

白鷺さは、よく云つた名だつた お蓮の美しさは、白鷺の持つ凄いばかりの美しさであつた。それは磨いて、磨いて、病的にまで磨き上げた美であつた。そして、それは——源之丞には、今迄見た事もない美しさだつた。藩中一の美人と謳はれてゐるお梨花の美が、暖かい春の月のやうな美であるとすれば、このおれんの美は、氷のやうに冷たい、冬の月のやうな美であつた。

彼は、思はず、我を忘れて、彼女の、鑄めたやうな漆黑の瞳をば凝乎と、見上げた。

さ、突然、玄關口の方で、慌ただしい物音がして、次の部屋から

「姐御、米次が戻つて來やしたぜ 幸作兄いの死骸を擔いでゐやすよッ」

さ、子分の聲がした。

「えッ、何うおしださえッ?」

おれんは、すつくと立ち上つた。

モンブランの嵐　獨乙アファ社の山のトーキーでアーノルド・ファンク博士原作脚色レニ・フエンシユタール嬢冒險飛行家エルンスト・ウデット氏共演【常盤座初春第一週上映】

キネマと演藝

大江美智子 舞踊挨拶 中央映畫館

沿線各地衛戍病院の傷病兵慰問のため二十八日北行した石太プロの大江美智子一行は三十日夜、或は三十一日朝歸連し、元旦から中央映畫館の新春興行に出演し、和洋合奏にて長唄舞踊「鶴龜」及び新舞踊「唐人お吉」を上演、更に舞臺挨拶をなしてファンに御目見得するが、大江美智子は寶塚少女歌劇の出身で山村流の舞踊名手さして知られてゐるから今回の舞踊實演は大いに期待されてゐる

大連舞研生總督官邸で舞踊

朝鮮部隊傷病兵慰問のため遙々京城に赴いた大連舞踊研究所生は二十六日午後六時からJODKから滿洲唱歌を放送し、二十六、七日の兩夜京城日報社及び滿日京城支局後援の下に公會堂にて慰問舞踊會を開き廿六日夜は九時半から總督官邸に招待を受け約三十分間舞踊を演じ櫛木氏は宇垣總督より懇親な研究生指導上の注意を受けた、また一行は廿七日午後二時から龍山衛戍病院に傷病兵を見舞ひ舞踊慰問をなしたが、二十九日仁川發第廿六共同丸で卅一日朝歸連の豫定である

噂話

今年はど映畫界に次から次へさ問題の起つた歳は珍しかつた▲振返つて見るさ各映畫館の上映々畫が全部一變して全く更新した一九三二年を迎へるゝになつた▲而もまた未解決の問題が相當に來年へ持ち越されるが、すべて圓滿解決して邦人映畫業者が結束すべき秋であるまいか▲徒らに樂屋落ちの爭ひを續けて行く時は飛んでもない結果を招來するだらう▲さて來年はどうなるか、映畫界の事は蓋をあけて見ないさ判らぬさころに面白味があつて矢張り賑やかな事だらう▲その賑やかな新春興行も內地式にどうやら大晦日から蓋をあける館もあるらしく正月は眼の前にぶら下つてゐるが、儲かるものやら損するものやら、干支で縁起の祝へぬ歳が來る

日活映畫 仇討選手

日活時代劇の名コムビさして久しくファンから絕讃を浴びて來た大河內傳次郎さ伊藤大輔を切離し、現代劇の內田吐夢を配し更にカメラの唐澤弘光に代つて小林正を加へ、こゝに新なトリオをつくつて製作された一篇であり、時代劇の新傾向映畫の一つさして注目される作品である、そしてその結果は映畫的にも大河內物の新局面を打開した歡喜を持ち、ファンには至極面白く且つ痛快な作品さなつて、再び大河內萬歳の拍手が約束されてゐる

◇先づ何より成功したのは小林正の原作脚色で、殿樣の御機嫌を取結ぶために職人を仇討選手に仕立て、成功させ、最後に武士さなつた職人を自覺さすさいつたストオリイの狙ひ處が、輕妙な脚色によつて俄然活氣を帶びた前半の笑ひを後半に引締めたさころに、この一篇の成功がある

◇內田吐夢の監督も洒脫味の豐かなスピードを以て終始してゐるそれに大河內傳次郎が「彌次多」時代の借りもの、感じからスッカリ今度は板について良さに好感が持てる、タイトルの次に必ずぶつかる大河內の上眼使みから救はれたゞけでもファンは一息つくことが出來よう、そしてフンダンに笑はされ、溜飮を下げていゝ氣持になれるさつぱりさした映畫である、助演者では山田五十鈴が更らに良くなつた事さ佐久間妙子が不思議さ美しく見えるのが目立つてゐる【帝國館新春第一週上映】

本社特選 新棋戰（其五）

平手 香交 先番　四段△建部和歌夫　三段▲加藤富久

【圖は三一銀香迄の局面】▲加藤氏「持駒」角角桂歩

△建部氏「持駒」歩歩

△五八金　▲七七角
△六五飛　▲七六角
△六九飛　▲五五角成
△四六歩　▲八六飛
△四二銀成　▲同金

【土居八段講評】△建部君の六九飛は策を誤つてゐる。目下の狀態では飛車の働きが比較的薄いから寧ろ四二銀、同金、六七金打、六五角、七七金さ交換し角を手に持つてゐる方が指し易い▲加藤君は二枚角を利用して敵飛車壓迫の方針を立てたのは穩健な良策である。

【萩原六段解說】上手五八金は五四銀さ上つても五二歩さ打たれるさ敵飛の利きがあつて面白くないので五八金さ自玉の備へに上つたのである下手七七角さ打つて攻防に備へたのは至當な指手である上手六五飛は六四飛では五五角さ成られて面白くないので六五飛さ指したのである。下手七六角さ打つて極力敵飛を攻めその開先手を取つて五五角成の順に指したのは巧みである。上手の四六歩は敵同馬なら三六銀さ引いて次に四七銀引の順を作る意味である。下手八六飛は敵の飛車先を五五馬や七六角の力を以ていつでも留めることが出來る故に攻勢に用ひたのである。

大連港を中心とする 昭和六年の海運界(下)

銀暴騰やボンド爲替の激變で 閑散裡に越年の遠洋市況

次に遠洋市況を見るに歐洲航路は舊臘來引續き同方面向大豆出廻の順調と近來の特産市價低落から船腹の需要も相當に好勢裡に推移し殊に苦役困難に原因する滯潮積運賃昂騰等の諸材料を入れて市況は益々強調を唱へ、運賃も二十二、三志にて取極めをみた、二月に入り大型臨時船の濠洲、印度、南米方面集中の傾向益々濃厚となり、山下、大同兩社の取極め分を合すれば本邦就航船腹は約八十萬噸に達すと言はれ、大連歐洲定期船腹はこれがため、不足を告ぐる状態にあり、これがため市況は益々強調を呈し、しかも船腹拂底の結果は運賃率の如何を問はず需要に應じ得ざるに至り船主側の態度は更に強硬となり二十四志と昂騰したは一時的に止まり間もなく氣迷ひ状態に入り從つて同案も未だ海運界を潤す迄に至らず上半期を終つた。

……◇……

かくて七月前半までは稍平調を維持したが期待された戰債問題による影響みるべきものなきうちに早くも獨逸財界の危機暴露したるため一般に先行懸念濃厚となり、歐洲筋は自然買氣手控へとなり後半は船腹商談皆無の慘状を呈した、八月となつても引續き商談皆無のため上旬遂に期近物に慘落をみせ安値は十五志見當を唱へたが間もなく人氣見直し中旬以後前月並の二十一志にて商談をみた、一方長江水害による對米小麥四十五萬噸の商談成立説にて遠洋船腹の先行を稍好望視されたが從來歐洲向定期船の約半船腹を充塡した長江流域輸出穀物類が今回の水害で全滅を豫想され、却て對歐海運市況に及ぼす影響は寧ろ悲觀説に傾いてゐる、九月に入り市況依然軟弱、微温的商談を續けながらもやがて來るべき新穀出廻季に對する引合漸く開始されんとする折柄、滿洲事變の突發と英國金本位制の停止に財界は全く混亂状態に陷り對歐商談は全部停止せられ爾後何等の轉回もなく越月した、これがため先物即ち十一月以降出廻期物に對する市場運賃率の如きも全く見込み立たず荷主、船主とも只成行を拱手傍觀するに過ぎない。

……◇……

越えて十月中旬頃まで折柄の端境期關係と時局並に歐洲財界の不安等のため取引は殆ど停止し月初入港船の如きは大豆十志の低率を以ても尚且商談不成立を見る慘状を呈した、但し中旬より下旬にかけ漸次新穀の出廻増加をみるに至つたのと且歐洲財界の安定氣味等の好材料を入れ反動的に買氣擡頭し更に折柄の配船薄をも加へて市況は俄に硬化し賃率もまた二十三、四志を唱ふるに至つた、十一月となれば出廻り期に直面して漸く對歐取引も本格的となり市場運賃率も二十四、五志所を唱へたるため他方面に於て行詰れる社外大型船の歐洲向配船急激に増加し中旬頃迄に浦鹽及大連積大豆の活躍せられたるもの約二十萬噸に達したが月央以後は反動的商状を遡つて取引沈滯し賃率もそれぞれ二、三志方の低落をみ、月末大連積二十志唱へとなつた、十二月に這入るとボンド相場の下落に伴ふ採算困難のため大型臨時積取船の濫驟、大連廻航減少の結果、船腹調節せられたると出廻り期との關係上運賃市況は比較的平調保合つてゐたが內地政變、金輸出再禁止により俄然硬化し一志方の昂騰をみた、但し銀相場の暴騰やボンド爲替の變動激甚のため商談も手控へられ頗る閑散裡に越年しつゝある、今對歐大豆運賃を各月別に前年と比較すれば左の如くである(單位志)

大豆(一瓩につき)

月	本年	昨年
一月	二二・五	二三・〇
二月	二四・〇	一八・〇
三月	二七・〇	二〇・〇
四月	二六・〇	一四・〇
五月	二四・〇	二二・〇
六月	二三・〇	二一・〇
七月	二二・〇	二二・〇
八月	二〇・〇	二三・〇
九月	―	二五・〇
十月	二三・〇	二五・〇
十一月	二三・〇	一九・〇
十二月	二二・〇	二一・〇

滿洲産飼料 檢査改良の申出

東京の滿洲特産物協會から 滿洲重要物産組合へ

日本內地における各種畜産事業なかんづく養鷄事業の進歩發達は農林省當局の指導獎勵と滿鐵の大豆粕の飼料化普及によつて最近特に顯著なるものがあるが、輸入飼料のうち滿洲特産物中の高粱の如きは輸出檢査の制度なく極めて不統一なる所からその水分、容量、並に麻袋等の點に於て著るしく不利不便を感じ將來販路の增大を期することは困難を感ずる所から東京に於ける滿洲特産協會から高粱、包米輸出檢査の件につき滿洲重要物産組合に對し此の程左の如き申出があつた

拜啓各位益々御隆昌奉賀候陳者輓近牧畜農業に對する農林省當局の指導獎勵及滿鐵當局による大豆粕の飼料化普及事業の効果とは各種畜産事業の勃興を促し就中養鷄事業の如き其進歩發達は特に顯著なるもの有之候、從つて飼料の需要は逐年增大しつつあるもの約……

遺憾ながら其大部分は全く輸入に俟つの現況に有之候、然るに之等飼料の供給に對し世界の豐庫とも稱すべき南北滿洲に於ける特産物中高粱の如きは輸出檢査等の制度なきため全く不統一にして其水分、容量並びに麻袋等の點に於て茲に南洋、南米産に劣り輸入者及需要者の齊しく不便不利を感ずる次第にして其結果輸入量に於て內地需要の十分の一にも達せざる有樣に有之候、斯の如き現狀に有之候間之が改善を等閑に附する時は益々滿洲産飼料の聲價を失墜せしめ將來販路の增大を期することゝ到底困難と相成り吾人特産物商は勿論國家經濟の見地よりするも洵に遺憾の次第に有之候就ては産地當業者各位に於ても事情篤と御賢察の上右改善方に關し左記御考慮の上何分の御盡力相成度此段得貴意候、追而過般當協會第七回通常總會に於て決議相成候包米の檢査制度實施に付ては既に十月廿九日付を以て滿鐵當局に於て御制定相成候間內地向飼料に對しては今後可成檢査合格品を以て御取引相成候樣御獎勵相煩度此段併而御依賴迄申上候

記

一、麻袋不良なるため缺斤問題續出し內地當業者の蒙る損害莫大なるを以て一定程度のものを使用すること

一、乾燥不充分のため生ずる危險は最も恐るべきものにして其損失も亦頗る甚大なるを以て水分は一五%以下になさしむること

一、麻袋及斤量一定せざるため取扱上甚だ不便なるを以て正味一四〇斤とし三五二袋一車に改められ度きこと

高粱、包米の取引で 檢査實行不可能

滿洲重要物産組合から回答

右に對し滿洲重要物産組合より二十九日附を以て左の回答を發した

拜啓貴會第七回通常總會に於て決議せられたる趣きにて高粱、包米の輸出檢査制度を設け水分容量、容器の改良方御來示拜誦仕候、御來示迄も無之當組合に於ては特産物の輸出進展、向上のためには絕えず注意を不怠改良を加ふることの實行可能のものに對しては其都度之が實現に努め居候、例令は昨年內地製油業者と協定し夾雜物檢査制度を滿鐵に依賴し實行致したるの外本春以來種々研究の上薔麥の夾雜物並に包米の水分檢査實施方を滿鐵會社に提唱し今日之れが實行を見たる如き着々取引上の向上を實現致居候、而して包米の取引に於て檢査合格品の取引を爲す樣獎勵方御來示に候得共滿鐵會社に於て實施する檢査制度は混合保管品を除きたる凡て檢査品其物に格付を爲すものに無之單に檢査の結果を證明付けるに不過候之れ即ち滿洲に於ける雜穀種子類の取引の實情に則したるものに有之候、又高粱につき種々御來示に有之候處御承知の通り高粱は年産額約五百萬噸主として滿洲在住支那人の常食にして所謂地場の消費を主旨と致すものに有之其餘剩にして輸出せらるゝもの年二十五萬噸內外即ち生産量の五%に不過、而かも日本に需要せらるゝもの目下僅に十萬噸內外に不過故に日本との取引にのみに當て水分を限定し華商より買付くる事不可能に有之勿論大連に於て乾燥手入れの設備は致され候得共原價の極めて低廉なる之れ等の商品に對し乾燥等に要する費用を負擔せしめ候ては賣値極めて割高と相成自然貴我取引の出合を失ふ結果と相成可申と存候尚麻袋問題に在りては當方に於ても之れが改良に

苦心致し居候得共未だ名案を得ず遺憾に存候、尚亦袋詰斤量は一袋百四十斤とし數年前より實施致居り先年滿鐵會社は瓩建實施以來一車の袋數三百五十二袋とし爾後統一相成居候間之れは貴會員中高粱を取扱はるる會員は全部御承知の事と存候要するに高粱、包米の取引につき輸出檢査制度の如きは實行不可能に有之從つて御來示の條件は現下の實情より見て賣買當事者相互間に於て取引の都度特別に取極めらるるの外差當り他に實行の方法無之ものと認め候間右に御承引被下度此段拜答申上候

消費組合の 改廢問題

過日奉天において輸入組合理事を中心とする關係方面にて協議を遂げた內容は申合せにより絕對秘密を嚴守……

全滿米穀商組合の檢査穀數

全滿米穀商組合の本年度檢査穀數は昨年に比し六百卅石餘の減少を來してゐるが十二月に入つては昨年十二月の八千九百卅六石餘に比し一萬一千二百四十九石約三割方の增加といふ記錄的檢査穀數を示してゐる、なほ一年を通じて六百卅石の減少を見たのは今回の事變で出廻りの不振と出遲れによるもので明春一、二月頃には殘穀の檢査數は相當多量に上る見込である【奉天電話】

更に75圓臺に 跳ねあがる

大納會の錢鈔市場

大連錢鈔市場は本朝前場を以て大納會としたが、昨年一月以來の新高値たる七十五圓五錢を現出した、即ち海外銀塊緊保合、上海標金小綴なれど、これらは無影響にて、神戸日米爲替は第一回、第二回とも三十七弗丁度を入れ、昨日第一回に比べ二弗安、同第三回に比べ一弗安の續落にて米日爲替も三十七弗五十仙にて二弗五十仙安といふ激落振りを報じた、されば當市は昨後場において七十四圓五十錢に引けたる機先、今一段と上伸すべきところを大納會なるため利喰手仕舞氣分濃厚にて七十四圓丁度に寄りつき七十三圓五十錢まで押し、高値は七十五圓五錢まで伸びて七十四圓九十五錢に引けた、而して氣配は一般に春高を見越してゐるが目先相場の綾については硬軟區々である

大納會の 特産市場

本年掉尾の大納會たる二十九日の大連特産市場は銀相場は依然として七十四、五圓臺を往來して騰り……

1931年の大連經濟界を顧る……(9)

多事多端だつた 今年の株式市場

(下) 市場の好轉と前途觀

……相場に高低起伏が多く、波瀾重疊を極めたのであるから、當地市場取引も定めし繁盛を示しただらうと想像されるが、事實は反對であつて、上半期は大體普通の成績であつたが、下半期には出來高減切り激減し、殊に定期取引は激減し纔に延取引の出來高によつてこれを補足して市場の體面を支持して來た、隨つて取引所の業績は極度に悲觀され當所株の慘落を見たが……

政變來 に際會し、金輸出再禁止に會ふて以來、形勢俄然一變して五品株式市場の出來高は頓に激增して一日一萬株に垂んとする盛況を呈し、鮮くとも一日六千株を下らざる有樣にて、この情勢を以て推移するときは今期は相當の利益配當を期待し得べく、一時は前途を危惧されんとした五品市場も現實悲觀の憂ひを解脫して一陽來復の

春を迎 へんとするに至つたのである、左に本年一月以降十一月末に至る五品市場に於ける株式定期及現物並に延取引出來高を掲げて見やう(單位株)

月別	定期商內	現物及延
一月	一二、五七〇	一二、三三〇
二月	一三、三八〇	一一、三六〇
三月	二一、六一〇	二三、五〇〇
四月	二三、八一〇	一五、二五〇
五月	一五、七一〇	一〇、三〇〇
六月	一五、二五〇	一二、八四〇
七月	一四、七六〇	二五、六六〇
八月	一四、七七〇	一四、五……
九月	三、〇一〇	一六、五八〇
十月	二、二七〇	一六、一七〇
十一月	二、三六〇	二〇、八二〇

次ぎに最近四期間に於ける五品取引所に於ける株式取引の一日平均出來高を比較對照して示さば左表の如くである(單位株)

期別	定期	現物	總平均
二一期	八六	一、一九八	一、五九九
二二期	一四四	八六一	一、〇四四
二三期	七五五	六四一	一、四〇三
二四期	三六五	五九七	九六二

即ち本年上半期は一日平均出來高千四百二株なるに對し下半期は九百八十一株に過ぎずして、下期の株式市場が如何に閑散不振狀態にあつたかは推測するに難くないであらう然るに本年下半期決算後最近に至つて情勢一變して出來高の激增を來し、一日出來高六千株を下らざる

賑盛振 りを示して居るから今期(昭和七年上期)の一日平均出來高は著るしき增加を呈すべく、昨今の如き狀況が一個月持續すれば裕に在來の一期分の手數料收入を舉げることが出來ると云ふすさまじさである、隨つて今期は配當可能となり、前途に光明を認め得るやうになつたから、自然五品株の騰勢は今後とも持續されるであらう、唯だ値段が値段だけに現株手持筋の賣り物が相當あるから、これを一巡消化した後でなければ

大爆發 は期待し難いが株式、穀品兩市場の好轉と共に五品株の地位が漸次に高められつゝあることは何人も否定し難いところであらう、加之我國の金輸出禁止並に銀價暴騰の結果として有價證券及不動産の價格は著るしく騰貴し同社所有財産の評價價值がそれだけ向上したとは會社の內容充實を來し自然これも株價の上に好影響をもたらすものと見ることが出來るから益々以て當所株の前途は

向上性 に富んで居るものと見て差支へないであらう、次ぎに新東株について見るに東株市場は最近の大變動によつて市場關係者に相當痛手を蒙つたものがあるからこれ等を救濟する意味からしても何等かの方策が講ぜられなければならない狀態に在る、その一つの現はれと見られて居るのが東株の增資說である、事情斯の如しとすれば東株の增資は早晚實現の可能性をもつて居るものと見ることが出來る、隨つてこの增資と對外爲替の變動、並に各種商品相場の奔騰等を材料として新東株は今後尙一段の

躍進振 りを示すものと期待することが出來るであらう、新年の株式市場は新の新東株と當所株を中心として可成り大きな波瀾を描き、意外な變動を示現するものと期待されて居るのである(完)

皇軍の慰問に……

もうソロ〳〵景氣來か

大倉喜七郎男來連

歲末財界の多忙時を控へ突然滿洲行きを思ひ立つた大倉喜七郎男は廿九日入港の香港丸で大倉組理事橫山信毅、平木泰治、仁賀保成人の三氏と共に來連した、サロンに刺を通じると劈頭

戰線に 立つ勇士等の慰問をした方が餘程氣が利いてゐると思つてブラリと來ました、慰問の目的であると云ふ意外は全くの白紙です、邪魔にならない程度奧に入るつもりです、その筆を走らせまづこんな氣持ちで來ました、內地は弗買ひでやつきとなつてゐます、自分なぞそんな渦中に巻き込まれるより時局の動きの中心地滿洲にでも行つて日取りなんか判りません、財界はくたぶれたなりにつめるものをつめてしまつた形です、一寸一時的な景氣を見せた樣だが全般的にはまだ〳〵だ、でももうソロ〳〵景氣に向ふんぢやないだらうか、アメリカの金輸出禁止が問題になつてゐる樣だが理論としては金が一ところに集つて行くのが本當でそうなつたら信用が物を云ふ時代が來るでせうでもこいつは

理想だ 金輸の問題も今ではそれ自身よりむしろそれによつて來る副産物の方が主要視されて來た樣なわけだ、この不景氣は世界的なもので獨逸の店のもの、話なんかでも「日本はまだ好いんですよ」といつてゐる位です

昭和六年十二月二十九日於大連港外　聽松　大倉喜七郎

日銀貸出 十億圓突破

【東京二十九日發】二十八日繰越された日銀の帳尻貸出九億圓は二十八日更に貸出され同日現在十億圓を突破金融界は緊張を呈してる

獨逸賠償金 支拂停止 協議會開催

【ベルリン二十八日發】ドイツの賠償年金支拂停止協定に關する協議會は本日當地に開催されたが一月七、八日頃まで繼續される樣であるが會議の前途は寧ろ樂觀され圓滿な進行を見るものと期待さる

十二月限の 大豆高粱

大連特産市場に於ける十二月限大豆、高粱は二十八日前場にてそれ〴〵納會を告げた、大豆賣買總出來高は八千七百五十五車……

市況(廿九)

特産

買氣一服で 大豆暴落

今朝の定期は大豆は昨場好勢の機先買一巡で反動的に一段安を入れ豆粕、豆油、高粱も相伴れて一齊低落商狀を辿つた

◇定期前場(單位)

▲大豆(暴落)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月末	四七〇	四七八	四六九	四六九
二月末	四八〇	四八〇	四七〇	四七〇
三月末	四九〇	四九〇	四八〇	四八〇
四月末	五〇〇	五〇〇	四九〇	五〇〇

出來高 四百二十八車

▲三等大豆(出來不申)

▲豆粕(低落)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一七〇〇	一七〇〇	一六六〇	一六六〇
二月限	一七二五	一七二五	一六七五	一六七五
三月限	一七三〇	一七三〇	一六九〇	一六九〇
四月限	一七四〇	一七四〇	一七〇五	一七〇五
五月限	一七五〇	一七五〇	一七四〇	一七二〇

出來高 十三萬枚

▲豆油(低落)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一三〇〇	一三〇〇	一二八〇	一二八〇
二月限	一三六〇	一三六〇	一三二五	一三二五
三月限	一三四〇	一三四〇	一三二〇	一三二〇
四月限	一三四〇	一三四〇	一三〇五	一三〇〇
五月限	一三四〇	一三四〇	一三二〇	一三二〇

出來高 三萬四千箱

▲高粱(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
二月末	二九六〇	二九六〇	二九六〇	二九六〇
三月末	三一〇〇	三一〇〇	三〇五〇	三〇五〇

……

豆

本年掉尾の大納會の日銀價は依然として七十四、五圓臺を往來して騰りなると▲大豆は昨場好調の氣先買一巡で反動的下押しをみ、十二、三錢安の暴落を辿り▲他の三品も相伴れて軟化し一齊に低落商狀を示し出來高も頗る多く活況裡に納會した▲大連油坊聯合會の書記長として十有二年の久しきに亘り斯業のため盡す所あつた赤澤宇之助氏が歲の瀨も迫つた二十八日突然、ホンに突然辭任を餘儀なくせられたのは如何なる理由あるにせよ惜みても餘りある

銀

爲替は依然としてわるい、米日は二弗五十仙も暴落し▲日米も昨日第三回に比べても一弗の續落振りだ▲そこで當市が七十五圓五錢の新高値に伸びたのは勿論だが▲流石に大納會にて利喰や手仕舞氣分濃厚にて上げ渋り勝であつた▲かくて昭和六年度の錢鈔界は異常の緊張裡に最後の幕を閉ぢたが▲波瀾極まりなき年を送るに相適はしい大納會であつた▲そして一般に春高を見越される……

上海爲替情報

……

海外市況

……